

# 地域における熱中症対策の先進的な取組事例集

# 目次

## 背景・目的

### 1. 連絡体制

#### 1-1. 庁内における横断的連絡体制

事例1: 静岡県焼津市 関係部署の洗い出し

事例2: 福島県

事例3: 鳥取県鳥取市 担当者会議の設置

事例4: 東京都豊島区

事例5: 神奈川県川崎市 地域一体型の熱中症対策の推進  
『更なる気温上昇に備える検討ワークショップ』

#### 1-2. 熱中症警戒情報発表時に備えた体制

<連絡ルート>

事例1: 埼玉県熊谷市

事例2: 静岡県焼津市

事例3: 石川県金沢市 熱中症対策庁内連絡会の設置

事例4: 大阪府吹田市

事例5: 佐賀県江北町 「江北町地域防災計画」

江北町独自の「熱中症注意情報」

事例6: 北海道札幌市 札幌版熱中症特別警戒アラート

<施策など>

事例7: 愛知県小牧市 熱中症警戒情報発表時の施設キャンセル

【コラム】暑さ指数(WBGT)に応じた注意事項等

#### 1-3. 熱中症特別警戒情報発表時に備えた体制

<連絡ルート>

事例1: 岐阜県

事例2: 愛媛県

事例3: 静岡県藤枝市

<施策など>

事例4: 奈良県奈良市 独自の施設利用・イベント実施に対する対応指針

事例5: 千葉県いすみ市 行政防災無線の使用基準

事例6: 神奈川県横須賀市 クーリングシェルターの開館延長

### 2. 地域の熱中症リスク評価

事例1: 大阪府吹田市

事例2: 神奈川県川崎市

事例3: 群馬県上野村

【コラム】ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチ

# 目次

## 3. 熱中症予防行動の効果的な情報発信

【コラム】 時季に応じた情報発信・普及啓発

【コラム】 暑熱順化

### <イベント>

**事例1: 福島県楢葉町** 環境イベント「サステナmeeting」の開催

**事例2: 埼玉県熊谷市** わたしのあつさたいさくコンテスト

**事例3: 広島県府中市** 小学生による発表大会

**事例4: 兵庫県神戸市** 日傘の体験型イベント

**事例5: 長崎県** 気候変動適応セミナー

(～高齢者の熱中症予防のための「暑さ対策セミナー」～)

**事例6: 東京都墨田区** 川柳コンテスト

**事例7: 鳥取県鳥取市** 介護予防運動教室、健康教育を通じた普及・啓発

**事例8: 高知県** 高知県立大学 健康長寿研究センターによる「熱中症予防教室」

### <普及・啓発の手段、ツール>

**事例9: 高知県** 高知県立大学 健康長寿研究センターによる「熱中症予防カレンダー」

**事例10: 埼玉県熊谷市** 自動販売機でのデジタルサイネージ

**事例11: 岐阜県多治見市** ケーブルテレビ・コミュニティラジオの活用

**事例12: 長崎県** ～あなたの地域の熱中症事情～

**事例13: 広島県府中市** 「老人大学」での講演資料

**事例14: 大阪府吹田市** 「熱中症対策ハンドブック」の制作

**事例15: 島根県** 多言語リーフレットの制作

**事例16: 静岡県焼津市** 多言語リーフレットの制作

【コラム】 厚生労働省による多言語リーフレット

【コラム】 農林水産省による多言語リーフレット

【コラム】 厚生労働省による障害のある方向けリーフレット

## 4. 熱中症弱者への見守り・声かけ

**事例1: 石川県小松市**

**事例2: 鳥取県鳥取市**

【コラム】 救急安心センター事業 #7119

## 5. 指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)と涼み処

### <指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)>

**事例1: 青森県むつ市** むつ市立図書館での「クーリングシネマ」

**事例2: 栃木県佐野市** クーリングシェルターの前身としての「涼み処」

**事例3: 石川県金沢市** 2種類のクーリングシェルター

**事例4: 静岡県静岡市ほか** 「静岡県美容業衛生同業組合」による取組

**事例5: 京都府八幡市** 「訪問看護ステーションあっと」による取組

**事例6: 愛知県小牧市** 「こども涼み処」

**事例7: 栃木県矢板市** 矢板市クーリングシェルター募集要項

**事例8: 徳島県美馬市** 民間施設クーリングシェルター指定要領

### <涼み処など、地方公共団体独自の取組>

**事例1: 福島県** 「ふくしま涼み処」

**事例2: 千葉県いすみ市** 「涼み処」

**事例3: 東京都世田谷区** 「お休み処」

## 6. 熱中症対策普及団体

事例1: NPO法人による取組事例

事例2: 社会福祉協議会による取組事例

# 目次

## 7. 地域で活躍する団体や企業等との連携

- 事例1: **埼玉県** 公益社団法人埼玉県栄養士会との連携
- 事例2: **東京都墨田区** 一般社団法人墨田区薬剤師会との連携
- 事例3: **東京都大田区** 産官学(三者連携)による  
“大田区熱中症対策コンソーシアム”
- 事例4: **群馬県** ぐんま熱中症予防サポーター企業
- 事例5: **三重県伊勢市** 地域包括支援センター×イオン×大塚製薬
- 事例6: **大阪府吹田市** プラットフォームによる組織運営
- 事例7: **兵庫県加古川市** お弁当宅配事業者との連携
- 事例8: **広島県府中市** 宅配サービス事業者との連携
- 事例9: **新潟県南魚沼市** 移動販売車による買い物弱者支援事業
- 事例10: **長野県駒ヶ根市** 「ななや整体」による熱中症予防サービス  
【コラム】緊急医療情報キット

## 8. さまざまな熱中症対策の取組事例

- 事例1: **滋賀県長浜市** エアコンの購入・設置、修理への補助
- 事例2: **愛媛県宇和島市** 避難所・自宅避難者への訪問
- 事例3: **鳥取県** ドローンを活用した巡視
- 事例4: **東京都渋谷区** 小学校での暑さの「見える化」
- 事例5: **静岡県焼津市** 小中学校での熱中症対策
- 事例6: **新潟県南魚沼市** 運動後の選手の熱中症予防
- 事例7: **長崎県長崎市** 式典(イベント)での熱中症対策
- 事例8: **神奈川県横浜市** 南消防団外国人防災指導チームによる多言語での熱中症予防啓発
- 事例9: **東京都** Tokyowater Drinking Station

## 9. 部局ごとの熱中症対策の取組事例

- 事例1: 保健、健康、福祉などの部局による取組事例
- 事例2: 環境、温暖化対策、脱炭素などの部局による取組事例
- 事例3: 消防本部、消防署による取組事例
- 事例4: こども、家庭などの部局や教育委員会による取組事例

# 目次

## 10. 海外における熱中症対策の取組事例

### 10-1. 実施体制

事例1: スペイン

事例2: ドイツ

### 10-2. 連携体制

事例1: カタルーニャ州(スペイン)

事例2: バーデン=ヴュルテンブルグ州(ドイツ)

### 10-3. 警戒アラートの運用

事例1: スペイン

事例2: ドイツ

### 10-4. 独自アラートの運用

事例: カタルーニャ州(スペイン)

### 10-5. クーリングシェルターと涼み処

事例1: バルセロナ市(スペイン)

事例2: ルートヴィヒスブルク郡(ドイツ)

### 10-6. 暑熱対策実行計画の策定

事例: ルートヴィヒスブルク郡(ドイツ)

### 10-7. 市民への熱中症対策

事例: バルセロナ市(スペイン)



補足やポイントは左のアイコンで表示

#### 凡例

事例 ●: ←主たる担当が保健、健康、福祉などの部局

事例 ●: ←主たる担当が環境、温暖化対策、脱炭素などの部局

事例 ●: ←主たる担当が消防本部、消防署など

事例 ●: ←主たる担当が上記以外の部局

# 背景・目的

---

## 1. 背景

我が国における熱中症による救急搬送者数は、令和6年夏には97,578人を数え、平成20年の調査開始以降で最も多い搬送人員となった。また、熱中症による死亡者数も、人口動態統計月報(概数)(令和6年9月分)によれば2,000人を超えるなどたいへん厳しい状況で推移している。

地球温暖化の影響が懸念される中、令和3年8月に公表されたIPCCの「第6次評価報告書第1作業部会報告書」では、地球温暖化の進行に伴い、今後顕著な高温の頻度・強度がますます高まっていくことが予測されており、海外では熱波が頻発し、甚大な健康被害が生じている。

令和5年4月に「**気候変動適応法及び独立行政法人環境再生保全機構法の一部を改正する法律**」（令和5年法律第23号）が成立し、さらに同年5月に「**熱中症対策実行計画**」が閣議決定された。この計画では、“地方公共団体及び地域の関係主体における熱中症対策”が柱の一つとして重視されており、期待される役割は多様化し、連携を密にするなど、地域における対策の実施体制を強化していくことが求められている。

## 2. 目的

本事例集は令和3年度から採択、実施されている「地方公共団体における効果的な熱中症予防対策の推進に係るモデル事業」で得られた知見やヒアリング内容を中心に、地方公共団体等の関係者が自らの地域の実情に応じて活用できるようとりまとめたものである。

# 1. 連絡体制



熱中症警戒アラート  
をチェック!



見守り・声かけ!



適切にエアコン  
を使おう!



こまめに水分・塩分  
を補給!

# 1-1. 庁内における横断的連絡体制

## 事例1. 静岡県焼津市 関係部署の洗い出し

- 庁内の関係部署について①熱中症になりやすい・重症化しやすい「**対象者から**」、②熱中症が発生しやすい「**シーンから**」、③情報伝達や事業実施の「**手段から**」という3つの視点から洗い出しを行う。

対象者から	高齢者	障害者	外国につながる市民	子ども
	高齢者福祉担当部署	障害者福祉担当部署	国際交流担当部署	保育所・幼稚園担当部署
				小学校・中学校担当部署
				放課後児童クラブ担当部署
シーンから	就労	市民活動		
	商工担当部署	生涯学習担当部署		
	農政担当部署	スポーツ振興担当部署		
手段から	訪問活動	広報	分析・とりまとめ	
	民生委員担当部署	広報広聴担当部署	環境担当部署	
	老人クラブ担当部署	防災担当部署	健康担当部署	
		公共施設等担当部署		

### ■ 苦労した点

国の通知等も参考に、まず関係部署の洗い出しを行いました。

### ■ 工夫した点

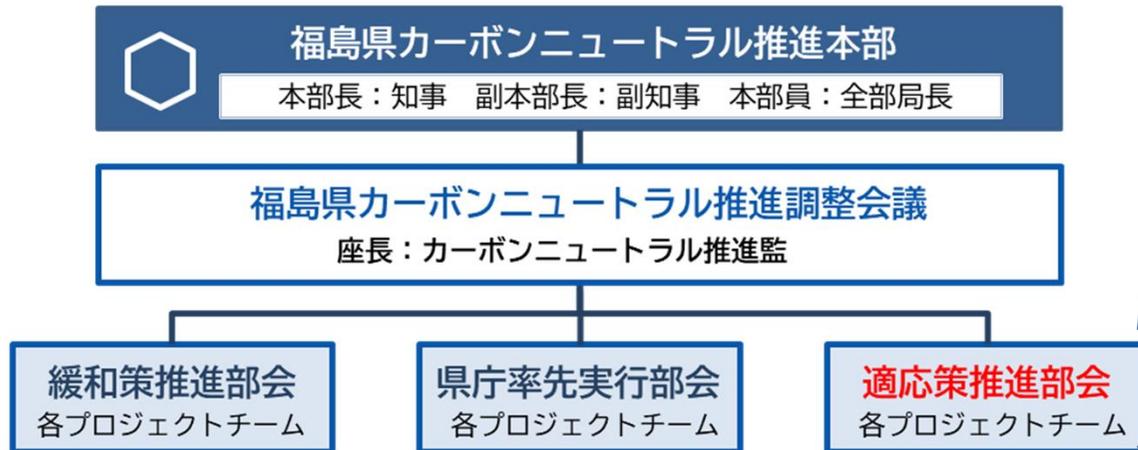
ピックアップした関係課のうち独自に熱中症対策の取組を行いうる部署に参加を呼びかけ、8部14課からなるプロジェクトチームを設置しました。

# 1-1. 庁内における横断的連絡体制

## 事例2. 福島県

- 知事を本部長とする「福島県カーボンニュートラル推進本部」を新たに設置し、地球温暖化対策の2つの柱である「緩和策」と「適応策」を両輪に総合的かつ横断的に施策を推進。
- カーボンニュートラル推進監を座長とする、「福島県カーボンニュートラル推進調整会議」により、施策全体の進捗管理や総合調整を実施。
- その下部に3つの「部会」、「プロジェクトチーム(PT)」を組織し、具体的な施策について実務者による協議を実施。

【福島県2050年カーボンニュートラル実現に向けた推進体制】



### 熱中症・感染症対策PT

熱中症や感染症リスク抑制に向けた適切な情報収集及び対策などについて協議

#### 関係部局

危機管理部、生活環境部、保健福祉部、こども未来局、農林水産部、土木部、教育庁

### 自然災害対策PT

頻発化・激甚化する災害に関する情報収集及び防災・減災対策などについて協議

#### 関係部局

危機管理部、生活環境部、農林水産部、土木部

### 農林水産業対策PT

農林水産業への影響等に関する情報収集及びそれを踏まえた対策について協議

#### 関係部局

生活環境部、農林水産部

#### ■ 苦労した点

- ・ 適応7分野の範囲が広く、関係部局・課室の数が多いため、関係課との調整に苦労した。
- ・ また、必ずしも全ての関係課が適応を「自分事化」している訳ではないので、適応策推進にあたり、引き続きの機運醸成が必要。

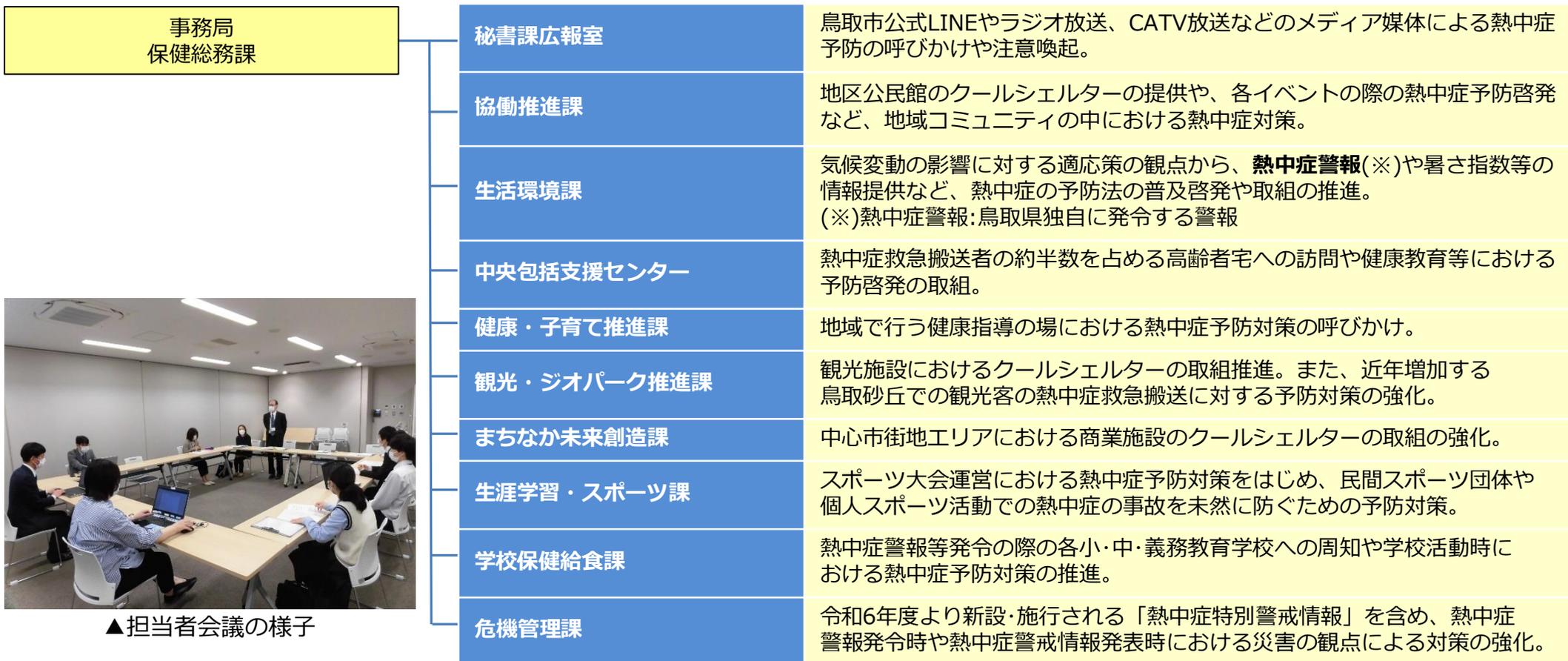
#### ■ 工夫した点

- ・ 知事を代表としたカーボンニュートラル推進本部の中で、緩和と適応を両輪として進めることとする組織体制とすることとした。
- ・ また、福島大学と連携して、福島県における気候変動の影響予測を公表することで、関係課へ適応策の必要性を示した。

# 1-1. 庁内における横断的連絡体制

## 事例3. 鳥取県鳥取市 担当者会議の設置

- 令和5年4月28日 第1回担当者会議(**9部署対象**):夏季に向けて各課の取組を確認及び事業連携の呼びかけ
- 令和5年10月24日 第2回担当者会議(**11部署対象**):今夏の取組の振り返り及び課題や来年度に向けた取組等の共有



▲担当者会議の様子

### ■ 苦労した点

事務局である保健総務課からの一方的な情報発信が多く、最終的に関係機関や一般市民へ啓発や注意喚起がされているか、各部署の現状を把握していくことに尽力した。

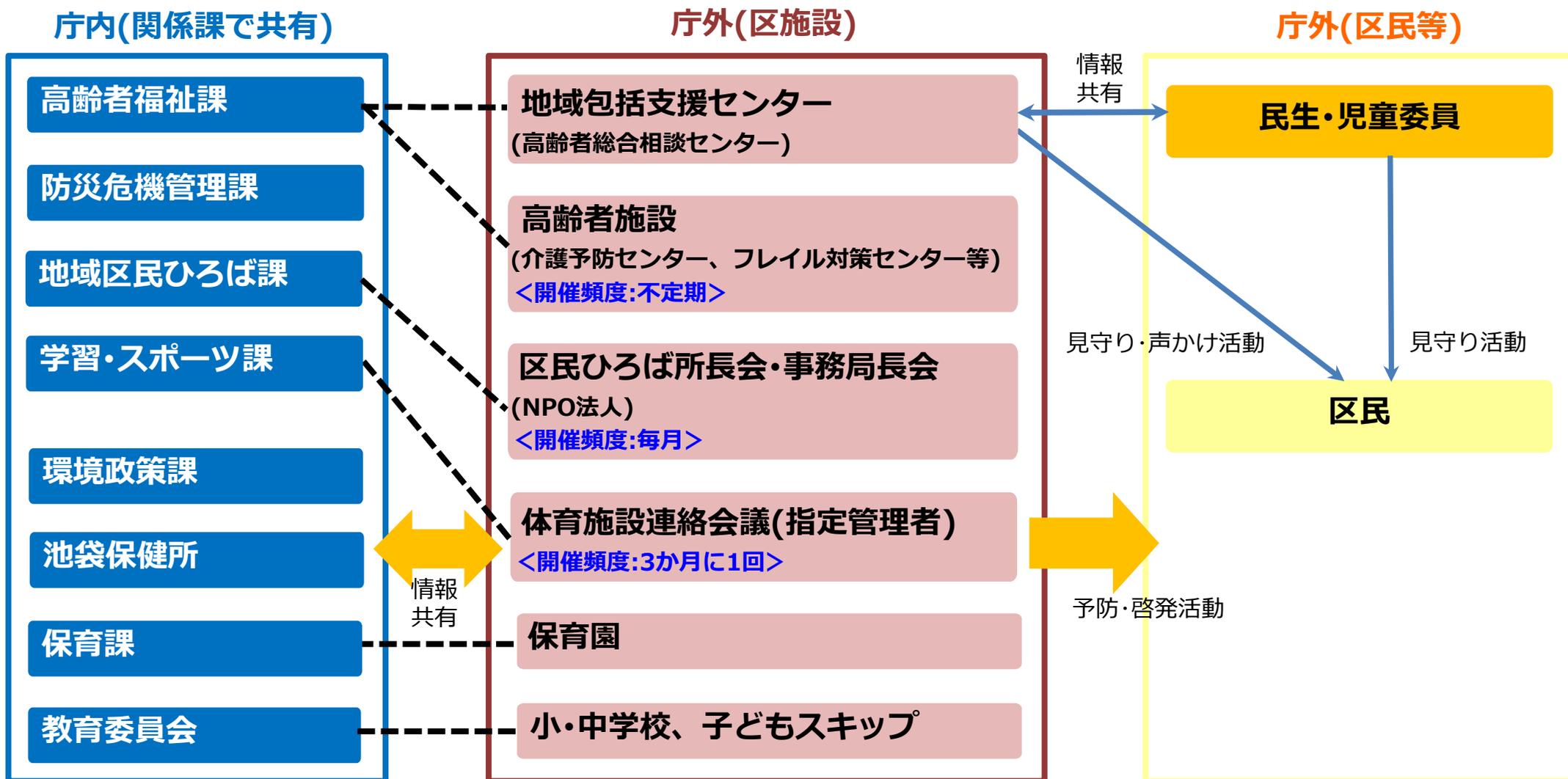
### ■ 工夫した点

本会議を通して、事業取組の情報共有だけでなく、課題解決や新たな事業連携へ展開していくことを目指し取り組んだ。

# 1-1. 庁内における横断的連絡体制

## 事例4. 東京都豊島区

- 熱中症データの分析結果等をふまえ、**区民や来館者**に対して地域別の特性等を周知→区民への意識啓発
- 各課(各施設)の事業において熱中症データの利活用等を図る→全庁的に熱中症予防を推進



# 1-1. 庁内における横断的連絡体制

## 事例5. 神奈川県川崎市(1)

- **環境局**を事務局として、令和5年度から新たに「**気候変動適応法改正に伴う熱中症対策検討WG**」を立ち上げ、関係部局と連携して気候変動適応法の改正に伴う熱中症対策について検討を行う。

川崎市環境行政・温暖化対策推進会議(各局局長級)

川崎市環境行政・温暖化対策推進会議幹事会(各局企画課長)

**気候変動適応法改正に伴う熱中症対策検討WG(課長級)**

総務企画局(企画調整課、公共施設総合調整室、行政改革マネジメント推進室)

市民文化局(区政推進課)

環境局(企画課、脱炭素戦略推進室、◎環境総合研究所)

健康福祉局(企画課、健康増進担当)

危機管理本部(危機管理部)

消防局(救急課)

教育委員会事務局(教育政策室)

◎:事務局

※制度の詳細が明らかになった時点で必要な部署を適宜追加

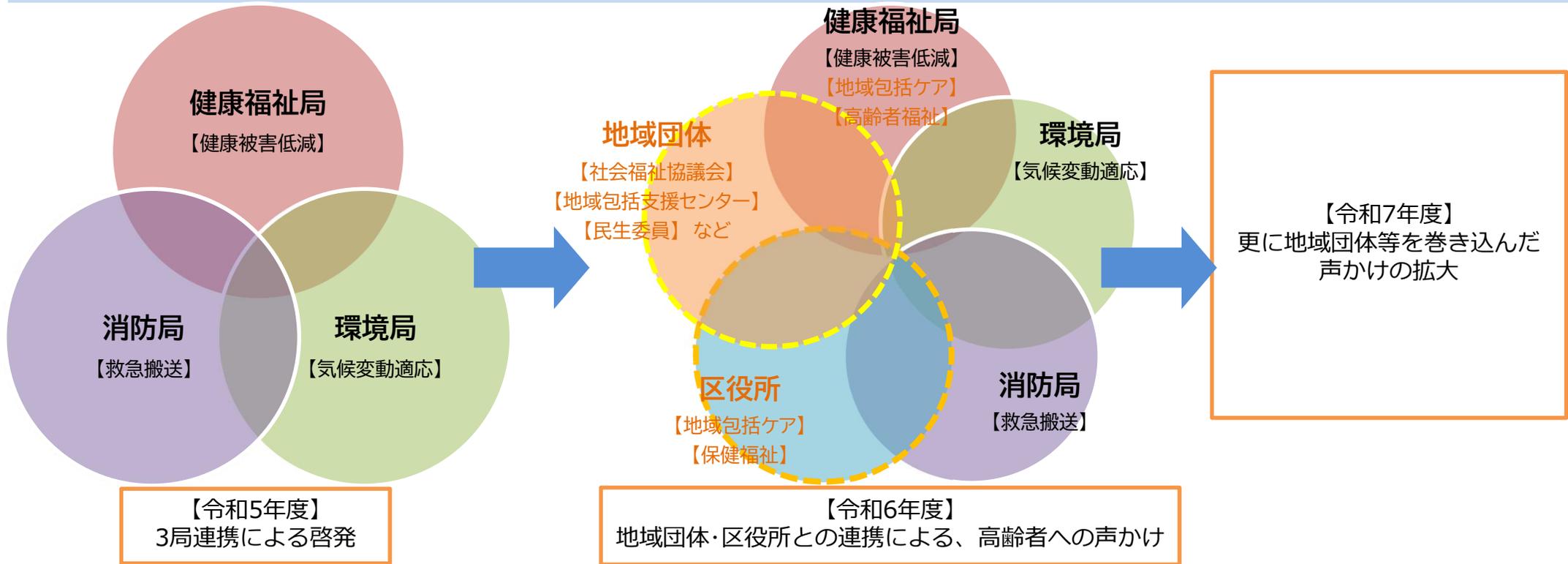
### ■工夫した点

令和5年度当初は、改正法の詳細がわからない部分が多かったことから、WG構成員は最小限の関係課としたが、法改正に伴う取組を進めていく中で、総務企画局及び市民文化局の協力が必要となったことから、令和6年1月にこれらの部局を構成員に追加した。

# 1-1. 庁内における横断的連絡体制

## 事例5. 神奈川県川崎市(2) 地域一体型の熱中症対策の推進

- 熱中症による救急搬送者の搬送を占める高齢者への熱中症対策が急務であり、地域の声かけによる啓発を展開するため、①令和5年度以前は川崎市3局(環境局、健康福祉局、消防局)連携体制を構築し、②令和6年度は健康福祉局 地域包括ケア推進室や高齢者在宅サービス課等との協力・連携体制の構築を行った。
- 令和7年度では、NPO、ボランティア団体や民生委員・児童委員協議会等との更なる協力・連携体制を拡充していく予定である。



### ■ 苦労した点

- ・ 高齢者を対象とする施設や活動、地域で活動する団体・ひと(点)とのつながりを線をつないでいく作業
- ・ 地域に存在する多数の点を把握することから始まり、会合などに向いて、関係づくりをすることにより線で結ぶことに大変苦労した。

### ■ 工夫した点

- ・ まずは、既存の人脈から点を線で結んでいき、そこから紹介等を通じて、他の点を線で結んでいくことを行った。
- ・ 既存で活動しているひとたちの過度な負担とならないよう、依頼事項を絞ってなるべく簡素で分かりやすい取組とした。

# 1-1. 庁内における横断的連絡体制

## 事例5. 神奈川県川崎市(3) 『更なる気温上昇に備える検討ワークショップ』

- 環境局(環境総合研究所)が中心となって『更なる気温上昇に備える検討ワークショップ』を2回開催。講義(①改正気候変動適応法の概要、②川崎市内の熱中症発生状況)30分、ワークショップ90分の構成。
  - ・ 令和7年1月27日：健康福祉局の職員対象、25名参加
  - ・ 令和7年1月31日：区職員対象、危機管理本部や消防局含め17名参加



▲第2回ワークショップの様子

第1回

### 更なる気温上昇に備える 検討ワークショップ

令和7年1月27日(月)  
14:30~16:30

### シナリオ

#### 2 気温上昇が進んだかわさき

- 20XX年7月
- ・ 梅雨明けから20日連続で熱中症警戒アラートが発表されている。
  - ・ 熱中症による救急搬送者は過去最高のペースとなり、既に救急車はパンク状態。
  - ・ 国は連日会見を開き、不要不急の外出を控えるようアナウンスをしている。
- 8月10日
- ・ 3日後に熱中症特別警戒アラートの発表が予想された。
  - ・ 本市においても市長から各局に対し、熱中症特別警戒アラートの発表に備えるよう指示が出された。
- 8月12日 午後
- ・ 13日の熱中症特別警戒アラートが発表された。
  - ・ 本市においても、市民に対し「不要不急の外出を控え、涼しい室内で過ごす」ようアナウンスを行う。
  - ・ 市長からは、自宅にエアコンがない人等が暑さから避難できる場所を開設をするよう指示が出された。

### テーマ

4~5名のグループに分かれ、3つのテーマに対し、それぞれ議論15分程度+発表を行う。

#### テーマ 1

暑さから避難できる場所  
(いわゆるクーリングシェルター)は、  
どのような施設が適切か。  
また、どのような機能が必要か。

#### テーマ 2

熱中症特別警戒アラートが  
発表される様な状況の時、  
各業務で影響が出るものは  
どの様な事が考えられるか。

#### テーマ 3

熱中症特別警戒アラートの発表に備え、  
今からできる取り組みはどのようなことがあるか。

### ■ 苦労した点

・ 年度末の繁忙期に、数多くの職員に参加してもらうべく、担当課長会議の場や個別訪問による依頼等、何度も繰り返しお願いをして、気温上昇への備えの重要性を理解してもらうよう努めた。

### ■ 工夫した点

・ 今回は、係長級以下を中心とした「現場」第一線の職員に声をかけた。  
・ ワークショップで話し合われた意見や課題などは、今後の気候変動適応への施策に反映させるとともに、今夏の熱中症対策にも活かしていく。

# 1-2. 熱中症警戒情報発表時に備えた体制

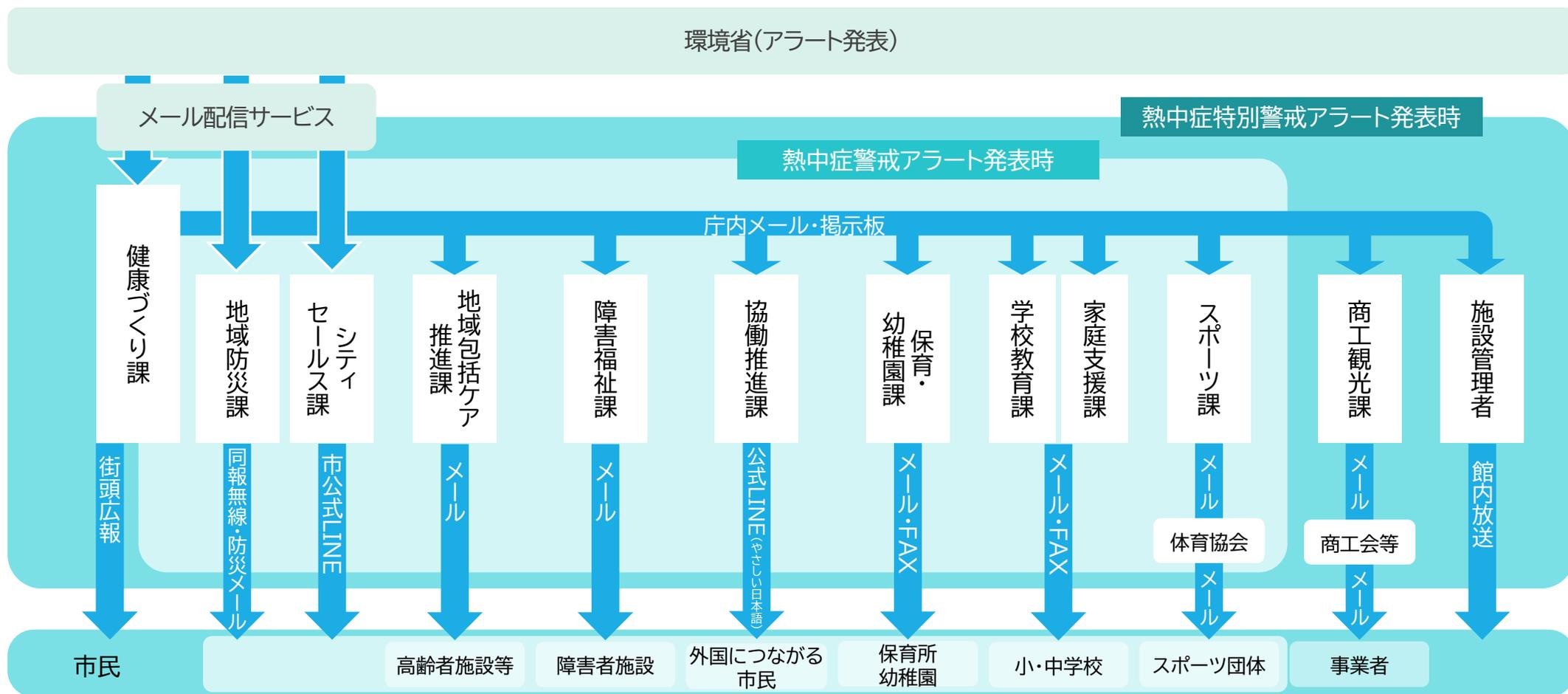
## 事例1. 埼玉県熊谷市

番号	部局名	対象者	情報伝達手段	取組
①	環境政策課	担当課職員	・全庁掲示板(庁内ネットワーク)に 当日始業前までに掲載	・関係機関へメール、FAX、電話連絡
②	市有施設管理課	市役所来庁者 公共施設利用者	・庁内放送、館内放送 ・窓口に啓発チラシ設置 ・ポスターの掲示	・広報広聴課、各行政センターへ館内放送を依頼
②	指定管理担当課	指定管理施設利用者	・メール、FAX	・指定管理者に連絡、指定管理者は園内放送や旗、看板の掲示等
③ ③	教育総務課 保育課	小中学校・幼稚園 保育所(市立・私立) 児童館・学童クラブ等	・一斉FAX ・学校メール ・ほいくメール	・教育委員会から小中学校、幼稚園へメール、FAX送信 ・保育所、学童クラブ、保護者等へメール送信
③	こども課	地域子育て支援拠点 施設利用者(親子) 児童養護施設	・FAX	・地域子育て支援拠点、児童養護施設にFAX送信
④	スポーツタウン 推進課	スポーツ少年団	・メール	・スポーツ少年団にメール送信
⑤ ⑤ ⑥	長寿いきがい課 障害福祉課 危機管理課	高齢者施設 障害者施設	・メール ・聴覚障害者用FAX	・社会福祉法人(高齢者施設、障害者施設)にメール送信 ・登録者にFAX送信
⑦	営繕課	高齢者世帯	・電話連絡(期間中1~2回)	・市営住宅の高齢者世帯へ電話連絡
⑧	環境美化センター 消防		・巡回広報	・環境美化センター、消防による巡回広報
①	健康づくり課	市民全体 ・農業従事者 ・建設現場等屋外作業者	・防災行政無線	・危機管理課、消防本部(土日祝日)へ放送を依頼
			・熱中症予防情報メール ・メール配信サービス(メルくま)	・登録者にメール送信 (メール配信サービスは防災行政無線と同時)
			・ケーブルテレビ ・地域FM	・災害応援協定を締結しているメディアに情報発信を依頼
			・HP、デジタルサイネージ	・広報広聴課へHPとデジタルサイネージへの掲載を依頼

# 1-2. 熱中症警戒情報発表時に備えた体制

## 事例2. 静岡県焼津市

- 基本的には各課で「熱中症警戒アラートメール配信サービス」へ登録しているが、さらに健康づくり課から情報を伝達する流れを構築。



### ■工夫した点

- ・ 漁業や水産加工業がさかんでもあり、外国につながる市民も増えているため、LINEではやさしい日本語を用いている【事例3-16】。
- ・ 同報無線・防災メール(地域防災課)や市公式LINE(シティセールス課)等、休日にも放送や配信を行っている部署には、市民から直接サービスに登録してもらい、アラートの発表状況を見ながら対応する。

# 1-2. 熱中症警戒情報発表時に備えた体制

## 事例3. 石川県金沢市(1) 熱中症対策庁内連絡会の設置

- 熱中症対策を強化するため、関係する各課所等と連携し協力体制の整備と積極的な取組の推進を行うことを目的として、新たに「**熱中症対策庁内連絡会**」を設置。庁内関連部署24課で構成。

局	課	関連業務
都市政策	企画調整課	局内に関する対応
	広報広聴課	広報に関する対応(ホームページ・LINE等)
総務	総務課	局内に関する対応、庁舎管理に関する対応
文化スポーツ	文化政策課	局内に関する対応、文化・芸術施設に関する対応
	スポーツ振興課	スポーツ関連施設等に関する対応
経済	産業政策課	局内に関する対応
農林水産	農業水産振興課	局内に関する対応、農林・水産に関する対応
市民	市民協働推進課	局内に関する対応、町内会・市民団体に関する対応
福祉健康	福祉政策課	局内に関する対応、高齢者等に関する対応
	生活支援課	救護施設等に関する対応
	介護保険課	介護施設等に関する対応
	障害福祉課	障害者施設等に関する対応
	福祉健康センター総務課	福祉健康センター業務に関する対応
こども未来	子育て支援課	局内に関する対応
	保育幼稚園課	保育園、幼稚園等に関する対応
環境	環境政策課	局内に関する対応
	ゼロカーボンシティ推進課	脱炭素、地球温暖化対策に関する対応
都市整備	都市計画課	局内に関する対応
土木	道路建設課	局内に関する対応
教育委員会	教育総務課	局内に関する対応
	学校指導課	小中学校に関する対応
危機管理	危機管理課	熱中症による被害発生時の対応
病院	市立病院	熱中症患者の対応
消防	警防課	熱中症患者の救急搬送に関する対応

### 事務局

健康政策課	熱中症対策の全体統括、健康管理等
-------	------------------

### 第1回熱中症対策庁内連絡会を開催 (令和6年6月27日)

- 気候変動適応法的主要改正内容(熱中症特別警戒情報の新設、クーリングシェルターの指定等)の確認
- 市民や関連団体への熱中症予防の周知・啓発等に各部局が連携して取り組むことができるよう役割や熱中症警戒情報及び熱中症特別警戒情報に係る発表時の体制を確認

## 1-2. 熱中症警戒情報発表時に備えた体制

### 事例3. 石川県金沢市(2) 熱中症対策庁内連絡会の設置

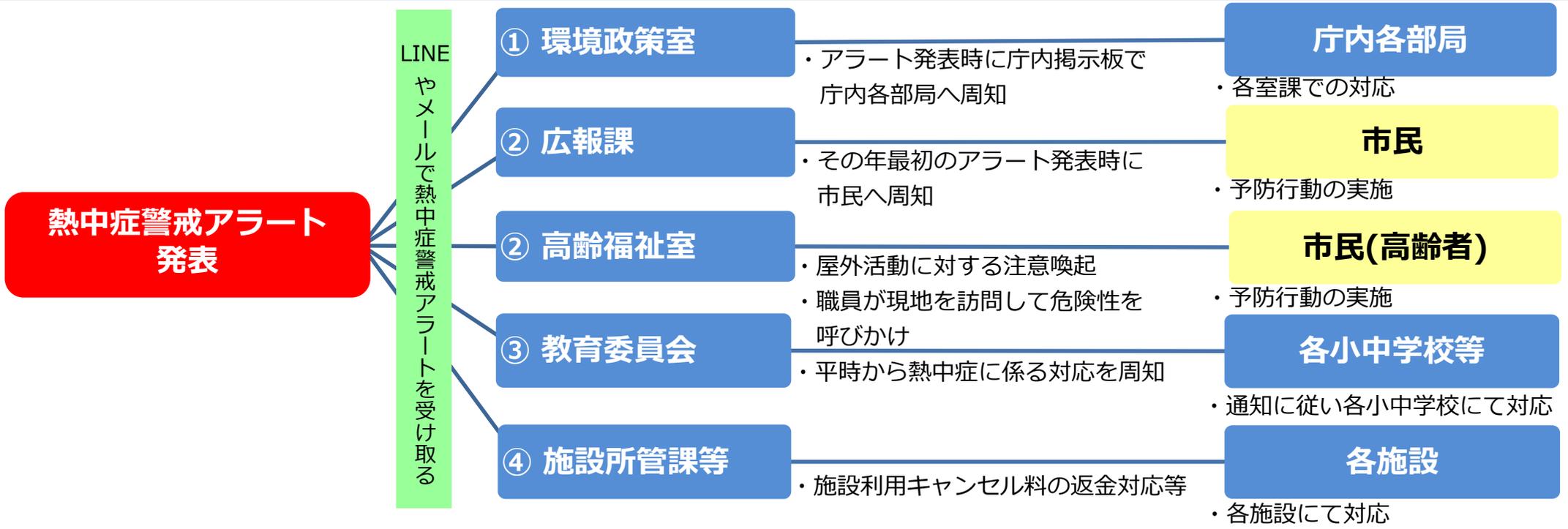
#### 会議体制の設置基準

- ① 熱中症警戒情報が頻繁に発表される場合：「**熱中症対策庁内連絡会**」を開催
  - ・健康被害が拡大しないよう、各部署の役割を確認
  - ・市民や関係団体等へ注意喚起や情報提供を実施
- ② 熱中症特別警戒情報が発表された場合：「**安全安心政策会議**」を開催
  - ・市民や関係団体等への注意喚起
  - ・部活動やイベント開催に伴う熱中症対策の確認・徹底(状況に応じて中止・延期等の判断実施)

事態レベル	判断基準	会議体制
1	熱中症警戒情報が頻繁に発表	<b>[新設]熱中症対策庁内連絡会</b>
2	熱中症特別警戒情報の発表時	<b>安全安心政策会議</b>
3	熱中症特別警戒情報の発表後、 大規模な健康被害が発生(切迫)し、 災害応急対策の必要がある場合	<b>金沢市熱中症対策本部</b>

# 1-2. 熱中症警戒情報発表時に備えた体制

## 事例4. 大阪府吹田市

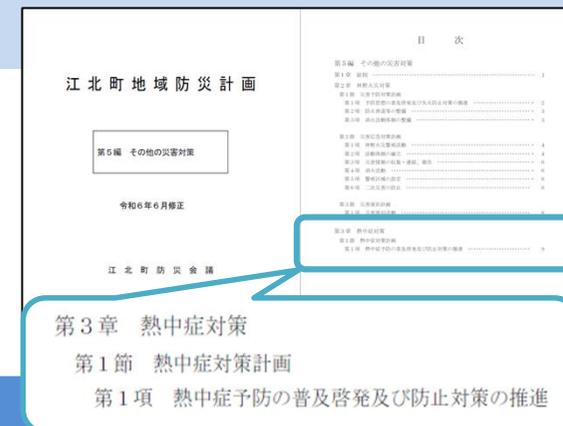


番号	部局名	対応
①	環境政策室	○アラートが発表された際には、庁内電子掲示板「事務なび」にて職員へ周知、及び市民へはSNSを活用し、注意喚起及びアラートの登録を呼びかけ
②	各室課	○関係する市民へ通知 [例] 広報課: その年最初のアラート発表時に市SNSへ掲載、市SNSでアラート登録の呼びかけを実施。 [例] 高齢福祉室: 屋外で実施する体操教室において、アラートのレベルに応じ、体操時間の短縮または中止を推奨。また、職員が現地に訪問し、アラート登録や熱中症の危険性を市民へ呼びかけ。
③	教育委員会	○各小中学校にて教育委員会の通知に従い、それぞれ対応。
④	施設所管課等	○各施設にて熱中症の呼びかけや対応等を実施 [例] 各スポーツ施設にて、アラート発表日に熱中症対策(予防)を理由にキャンセルをした場合には、キャンセル料がかからない措置を7月から9月まで実施。

# 1-2. 熱中症警戒情報発表時に備えた体制

## 事例5. 佐賀県江北町(1) 「江北町地域防災計画」

- 熱中症を災害の一部として捉え、『江北町地域防災計画』の第5編「その他の災害対策」にて、熱中症警戒アラート発生時における体制や動き等について定めている。
- 「災害対策連絡室」：佐賀県に熱中症警戒アラートが発表された場合 総務政策課安全安心係に設置。室長は総務政策課長。
- 「災害対策本部」：佐賀県に熱中症特別警戒アラートが発表された場合 庁舎2階に設置。本部長は町長、副本部長は副町長、議長、団長。



所属課	所属係	所掌事務
総務政策課	安全安心係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配備職員の登庁要請</li> <li>・ 災害対策連絡室/災害対策本部の運営</li> <li>・ 指定暑熱避難施設との連絡調整 ←[例]区長(自治会長)への連絡など</li> <li>・ 被害状況の取りまとめ</li> </ul>
	企画情報係・財政係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームページ、フェイスブックによる情報発信</li> <li>・ 防災無線による災害情報発信 ←[例]音源の登録、設定など</li> <li>・ 広報車両による広報</li> </ul>
健康福祉課	介護保険係・福祉係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民生委員・児童委員との連絡調整</li> <li>・ 避難行動要支援者(高齢者、要介護者)の援護措置</li> </ul>
基盤整備課	土木係・耕地係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 管理施設の巡回 ←[例]公園など</li> </ul>
こども教育課	学校教育係・生涯学習係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校教育施設等との連絡調整</li> <li>・ 社会体育施設等との連絡調整 ←[例]野球場、ソフトボール場、テニスコート、弓道場など</li> </ul>

▲災害対策連絡室と災害対策本部設置時の担当部局と所掌事務

江北町地域防災計画(令和6年6月修正) <https://www.town.kouhoku.saga.jp/bousai/kiji0031368/index.html>

※令和6年度のヒアリングによる

# 1-2. 熱中症警戒情報発表時に備えた体制

## 事例5. 佐賀県江北町(2) 江北町独自の「熱中症注意情報」

- 江北町では、環境省の熱中症警戒アラート発表よりも低い基準による「熱中症注意情報」の発信・運用を実施。防災行政無線やホームページなどを通して発表され、エアコンの活用のほか、水分や塩分の補給などの対策を呼びかけている。

### 江北町の「熱中症注意情報」の発表基準 (下記3項目のいずれか1つでも該当する場合に発表)

- ① 暑さ指数(WBGT)予測値について、**31以上となった場合**
- ② 暑さ指数(WBGT)予測値について、**25以上が6時間以上継続した場合**
- ③ 暑さ指数(WBGT)予測値について、**25以上であり、かつ、その最高値と最低値の差が6以上ある場合**

### 【参考】 環境省におけるアラート発表基準

#### 「熱中症警戒アラート」

府県予報区等内において、いずれかの暑さ指数情報提供地点における、翌日・当日の日最高暑さ指数(WBGT)が33(予測値)に達する場合に発表

#### 「熱中症特別警戒アラート」

都道府県内において、全ての暑さ指数情報提供地点における、翌日の日最高暑さ指数(WBGT)が35(予測値)に達する場合等に発表



#### ◀ 「指定暑熱避難施設および熱中症避難所」

令和5年は公共施設4か所だった「熱中症避難所」を、各区の協力を得て地区集会所や公民館など計20か所(令和6年7月現在)に拡大。

暑さからの“避難所”であるとともに、特別警戒アラート発表時には指定暑熱避難施設として活用される。

### ■工夫した点

江北町では2021年からの3年間、県内で熱中症により救急搬送された人と当時の「暑さ指数」を分析した結果、暑さ指数(WBGT)が31以上になると30以下の日に比べて1.7倍増加していたこと、またWBGT25以上が6時間続いた場合や最高値と最低値の差が6以上ある場合にも増加していることが判明したため、独自の「熱中症注意情報」を創設しました。

※令和6年度のヒアリングによる

# 1-2. 熱中症警戒情報発表時に備えた体制

## 事例6. 北海道札幌市 札幌版熱中症特別警戒アラート

- 札幌市では、環境省が発表する暑さ指数(WBGT)の予報と熱中症警戒アラート等の情報に基づき、**市内における熱中症の危険度が高くなると予想された場合**、札幌市のLINE公式アカウントを活用して、市民に熱中症の注意喚起をする仕組みを運用。
- 環境省の「熱中症特別警戒アラート」の発表基準には満たないものの、札幌市内において危険な暑さが予測される場合には札幌市独自の「**札幌版熱中症特別警戒アラート**」を発表し、注意喚起を行う。

札幌市が札幌版熱中症特別警戒アラートを発表した場合、環境省から熱中症警戒アラートや熱中症特別警戒アラートが発表された場合には、札幌市のLINEによる注意喚起を行います。

	環境省の予報・アラート	札幌市の対応 (LINEによる注意喚起)
<b>熱中症警戒アラート</b>  石狩・空知・後志管内の いずれかでWBGT33以上	翌日のアラート:17時に発表 当日のアラート:7時に発表	<b>翌日のアラート:18時までに投稿</b> <b>当日のアラート:9時30分までに投稿</b> ※前日に、翌日のアラートが発表された 場合は当日の投稿なし ※札幌版熱中症特別警戒アラートを発表 した場合は投稿なし
<b>札幌版熱中症特別警戒アラート</b>  札幌市内のすべての地点 (札幌・山口)でWBGT35以上	<b>各日6時の予報で、 7時に翌日のWBGT予測値を メール配信</b>	翌日のアラート:14時までに投稿 ※当日のアラート発表なし
<b>熱中症特別警戒アラート</b>  北海道内すべての地点で WBGT35以上	翌日のアラート:14時に発表 ※当日のアラート発表なし	<b>翌日のアラート:15時までに投稿</b> <b>※当日のアラート発表なし</b>

北海道には、暑さ指数情報提供地点が約**160地点**あり、エリアによって気候も異なっている。

札幌市内には2地点(札幌と山口)に、暑さ指数情報提供地点がある。

**札幌版熱中症特別警戒アラート**を発表したり、環境省から**熱中症警戒アラート**や**熱中症特別警戒アラート**が発表された場合には、LINEにより注意喚起を行う。

札幌市ホームページ <https://www.city.sapporo.jp/kankyo/ondanka/hyperthermia/hyperthermia.html>

### ■ 苦労した点

土日など閉庁時に注意喚起を行う職員体制の確保。

### ■ 工夫した点

以前は、札幌市のLINE公式アカウントへの投稿の権限を有する広報部門を介して投稿を行っていたが、LINE投稿システムの機能拡大などにより熱中症対策部門から直接投稿を行えるようにした。

# 1-2. 熱中症警戒情報発表時に備えた体制

## 事例7. 愛知県小牧市 熱中症警戒情報発表時の施設のキャンセル

### ●キャンセル条件

- ・利用日に**熱中症警戒アラート**が愛知県で発表されていること
- ・**利用開始時間までに**施設窓口**に熱中症予防を理由としたキャンセルを申し出ていること**

※空調設備が設置されている施設は対象外

## 熱中症警戒アラート発令時の スポーツ施設のキャンセルについて

危険な暑さの中、施設利用について無理することがないように、熱中症警戒アラート発令時において、利用前に熱中症予防を理由とした施設利用キャンセルの申し出があった場合は、施設使用料を徴収しないこととします。なお、施設使用料の支払いが済んでいる場合は、後日還付することとします。

**還付条件** 利用日に**熱中症警戒アラートが愛知県で発令**されており、**利用開始時間までに施設窓口**に**熱中症予防を理由としたキャンセルを申し出ていること**



環境省「熱中症予防情報サイト」

**適用期間** 熱中症警戒アラート情報提供期間(右のQRコードからサイトを参照してください)

**申出方法** 各利用施設に**利用開始時間までに**電話いただくか、もしくは窓口にお申し出ください。

**対象施設**

- ・パークアリーナ小牧(サッカーグラウンド)
- ・総合運動場(野球場、多目的運動場)
- ・南スポーツセンター(グラウンド、武道館)
- ・さかき運動場(野球場、テニスコート)
- ・大輪体育館

※空調設備が設置されている施設は対象外



(公財)小牧市スポーツ協会



▲パークアリーナ小牧(サッカーグラウンド)

“暑さ指数(WBGT)の予測が31以上”を無料キャンセル条件に挙げる自治体も

▲(公財)小牧市スポーツ協会による案内例

## 暑さ指数(WBGT)に応じた注意事項等

暑さ指数 (WBGT)による 基準域	注意すべき 生活活動の目安 ※1	日常生活における注意事項 ※1	熱中症予防運動指針 ※2
<b>危険</b> 31以上	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては 安静状態でも発生する危険性が高い。 外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。	<b>運動は原則中止</b> 特別の場合以外は運動を中止する。 特に子どもの場合には注意すべき。
<b>嚴重警戒</b> 28以上 31未満		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇を注意する。	<b>嚴重警戒</b> (激しい運動は中止) 熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。 10～20分おきに休憩をとり水分・塩分を補給する。暑さに弱い人は運動を軽減または中止。
<b>警戒</b> 25以上 28未満	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は 定期的に十分に休憩を取り入れる。	<b>警戒</b> (積極的に休憩) 熱中症の危険性が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。 激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
<b>注意</b> 25未満	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。	<b>注意</b> (積極的に水分補給) 熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。 熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。

※1 日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針 Ver.4」(2022年)

<https://seikishou.jp/cms/wp-content/uploads/20220523-v4.pdf>

※2 日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」(2019年)

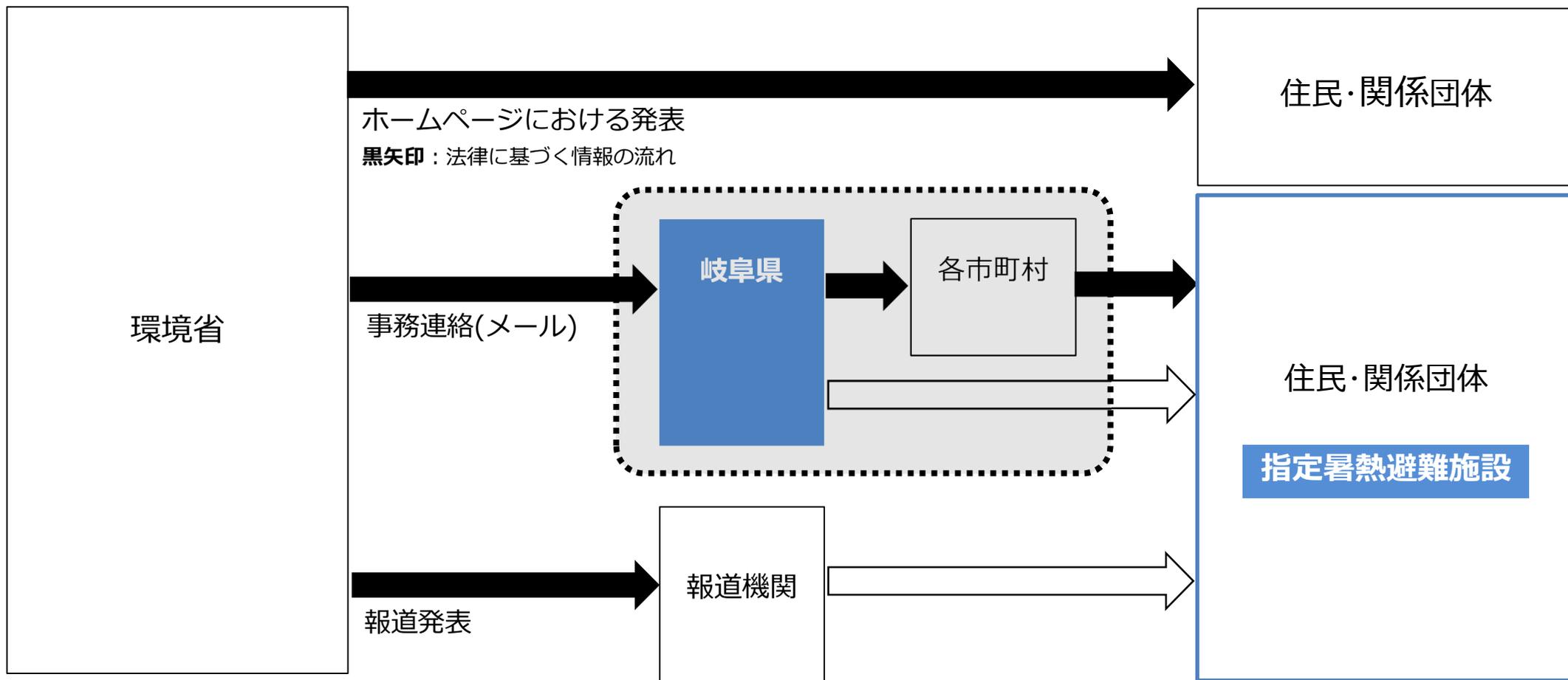
[https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/supoken/doc/nechusho\\_yobou\\_guidebook\\_2018.pdf](https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/supoken/doc/nechusho_yobou_guidebook_2018.pdf)

「熱中症環境保健マニュアル2022」(p.15)

# 1-3. 熱中症特別警戒情報発表時に備えた体制

## 事例1. 岐阜県(1)

- 令和6年6月3日 **市町村担当者説明会**の実施
  - ・ 改正気候変動適応法の概要と取組事例（中部地方環境事務所/環境再生保全機構）
  - ・ クーリングシェルター、熱中症特別警戒情報発表時の専用連絡網及びリハーサルに関すること(県担当者)
- 令和6年6月中に**リハーサル**を2回実施。全市町村が少なくとも1回以上参加。



# 1-3. 熱中症特別警戒情報発表時に備えた体制

## 事例1. 岐阜県(2)

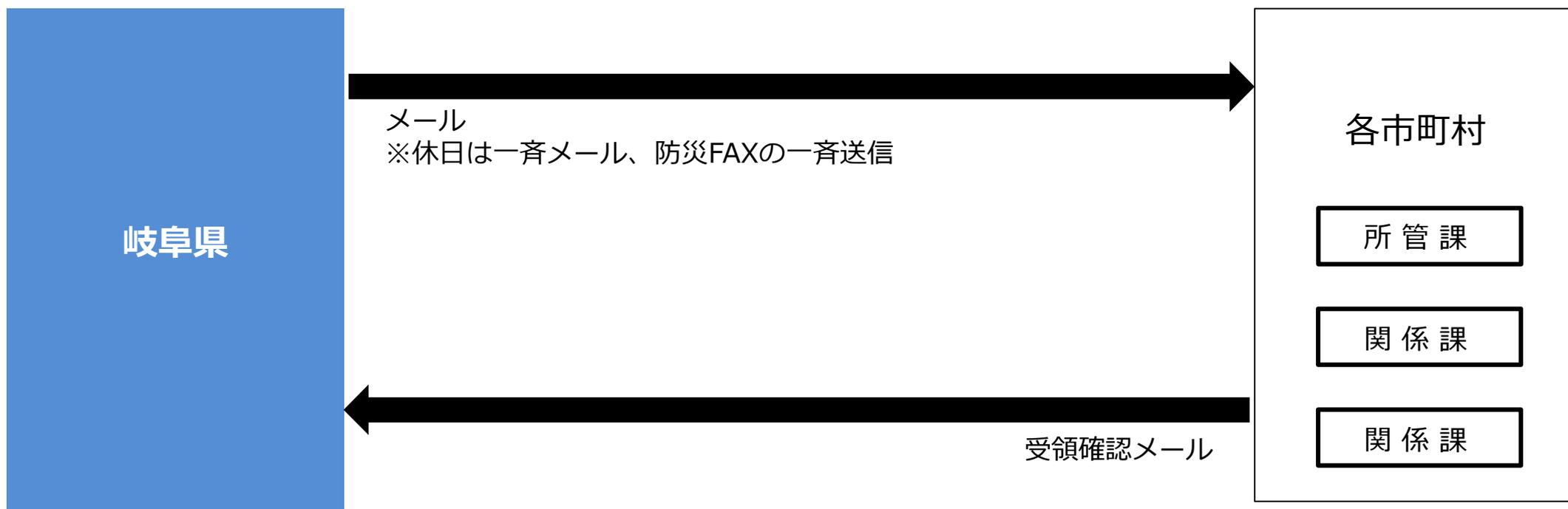
### ● 県から市町村へ

優先順位を問わず、登録されたメール送付先へ伝達。

休日は、休日用に登録されたメールアドレスへの一斉メールと、**防災情報通信システムFAX(防災FAX)**の一斉送信。

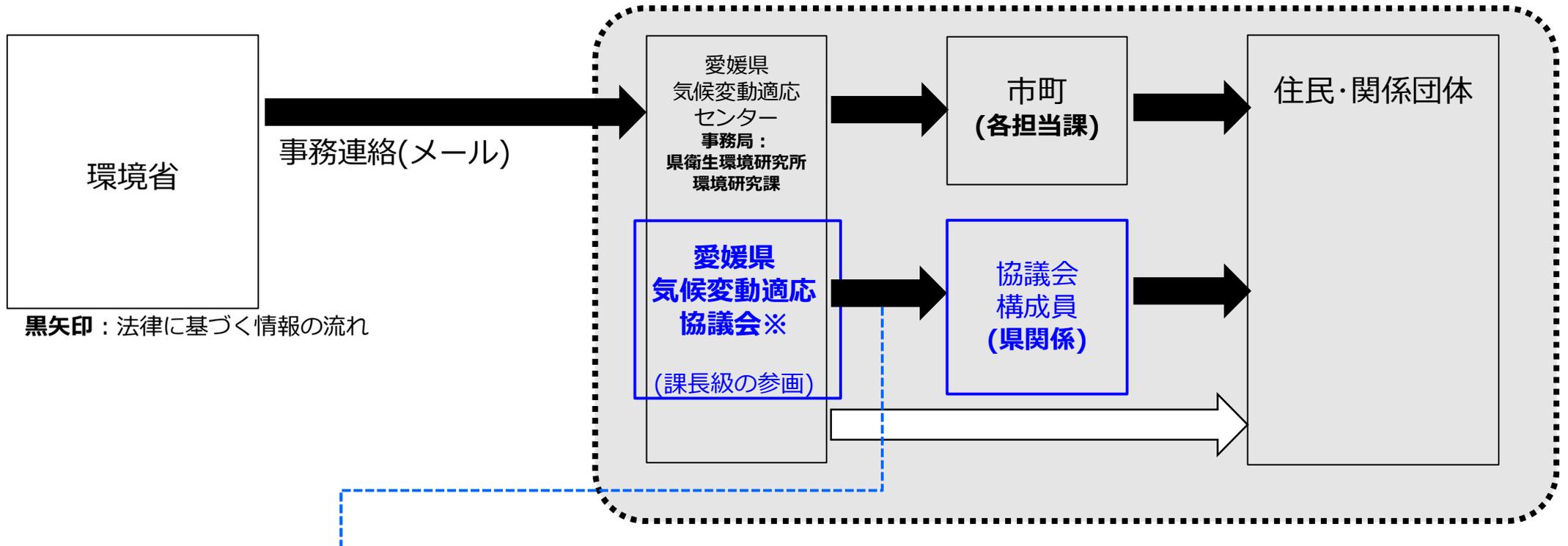
### ● 市町村から県へ

市町村(関係課のうち1か所)から、県へ**受領確認のメール**を送信する。これがない場合、県から優先順位の高い連絡先へ**受領確認の架電**をする。



# 1-3. 熱中症特別警戒情報発表時に備えた体制

## 事例2. 愛媛県



### 【愛媛県気候変動適応協議会の構成員への一斉配信】

愛媛県衛生環境研究所環境研究課(県担当課) = 愛媛県気候変動適応協議会事務局 という構造

熱中症対策は、関係する部局が多岐にわたることから、各部局が主体的かつ積極的に情報共有等を図れるよう、環境省からの事務連絡を当協議会構成員(県関係)で共有し、市町や各部局の関係する機関や団体等に連絡する体制を構築

### ※愛媛県気候変動適応協議会

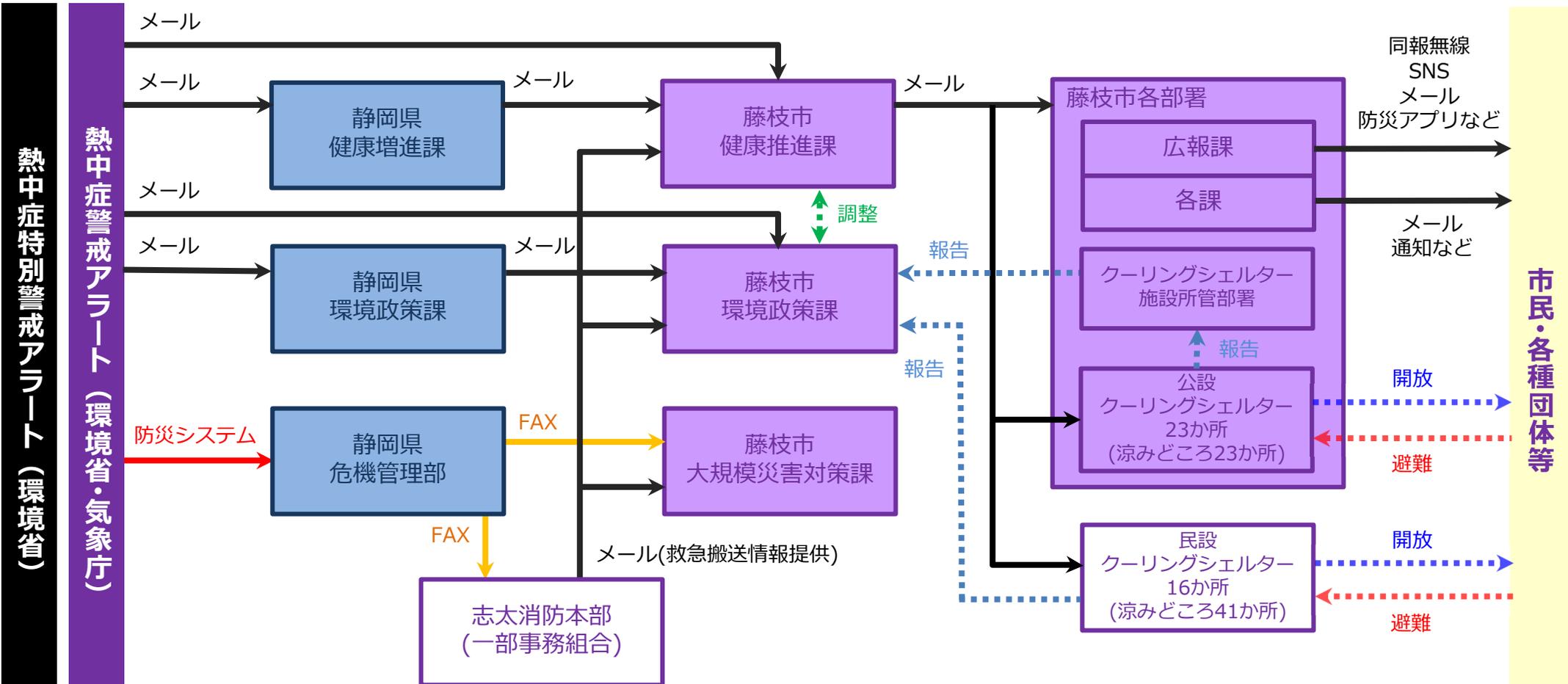
県における効果的な気候変動適応策の推進に向け、関係者間で気候変動に係る情報を共有し、必要な協議を行うことを目的とする。構成員は、国関係機関や大学等の他、県の各部の主管課や教育委員会、研究機関の課長級が参画する。

# 1-3. 熱中症特別警戒情報発表時に備えた体制

## 事例3. 静岡県藤枝市

### 【体制づくりに向けた手順】

- これまでの熱中症警戒情報の体制を確認  
(どこの部署にどこからどのような通知がどのような方法で届いて、どこにどのように通知・転送しているか)
- 熱中症特別警戒情報についてもこれまでの警戒情報同様の対応で可能か確認  
(他部署含め、他部署の上位機関についてもそれぞれ確認)
- 志太消防本部とは、これまで熱中症という観点での情報共有を図っていなかったが、年度途中から熱中症に関する特設ページを開設し、管内における搬送者数を掲載したことに伴い、市内の搬送者に関する情報を共有することにした。また、藤枝市からも各課の取組など情報を共有している。



## 事例3. 静岡県藤枝市

第1号様式（第4条関係）

藤枝市「クーリングシェルター（涼みどころ）」指定申請書

年 月 日

藤枝市長 宛

申請者 施設名  
施設住所  
管理者名

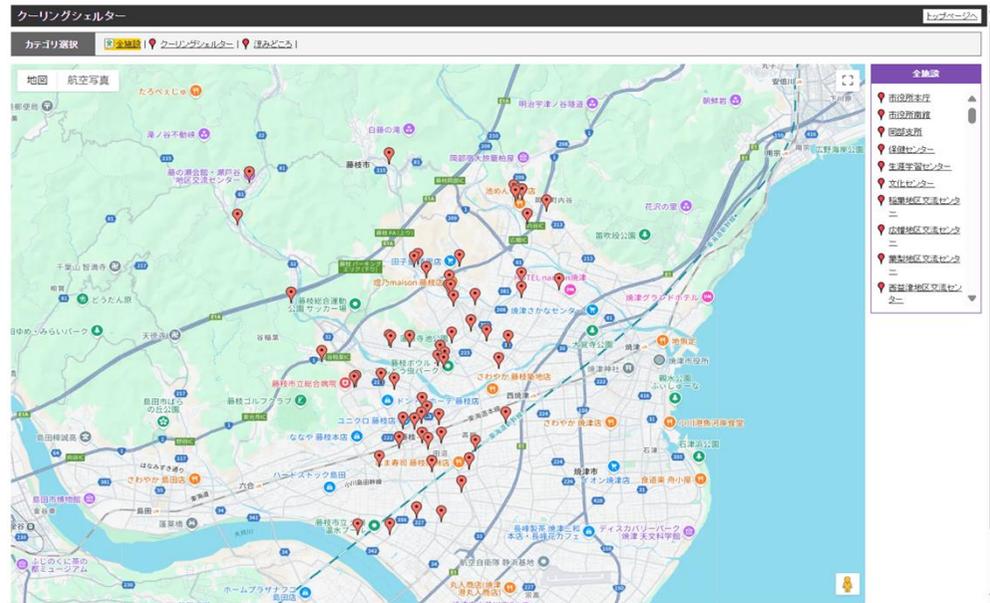
藤枝市の熱中症対策として、藤枝市「クーリングシェルター（涼みどころ）」の指定等に關する要綱第4条の規定により、次のとおり申請します。

開放可能日時	
受入可能人数	
開放場所	1. 椅子又はベンチ ( 基 ) 2. テーブル ( 基 ) 3. その他 ( )
担当者名	
担当者連絡先	電話番号
	メール
備考	希望する開設方法に○をしてください。 クーリングシェルター ・ 涼みどころ 必要な数を記入してください。 のぼり旗 ( )、黒石 ( )、ポール ( )



◀のぼり旗

◀クーリングシェルター(涼みどころ)指定申請書



▲クーリングシェルターのマッピング「涼みどころ」も網羅している。

### ■苦勞した点

- ・国(環境省環境保健部)に対応する市の組織がないため、組織内の調整に苦慮した。
- ・現状における、熱中症に伴う各部署の情報の全体像の把握 (どこの部署に、どこからどのような通知がどのような方法で来て、どこにどのように通知・転送等しているか。また、広報課においては、どのタイミングでどのような手段で市民に伝えるか。など)

### ■工夫した点

- ・同様の通知が複数通知されるなどの情報の混乱を招かないよう、複数のルートから来る情報を健康推進課で一元化し、とりまとめた上で、各部署に発信した。
- ・情報発信の役割分担を明確化したことにより、迅速な情報伝達を図ることが可能となった。
- ・クーリングシェルター・涼みどころ指名申請にメールアドレスを記入してもらうことで、熱中症警戒情報発表時等の情報をメールで即時に提供することができる体制を構築した。
- ※クーリングシェルターと涼みどころの「指定申請書」を同一化している。
- ※涼みどころとは、藤枝市独自に6月から9月までの間、熱中症警戒情報発表に関係なく、市民に涼をとる空間を提供する施設で、市内64か所(令和6年9月30日現在)。

# 1-3. 熱中症特別警戒情報発表時に備えた体制

## 事例4. 奈良県奈良市 独自の施設利用・イベント実施に対する対応指針

- 奈良市内2か所(奈良・針)の観測地点で、翌日のWBGT予測値「35」が出た場合、
  - ・ 周辺地域の学校・バンビーホーム※1・保育園・幼稚園・こども園における臨時休業等、
  - ・ 屋外の公共施設利用・屋外イベントの原則中止を決定。
- さらに早い段階から現実的な対策を講じるため、上記2地点いずれかで14時時点に発表される翌日のWBGT予測値(最高値)が「31」「33」「35」に達した場合に、その周辺地域に対し以下の対応を行う。

### 暑さ指数31以上の熱中症予防方針(学校・バンビーホーム・保育園・幼稚園・こども園以外)

暑さ指数	危険度	公共施設		イベント	
		屋内 ※3	屋外	屋内	屋外
35以上	過去に例のない危険な暑さ	使用可能 (原則、外出しないように注意喚起)	使用中止 (原則)	暑さ対策が困難な場合、市主催は原則中止する。 市以外主催は中止を求める。 ※2	市主催は原則中止する。 市以外主催は中止を求める。
33以上	熱中症による健康被害のおそれ	使用可能 (原則、外出しないように注意喚起)	使用中止 (要請)	暑さ対策が困難な場合、市主催は原則中止する。 市以外主催は中止を求める。 ※2	暑さ対策が困難な場合、市主催は原則中止する。 市以外主催は中止を求める。 ※2
31以上	高齢者は安静状態でも熱中症発生のおそれ	使用可能 (注意喚起)	使用可能 (注意喚起)	主催者や参加者に対し注意喚起	主催者や参加者に対し注意喚起

※1 バンビーホーム:放課後児童クラブのこと。児童館はその機能上、バンビーホームと同様の対応とする。

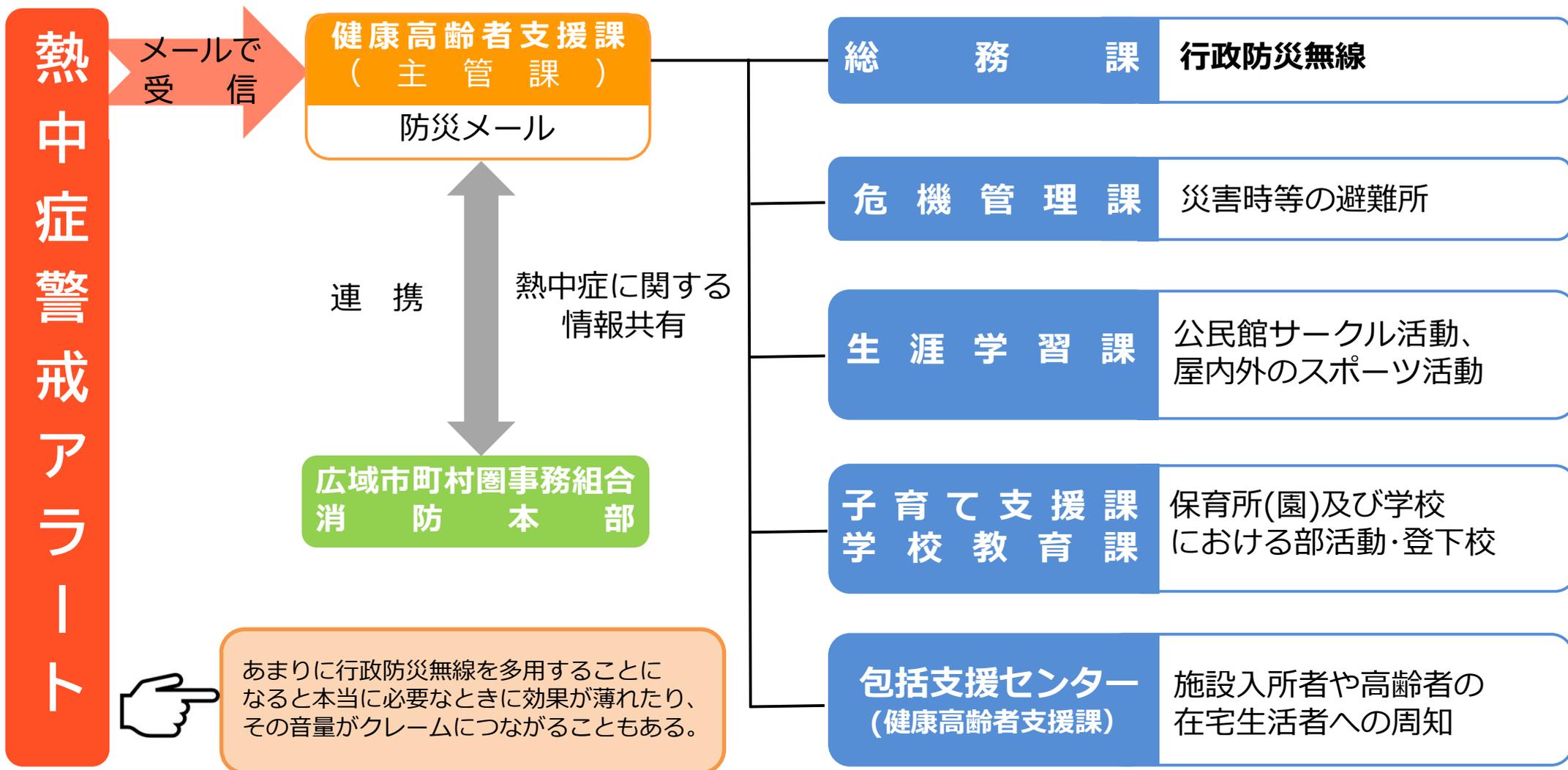
※2 開催する場合、市から熱中症予防の指導等を徹底し、必要に応じ説明を求める。

※3 エアコン等の暑さ対策設備がない場合は、屋外施設と同様の対応とする。

# 1-3. 熱中症特別警戒情報発表時に備えた体制

## 事例5. 千葉県いすみ市 行政防災無線の使用基準

- 熱中症警戒アラート発表時には「いすみ市防災メール」において広報・周知
- 熱中症特別警戒アラート発表時あるいは最高気温が38℃以上となる気象予報の場合に「行政防災無線」を活用した広報・周知を行うことで調整。



# 1-3. 熱中症特別警戒情報発表時に備えた体制

## 事例6. 神奈川県横須賀市 クーリングシェルトーの開館延長

- **特別警戒情報発表時**には、横須賀市が指定するクーリングシェルトー19か所のうち下記の9か所について通常は17時閉館のところ**開館時間をそれぞれ延長**することに決定

施設名	所在地	開放時間	開放日	収容可能人数
追浜行政センター	横須賀市夏島町9	8時30分～ <b>21時</b>	全館休館日以外	20人
田浦行政センター	横須賀市船越町6-77	8時30分～ <b>21時</b>	全館休館日以外	12人
逸見行政センター	横須賀市東逸見町2-29	8時30分～ <b>21時</b>	全館休館日以外	9人
衣笠行政センター	横須賀市公郷町2-11	8時30分～ <b>21時</b>	全館休館日以外	20人
大津行政センター	横須賀市大津町3-34-40	8時30分～ <b>21時</b>	全館休館日以外	27人
浦賀行政センター	横須賀市浦賀5-1-2	8時30分～ <b>21時</b>	全館休館日以外	8人
久里浜行政センター	横須賀市久里浜6-14-2	8時30分～ <b>21時</b>	全館休館日以外	24人
北下浦行政センター	横須賀市長沢2-7-7	8時30分～ <b>21時</b>	全館休館日以外	15人
西行政センター	横須賀市長坂1-2-2	8時30分～ <b>21時</b>	全館休館日以外	23人

(※)行政センターのしごとは、センターのある地域のいろいろな団体や組織に関わるしごとと戸籍・住民票等に関わるしごとに大きく分かれ、それぞれ「地域コミュニティ係」と「地域窓口サービス係」が分担してしごとを受け持っています。

横須賀市健康増進課 熱中症ホームページ [https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/3130/heat\\_stroke.html](https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/3130/heat_stroke.html)

### ■ 苦労した点

- ・熱中症特別警戒情報についての説明
- ・クーリングシェルトーの理解

### ■ 工夫した点

- ・関係部課長を中心とした熱中症対策連絡会議の開催

## 2. 地域の熱中症リスク評価



熱中症警戒アラート  
をチェック!



見守り・声かけ!



適切にエアコン  
を使おう!



こまめに水分・塩分  
を補給!

## 2. 地域の熱中症リスク評価

### 熱中症のリスク評価に関する事例

- 熱中症のリスク評価に関する方法はさまざまで、代表的な例としては以下のようなものがある。

#### ① 熱中症救急搬送者数と、気温もしくは暑さ指数(WBGT)との関係

<分析の視点[例]>

- ・ 区別（政令市の場合）、中学校区別、大字(おおあざ)別
- ・ 年齢階級別
- ・ 男女別
- ・ 曜日別
- ・ 時刻別・時間帯別
- ・ 活動別
- ・ 発生場所別
- ・ 傷病程度別
- ・ 既往症の有無
- ・ 月別の最高気温、平均気温
- ・ 日別の最高気温、平均気温
- ・ 搬送時の気温
- ・ 経年推移

#### ② 熱中症弱者に対する“個人ごと”のリスク評価

<どのような人が(熱中症に)なりやすいか>

- ・ 脱水状態にある人
- ・ 高齢者、乳幼児
- ・ からだに障害のある人
- ・ 肥満の人
- ・ 過度の衣服を着ている人
- ・ 普段から運動をしていない人
- ・ 暑さに慣れていない人
- ・ 病気の人、体調の悪い人

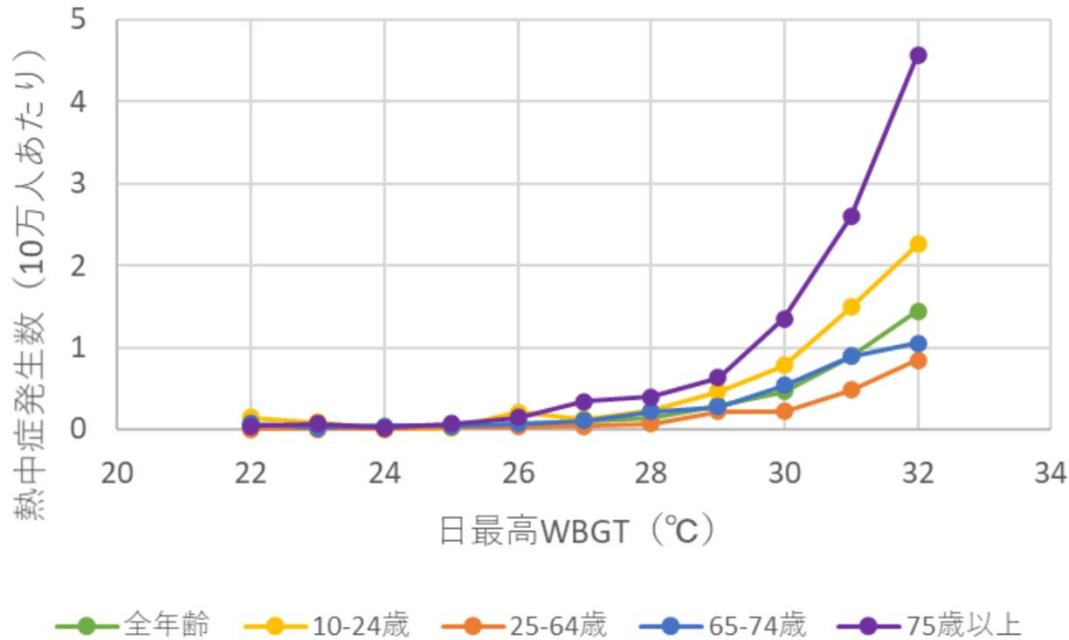
#### ③ 住民へのアンケート

①や②で得られたデータと、住民の意識・感覚と乖離がないか、といった活用ができる。

## 2. 地域の熱中症リスク評価

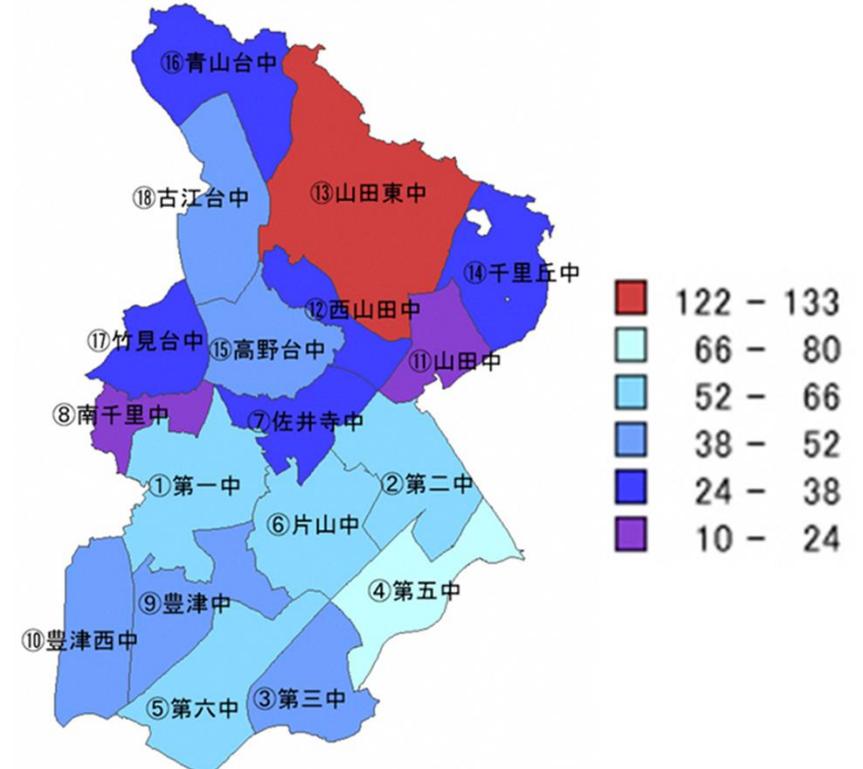
### 事例1. 大阪府吹田市(1)

- 熱中症救急搬送者数のデータを用いて **中学校区別の分析** をし、熱中症の危険性が高い年齢層や場所を把握。
- WBGTとの関係や地域分布を地図化するなど他のデータと組み合わせた分析を実施。



#### ▲年齢層別・日最高暑さ指数(WBGT)別の熱中症発生数

日最高暑さ指数(WBGT)30を境に熱中症発生数が増加しているが、特に後期高齢者の発生数の増加が顕著。次いで10-24歳の若年層が多くなっている(曜日別の分析では、若年層は著しく土日に多く発生している)。



#### ▲熱中症搬送者数(2014年から2020年)

スポーツ施設の多い万博記念公園が所在する、山田東中学校区の熱中症発生数が多い傾向。

#### ■工夫した点

熱中症の救急搬送者数、地域関係機関のヒアリング結果をもとに高リスク対象を抽出するとともに、地域関係機関などから構成され、地域住民参加型の熱中症対策を協議するための会議体(プラットフォーム)【事例7-6】について検討を行いました。

さらに、高リスク集団として抽出された学生、アスリート、高齢者に対する熱中症予防の行動化に向けた効果的な情報提示の方法をプラットフォームにおいて検討しました。プラットフォームにて議論をすることで、問題点を速やかに共有することができ、問題解決に効果的と考えられる対策の抽出にいち早く辿り着くことができました。

## 2. 地域の熱中症リスク評価

### 事例1. 大阪府吹田市(2)

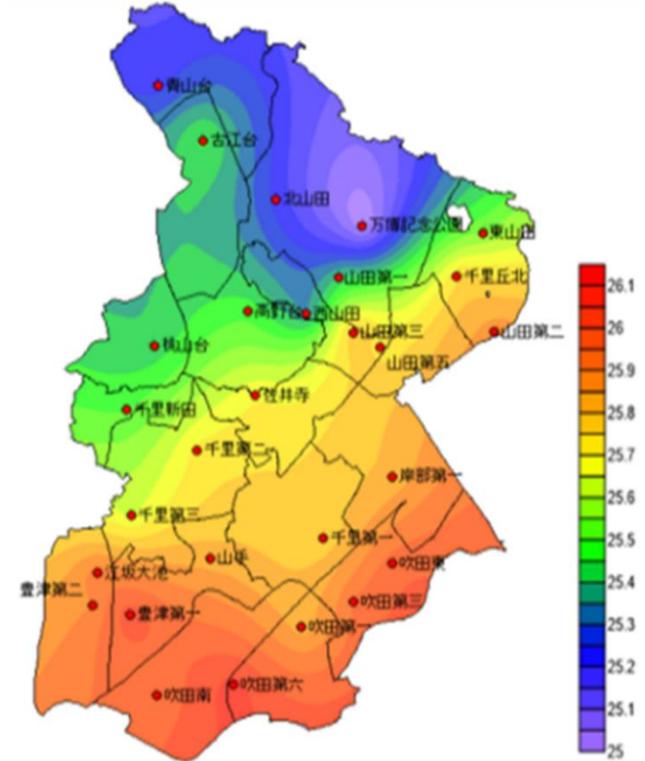
- 市内各所における気温等調査を実施し、**熱中症リスクの高い場所や時間帯**を把握。  
(市内の代表地点2か所でWBGTの測定及び市内36か所で温度の測定。)



▲WBGT計（北消防署屋上）



▲温度計（万博公園）



▲解析データ[例]  
2022年7月26日(5時)のWBGT分布

#### ■ 苦労した点

- ・ 温度調査については日照や雨などの影響で測定値が大きく変化するため、小学校の百葉箱を活用

#### ■ 工夫した点

- ・ 小学校の百葉箱を活用するにあたって、小学校との調整
- ・ 百葉箱の場所や劣化状況の把握、
- ・ 市内小学校等の30か所の百葉箱へ温度計の設置や回収、3か月に1回のデータ収集

## 2. 地域の熱中症リスク評価

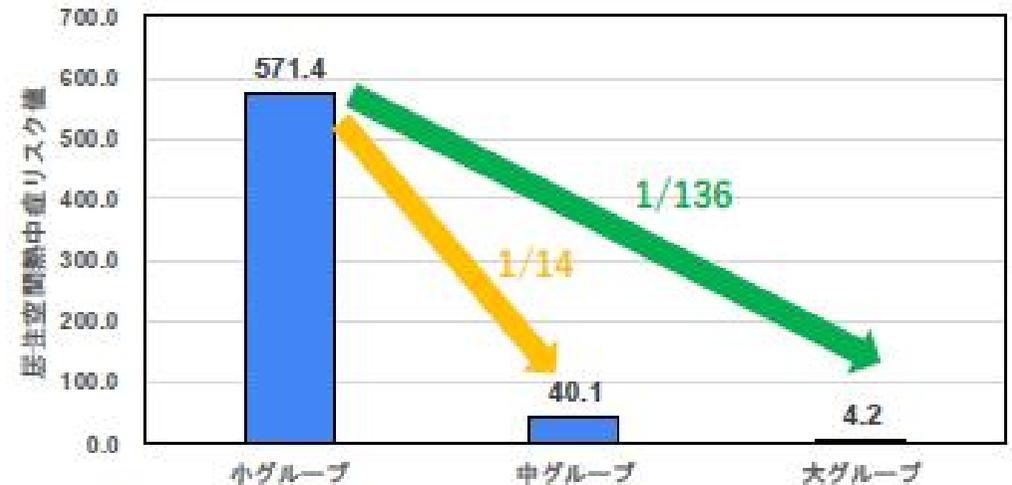
### 事例2. 神奈川県川崎市

- 市内7区に分散させて高齢者の協力者を選定、7月末から9月上旬にかけて自宅で長時間滞在する場所に**小型気象センサー**を設置し、データは無線通信により逐次回収した。
- 20世帯分の1か月に及ぶ気温・湿度等の測定データと、市の大気・気象観測地点における同期間の気温等のデータをグラフにプロットし、エアコンの使用実態等を検証した。



調査期間総時間数：33日間×24時間＝792時間

▲エアコン使用判定時間数(昇順)



▲平均室温30℃台以上の時間数のグラフ

最もエアコンの使用時間が少ない「小グループ」のリスクが著しく高い。居住空間の熱中症リスクに大きな影響を与える要素として、①エアコンの使用頻度、②窓・扉の開閉等の換気頻度、③建物構造(戸建て、集合住宅)があることがわかった。

#### ■ 苦労した点

データ解析に当たり、約600日(20世帯分の1か月)分の室温データと外気温データを比較し、外気温に対して室温が連動していないデータを目視で調べ、エアコンの使用判定を行ったことに苦労した。

#### ■ 工夫した点

エアコンの使用判定を行うことで、20世帯分のデータを対象に、エアコンの使用時間に応じたおおまかなグループ分けを行い、そのグループごとにおける室内での暑熱環境について解析を行うことができた。

## 2. 地域の熱中症リスク評価

### 事例3. 群馬県上野村(1)

- 人的要因と環境要因を組み合わせた「**熱中症スクリーニングシート**」を作成し、上野村の高齢者各個人の熱中症リスクについて**スクリーニング評価**を行った。

#### <熱中症スクリーニングシートの内容>

##### 人的要因：医療系専門職による監修

- ・「熱中症警戒アラートに対する受け止め」
- ・「年齢」
- ・「虚弱度」
- ・「簡易認知機能テストの結果」
- ・「水分の補給方法」等

##### 環境要因：総務部局関係者による監修

- ・「日照時間」、「エアコン設置状況」、等

対象者：上野村のすべての65歳以上の高齢者(約500名)。

調査方法：社会福祉協議会職員が高齢者宅でヒアリングを行い、結果をシートに記入(訪問面接調査法)。



#### ● 評価の結果

「**認知症高齢者の日常生活自立度**」を参考に医療系専門職の監修のもと熱中症リスクをハイ、ミドル、ローの3段階で評価。

- ・ 合計点数(16点満点)の上位33名をハイリスク  
☞ **ハイリスクアプローチ** を展開

- ・ 9点以上をミドルリスク、8点以下をローリスクと分類  
☞ **ポピュレーションアプローチ** を展開



～熱中症リスク スクリーニングシート～

対象者氏名： \_\_\_\_\_

- 家族構成
  - ・ それ以外…0点
  - ・ 高齢夫婦世帯…1点
  - ・ 高齢独居世帯…2点

\_\_\_\_\_点
- 上野村(自宅)に住んでいて熱中症になると思うか?
  - ・ 思う…0点
  - ・ どちらとも言えない…1点
  - ・ 思わない…2点

\_\_\_\_\_点
- 夏の日照時間(自宅)※対象者の主観で判断
  - ・ 短い…0点
  - ・ どちらとも言えない…1点
  - ・ 長い…2点

\_\_\_\_\_点
- エアコンの使用
  - ・ よく使う…0点
  - ・ どちらとも言えない…1点
  - ・ 使わない…2点

\_\_\_\_\_点
- 水分の補給方法(方法を聞く)
  - ・ 意図的に行っている…0点
  - ・ どちらとも言えない…1点
  - ・ 行っていない…2点

\_\_\_\_\_点
- 指輪っかテスト
  - ・ つかめない…0点
  - ・ 適度につかめる…1点
  - ・ ゆるい…2点

\_\_\_\_\_点
- キツネ模倣テスト
  - ・ 早くて正確…0点
  - ・ どちらとも言えない…1点
  - ・ できない…2点

\_\_\_\_\_点
- 生年月日と現在の年齢
  - ・ 早くて正確…0点
  - ・ 片方正解…1点
  - ・ 両方正解…2点

\_\_\_\_\_点

実施日 令和3年 月 日

<memo>

## 2. 地域の熱中症リスク評価

### 事例3. 群馬県上野村(2)

#### ● 特定されたリスクに応じた対策を講じる

#### ハイリスクアプローチ (ハイリスク者への対応)

##### ● ピンポイント支援の実施

<条件>

- ・「群馬県に熱中症警戒アラートの発表」
- ・「最寄りのアメダス(神流観測所)の暑さ指数が30超え」

##### ● 1回の支援時間は10分以内

- ・危険な暑さになっていることを伝える  
(スマホで熱中症予防サイトを見せる)
- ・外出自粛の指導
- ・室内を冷やす(窓を開ける等)
- ・水分補給

##### ● 平日は訪問、休日は電話対応

※電話不通の場合は訪問支援に切り替える

##### ● 支援後は、ICTツールを 使用して情報共有



#### ポピュレーションアプローチ (ミドルリスク者、ローリスク者への対応)

##### ● 筋力トレーニング

- ・職員の訪問もしくは利用者に通所してもらい提供。作業療法士、看護師が対応
- ・保水力の向上を目的とした筋力トレーニング情報を、7分の番組として作成し、地元ケーブルテレビ(村内放送)で1日3回配信  
訪問による運動指導を実施

##### ● 高齢者の特性を活かした広報、普及啓発活動

- ・挿絵や図、方言を多用したチラシを作成、訪問して説明しながら配布



▲運動指導



▲チラシ

# コラム

## ハイリスクアプローチ と ポピュレーションアプローチ

### ●ハイリスクアプローチ

健康リスクの高い人を対象とする

健康リスクが高いとされる、右側の“山の一部分を削る”ような取組み。

[高血圧対策での例]

健診で高血圧と判定された人に、医療機関での血圧管理(降圧剤での治療)が受けられるように支援したり、個別もしくはは集団での栄養指導や生活指導を行う

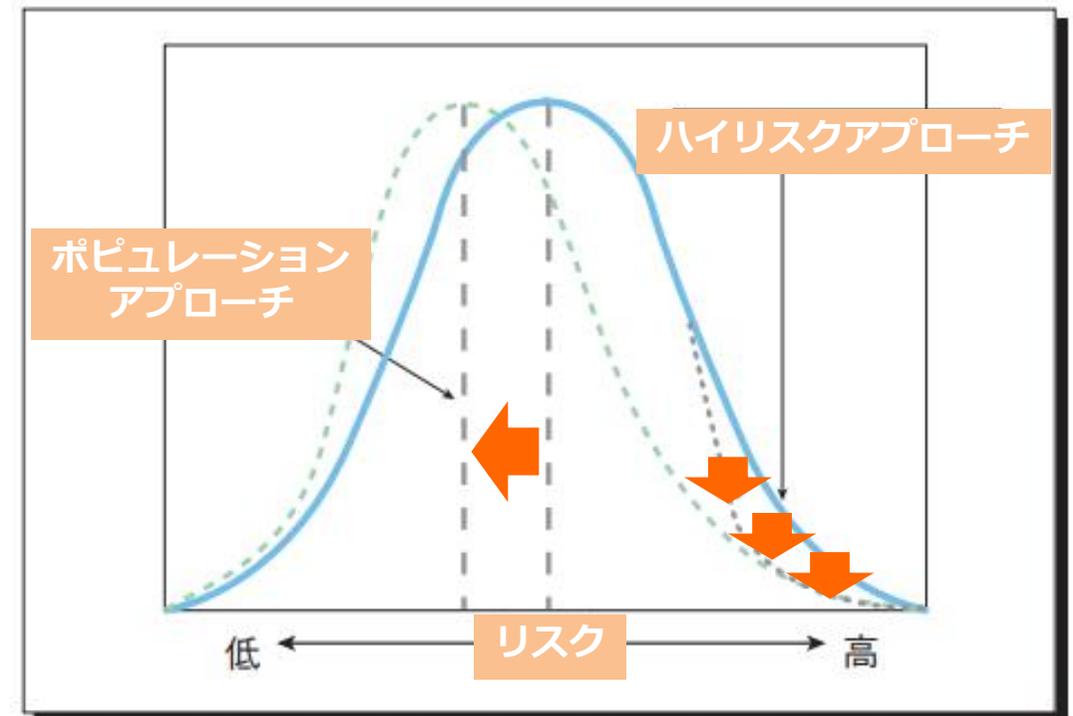
### ●ポピュレーションアプローチ

集団全体を対象とする

山全体をリスクの低いほうへ移動させることを目的とし、いわゆる“山を動かす”取組み。

[高血圧対策での例]

地域等の集団全体で減塩に取り組めるよう支援すること等



公益社団法人日本看護協会「わかる、できる 保健師のためのポピュレーションアプローチ必携」(平成30年3月)  
p.8より抜粋、一部改変

[https://www.nurse.or.jp/nursing/home/publication/pdf/hokenshido/2018/wakaru\\_dekiru\\_population\\_approach.pdf](https://www.nurse.or.jp/nursing/home/publication/pdf/hokenshido/2018/wakaru_dekiru_population_approach.pdf)

### 3. 熱中症予防行動の効果的な情報発信



熱中症警戒アラート  
をチェック!



見守り・声かけ!



適切にエアコン  
を使おう!



こまめに水分・塩分  
を補給!

### 3. 熱中症予防行動の効果的な情報発信

#### 情報発信の手段・媒体や機会に関する事例

- 熱中症の予防行動・対策を促すための情報発信手段・媒体やその発信機会には以下のような例がある。伝えたい対象、内容によってこれらから選択したり組み合わせる。

- ・ web(ホームページ、SNS、アプリなど)
- ・ メール
- ・ パンフレット、リーフレット
- ・ 広報紙、フリーペーパー
- ・ チラシ
- ・ ポスター
- ・ テレビ、ラジオ(ケーブルテレビ、コミュニティラジオなど)
- ・ 大型ビジョン
- ・ 防災無線
- ・ 音声告知端末
- ・ 広報車(パトカー、消防車、青色防犯パトロール車両、ごみ収集車など)
- ・ 暑さ対策グッズ(うちわ、マグネット(温度計つきを含む)、飲料(経口補水液を含む)、塩飴・塩タブレットなど)
- ・ セミナー、講座
- ・ ウェビナー(webセミナー)
- ・ イベント
- ・ 個別訪問による見守り・声かけ



▲防災無線 拡声器[例]



▲音声告知端末[例]

ケーブルテレビやインターネット回線を利用し、行政からのお知らせ(募集・案内、交通情報、防犯情報、当番医など)を放送することができる。



▲ごみ収集車側面のマグネットポスター[例]



## 時季に応じた情報発信・普及啓発(1)

### 4～6月頃：暑熱順化やエアコンの早期点検等の呼びかけ



暑くなるまでに…

- ・庁内外との連携、連絡体制の再確認・再構築
- 熱中症警戒情報、熱中症特別警戒情報が発表されたときの体制準備
- ・広報誌面・紙面の検討、
- ・チラシ、ポスター等のデザイン確定、
- ・町内会、自治会等への展開準備

#### ●経済産業省

「夏季を迎える前のエアコン試運転の重要性について」

([https://www.meti.go.jp/policy/it\\_policy/air\\_conditioner/maintenance.html](https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/air_conditioner/maintenance.html))

「エアコンシーズン前点検パンフレット」

([https://www.meti.go.jp/policy/it\\_policy/air\\_conditioner/air\\_conditioner\\_maintenance.pdf](https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/air_conditioner/air_conditioner_maintenance.pdf))

- 一般社団法人日本冷凍空調工業会では、4月10日を『エアコン試運転の日』に制定し、夏までに、エアコンの試運転と確認を行うことを推奨している。

### 7月頃：梅雨明けに特に熱中症のリスクが高いことを国民へ注意喚起

- 高齢者、こども等の熱中症弱者のための見守り・声かけ強化
- 電力需給ひっ迫時も、節電にも配慮したエアコンの適切な使用の呼びかけ
- こまめに水分・塩分を補給
- イベント開催時の普及啓発
- 主要施設へのパンフレット、リーフレット、広報誌、チラシ等の配架、
- テレビ、ラジオ、大型ビジョン等での放映、
- 広報車の展開



## 時季に応じた情報発信・普及啓発(2)

### 8 月 頃 : 盛夏における熱中症対策の一層の呼びかけ

- 高齢者、こども等の熱中症弱者のための見守り・声かけ強化
- 電力需給ひっ迫時も、節電にも配慮したエアコンの適切な使用の呼びかけ
- こまめに水分・塩分を補給
- 「夏季のイベントにおける熱中症対策ガイドライン」を参考にした対策の検討・実施  
([https://www.wbgt.env.go.jp/sp/heatillness\\_gline.php](https://www.wbgt.env.go.jp/sp/heatillness_gline.php))

[例]

- ・ 大規模な路上、公園等での集団演舞イベント、夏祭り
- ・ 音楽イベント
- ・ 花火大会
- ・ マラソン大会
- ・ 大規模広域スポーツイベント
- ・ 野外団体活動

### 6 月 ~ 9 月 : 災害時における熱中症の注意喚起

- インフラ障害、物資の不足
  - ・ 停電
  - ・ 断水
  - ・ 物資の不足
- 避難時の生活環境
  - ・ 避難所
  - ・ 車中避難
  - ・ 在宅避難
  - ・ 不衛生な環境
- 慣れない重労働
  - ・ 復旧作業



暑いうちに…

- ・ 今夏の施策について振り返り・見直しの準備  
(熱中症救急搬送者数などデータの整理・分析、  
庁内外との連携、連絡体制の再検討、調整など)
- ・ 次年度へ向けた予算化、事業計画策定

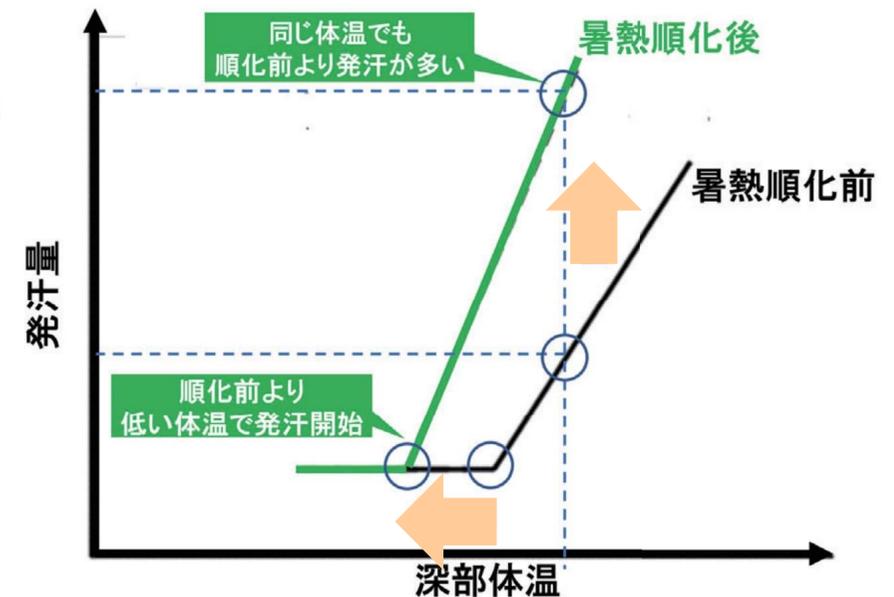


詳細は「熱中症特別警戒情報等の運用に関する指針」

『熱中症特別警戒情報等に関するフェーズ毎の国民へ呼び掛ける行動の整理表』をご参照ください。

[https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/doc\\_shsa/20240227\\_doc01.pdf#page=15](https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/doc_shsa/20240227_doc01.pdf#page=15)

- 暑い日が続くと、体がしだいに暑さに慣れて、暑さに強くなります(暑熱順化)。
- 暑熱順化すると、暑熱環境での体温上昇や心拍数増加などの生理的ストレスを軽減できます。
- また循環血液量が増加し、汗のかき始めも早くなります。
- そのため同一体温に対する汗の量も増え、より効果的な体温調節ができるようになり、熱中症の危険性も少なくなるのです。
- 暑熱順化は、「やや暑い環境」において「ややきつい」と感じる強度で、毎日30分程度の運動(ウォーキング等)を継続することにより獲得できます。
- 実験的には暑熱順化は運動開始後数日後から起こり2週間程度で完成するといわれています。
- そのため、日頃からウォーキング等で汗をかく習慣を身につけて暑熱順化していれば、夏の暑さにも対抗しやすくなり、熱中症にもかかりにくくなります。



環境省「熱中症環境保健マニュアル2022」(p.41より抜粋)  
[https://www.wbgt.env.go.jp/heatillness\\_manual.php](https://www.wbgt.env.go.jp/heatillness_manual.php)

# 3. 熱中症予防行動の効果的な情報発信

## 事例1. 福島県楡葉町 環境イベント「サステなmeeting」の開催

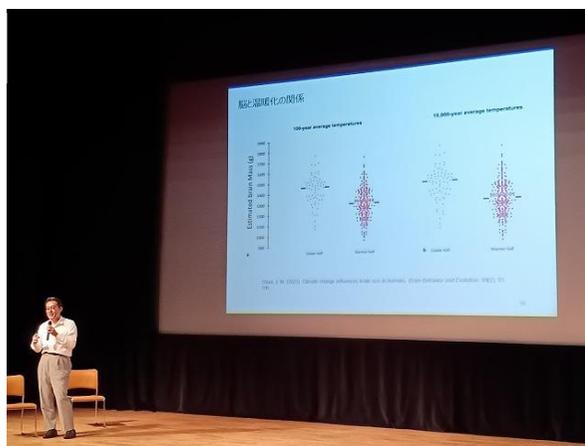
- 地球温暖化、熱中症と脳の健康について、「見て」「聞いて」「味わう」みんなが楽しめる環境イベント

<当日イベントの詳細>

13:00～ ステージ

- ならはっ子による「エコたい肥を利用した夏野菜栽培の活動発表」
- 熱中症と脳年齢の関係が解き明かされる「トークセッション」

トークセッション▶



- ならはっ子、職員による「SDGs劇場」

15:00～ ホワイエ

- ならはっ子×食生活推進委員会「エコたい肥野菜の熱中症予防メニュー」のふるまい
- 簡単！表情の変化を読み取って「脳の健康状態測定」
- 手回し発電で走らせよう！「鉄道模型コーナー」
- 指を挟むだけ「自律神経活性度・バランス・ストレス度チェック」
- 地元農家さんによる「新鮮野菜販売」、おからを使ったエコな「お菓子とお茶の販売」

**3rd サステな meeting**  
7月6日(土) 12:30 開場  
@楡葉町コミュニティセンター

～熱中症に負けないカラダ～

【ステージ】13:00～

- ならはっ子によるSDGs活動発表  
給食から出た生ごみを使ったエコ堆肥で野菜を育てるプロジェクト！
- 熱中症から身を守れ！  
熱中症と脳の年齢や健康状態との関係が明らかになる！  
熱中症から身を守る術を学ぼう！
- Dr. ヨコタの地球温暖化講座  
地球温暖化の原因は何か、それがどのような影響を及ぼすのか、Dr.ヨコタが徹底解説！
- SDGs劇場  
ならはっ子からは「教育」、そして町職員からは「熱中症」をテーマとした寸劇をお送りします！

ステージ終了後

- 【ふるまい】  
＜食改×ならはっ子＞  
エコ堆肥野菜のひんやりメニュー
- 【出店】  
＜楡葉町の農家さん＞  
野菜販売  
＜ふたばの里＞  
おからのお菓子とお茶
- 【体験コーナー】  
＜ブレインインパクト＞  
脳の健康状態測定  
あなたの表情の変化を読み取り脳の健康状態を計測！
- ＜明治安田生命＞  
ベジチェック  
あなたの野菜摂取量を測定！
- ＜Panasonic＞  
手回し発電機で鉄道模型を走らせよう

楡葉町くらし安全対策課 TEL: 0240-23-6109

▲チラシ

### 工夫した点

毎年環境イベントを開催しており、今年は熱中症対策をテーマにした。脳科学の専門家と理学療法士を招き、それぞれの観点からディスカッションをしていただいた。

# 3. 熱中症予防行動の効果的な情報発信

## 事例2. 埼玉県熊谷市 わたしのあつさたいさくコンテスト

- **小学生向け**の訴求・関心づくりのイベントとしてスタート。(株)伊藤園、アズ熊谷(駅ビル)、商店街や熊谷駅と連携してさまざまな層へ周知を図る。第2回からは全国へも本格的に展開。

熊谷市在住の小学生対象

### 第2回 わたしのあつさたいさくコンテスト

しつり4 / 2023年7月24日(月)

<b>伊藤園賞 (各部門1名)</b> 伊藤園の健康ミネラルむぎ茶を1年分プレゼント!	<b>旭川製菓賞 (各部門1名)</b> やわらが	<b>日本製菓家賞 (各部門1名)</b> ノーサイド たまご
ご応募いただいた中から抽選で30名様にnikoのクッキーBOXをプレゼント!	<b>オキナヤ賞 (各部門1名)</b> サツマイモ 収穫機	<b>シロキョウ賞 (各部門1名)</b> 伊藤園賞 ペアチケット

応募できる人/ 熊谷市在住の小学生 (市外の方は全国版にご応募いただけます。)

応募部門/ 低学年の部 (1・2・3年生) 高学年の部 (4・5・6年生)

決まり事/ 詳しくは、応募フォーム内の応募規約をご確認ください。

応募用紙/ 応募フォームからダウンロード可能です。

応募方法/ 下記の手順でご応募ください。

- 1 アイデアを考へよう  
 身近な暑さ対策グッズを1つ4つのアイデアを募集の応募用紙に「文字」「イラスト」で書いてね。
- 2 募集の応募シート全体を撮影  
 ポイント1  応募シート全体が写るよう、取上りの撮影を  
 ポイント2  中が写るよう、裏に貼って  
 写真撮影の準備をしよう。
- 3 応募フォーム  
 応募規約を印刷の上ご応募ください。

【主催・お問い合わせ】 一社団法人県民共済アサヒシステム (メール) info@cumagaya-hoshikawa.com



小学生に意識をもってもらうことで、本人やその友達はもちろん、両親、祖父母まで含めた啓発を視野に入れることができる。祖父母は「孫の言うことなら聞く」との声も。

### 3. 熱中症予防行動の効果的な情報発信

#### 事例3. 広島県府中市 小学生による発表大会

- **小学生による発表大会**では、手書きのはがきと塩タブレットを一緒にして配布し、孫世代による地域密着型の情報発信を実施。
- **老人大学**(高齢者が自らの生きがいを求めて学習することにより充実した生活を送るとともに、地域のリーダーとして積極的に社会参加をしていくことを目指す)において、生活習慣病の予防も意識した、高齢者でも無理なく取り組める地元のエクササイズを紹介。“座学”ばかりでなく参加者全員で身体を一緒に動かす時間も設けている【👉 **事例3-8**】。



▲小学生による発表大会



▲手書きのはがきと塩タブレット



▲老人大学での普及啓発講座の様子

#### ■工夫した点

「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の両輪で取組みを進める**コミュニティスクール**の一環として、小学生が熱中症を学び(大塚製薬(株)が講師として協力)、自らが対策を考えて発表する場として、市内4小学校で地域の高齢者や保護者を招いた発表大会を実施し、熱中症対策の必要性を発信した。

# 3. 熱中症予防行動の効果的な情報発信

## 事例4. 兵庫県神戸市 日傘の体験型イベント

- 普段日傘を利用したことがない市民を対象に、イベントにブース等を出展し、**日傘の体験型イベント**を実施。アンケートやヒアリングを行い、今後の日傘の普及に向けた検討も実施。
- 熱中症だけでなく環境問題に対する意識を高める啓発も実施。



### ■ 工夫した点

日傘体験イベントの実施は、神戸市内の農産物・加工品等を販売する地産地消のイベント「EAT LOCAL KOBEファーマーズマーケット」と開催日・場所を合わせ、集客を図った。

また、日傘に関するアンケートに回答いただいた方には、ファーマーズマーケットで買い物できるチケットを先着順で配布し、アンケート回答者を増やした。

日傘体験イベントとファーマーズマーケット開催を連携させることで、情報発信力も高まり、相乗効果があった。

# 3. 熱中症予防行動の効果的な情報発信

## 事例5. 長崎県 気候変動適応セミナー(～高齢者の熱中症予防のための「暑さ対策セミナー」～)

●長崎県気候変動適応センターが、主に高齢者に関わる方(介護福祉関係)を対象に、気候変動と熱中症の関係、県内の発生状況、熱中症の予防と対策方法についてセミナーを開催。

### 長崎県気候変動適応セミナー

～高齢者の熱中症予防のための「暑さ対策セミナー」～

- 13:00 主催者代表あいさつ  
長崎県気候変動適応センター長 **本多 雅幸**
- 13:05 気候変動と私たちの暮らしへの影響  
国立環境研究所 気候変動適応センター  
気候変動影響観測研究室長 **岡 和孝氏**
- 13:25 長崎県の熱中症発生状況と地域の特徴  
長崎県気候変動適応センター
- 13:40 熱中症の予防と対策  
大塚製薬株式会社 ニュートラシューティカルズ事業部  
九州第一支店 長崎出張所 課長補佐 **森岡 剛氏**

日時 令和6年 7月11日(木) 13:00～14:20

会場 Web開催(Webex)  
サテライト会場(県庁3階 317会議室)  
※サテライト会場は先着18人までご参加いただけます。  
申込時にサテライト会場での参加を希望してください。  
サテライト会場はモニターでの視聴となります。

対象 高齢者に関わる方(どなたでも参加できます)

#### 申込方法

下記アドレス又は右のQRコードから申込みページへアクセス。必要事項を入力後、URLを返信しますので、当日12:30以降にご利用ください。

[https://apply.e-tumo.jp/pref-nagasaki-u/offer/offerList\\_detail?tempSeq=4718](https://apply.e-tumo.jp/pref-nagasaki-u/offer/offerList_detail?tempSeq=4718)



参加費 無料

#### セミナーに関するお問合せ

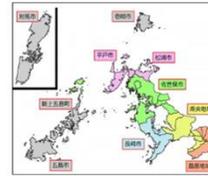
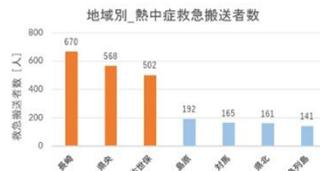
長崎県気候変動適応センター TEL 0957-48-7560 (担当/企画・環境科 前田・船越)  
(長崎県環境保健研究センター内) メールアドレス nagasaki-icc@pref.nagasaki.lg.jp

主催：長崎県

#### ▲チラシ

※令和6年度のヒアリングによる

#### 地域別の熱中症救急搬送者数



地域の区分



○実数：多  
→人口規模が大きい地域

○リスク：高  
→高齢者が多い地域

グラフ等 R2-R4の当センター調査研究に基づく

#### 傷病程度からみた地域の特徴①

○島原地域では入院(中等症以上)となるケースが多く特に注意が必要※

※R2-R4のデータです。

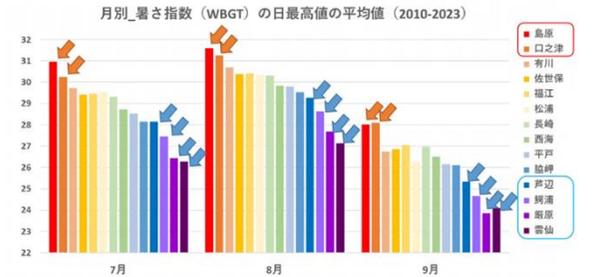
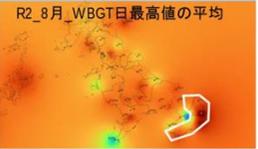


死亡：初診時死亡確認  
重症：要入院(3週間以上)  
中等症：要入院(重症以外)  
軽症：入院の必要なし

グラフ等 R2-R4の当センター調査研究に基づく

#### 県内の暑さの特徴

- 島原地域(島原市、南島原市)が特に暑い!
- 吾岐・対馬・雲仙岳は比較的涼しい傾向



出典 熱中症予防情報サイト(環境省)のWBGTデータから当センターが作成

#### 傷病程度からみた地域の特徴②

○65歳以上で見ると、半数以上が中等症(要入院)以上!

※吾岐・対馬除く



図中の矢印(↓)は県全体の平均の位置を示す。

グラフ等 R2-R4の当センター調査研究に基づく

都市部など人口の多いところでは、熱中症による救急搬送者数の実数は多いものの高齢者の多いところの割合が高いということを改めてセミナーで参加者に向けて発表。特に島原地域が暑く、またデータにも特徴があることから、この地域にて重点的に講演・研修を開催【事例3-12】。普及・啓発資料も作成、配布した。

### 3. 熱中症予防行動の効果的な情報発信

#### 事例6. 東京都墨田区 川柳コンテスト

- 区内在住・在勤者を対象に「熱中症 私の暑さ対策」をお題とした川柳を募集(楽しみながら熱中症対策を考える)。
- 大人の部、小学生以下の2部門募集。それぞれで表彰作品を選定。

お題 熱中症 私の暑さ対策

すみだ熱中症対策プロジェクト

みんなの川柳、大募集

川柳コンテスト

暑くても塩なめてでも遊びたい

募集期間 5月29日(月)～7月15日(土)

表彰式 8月11日(日) 東京ソラマチ「ソラマチひろば」

グランプリ (準グランプリ) (佳作(4作品)) (審査員特別賞)

応募資格 墨田区に在住・在勤の方

応募方法 うら面の応募用紙に記入して墨田区薬剤師会 会員薬局の応募箱に入れてください。※右のQRコードからも応募できます。

発表 墨田区薬剤師会のWEBサイト および 会員薬局店舗ポスターに掲示。  
また入賞者は8月11日の東京ソラマチ「ソラマチひろば」にて表彰式を行います。

主催：一般社団法人 墨田区薬剤師会 03-3625-8934 後援：墨田区

#### ▲チラシ

- ・ 墨田区薬剤師会会員薬局に設置されている応募箱、専用webページから応募
- ・ 区内小学校にも周知依頼
- ・ 応募総数 749件
- ・ 地元の大手消費財化学メーカーである花王からの寄付・協力の申し出があり、想定以上の事業実施に結びつく

※令和5年度モデル事業

お題 熱中症 私の暑さ対策

すみだ熱中症対策プロジェクト

川柳コンテスト入賞作品

小学生以下の部	大人の部	大人の部	大人の部	大人の部	大人の部	大人の部	大人の部	大人の部	大人の部	小学生以下の部	大人の部	小学生以下の部	大人の部
熱中症がまんしないで クーラーだ	夏休み ぼうしかぶって よぼうしよ	ぜん力で ママをあおいで あせまみれ	熱中症 きづいた時には かかつた	散歩中 犬と一緒に 水分補給	暑い日は 体も頭も ひと涼み	塩と水 力士じゃないが 使いましよ	高血圧 塩振る控える 今日どっち	とうげこう ひかげさがして みきひだり	年とって 人に言われて 知る暑さ	サッカーで つめたいタオル 首にかけ	日傘して 日陰を探す 夏の午後	この夏は水とる塩とる マスクとる	ひと安心 薬局寄つて ひと涼み
あさひさん	ゆづりさん	はるかまさん	すみ丸さん	双子のトさん	とらいさん	はるまきさん	みくるさん	はるとさん	さゆりさん	ミトフイルターさん	さゆりさん	はるとさん	さゆりさん

#### ▲川柳コンテスト入賞作品

# 3. 熱中症予防行動の効果的な情報発信

## 事例7. 鳥取県鳥取市 介護予防運動教室、健康教育を通じた普及・啓発

- **介護予防運動教室、健康教育の場**で熱中症予防について注意喚起  
参加者に直接的な啓発を行うことで、参加者自ら熱中症予防の大切さに気付いてもらい、日々の生活に予防行動を取り入れてもらう。

**熱中症を予防しましょう！**

- 暑さを避ける  
こまめに休憩を取り、帽子や日傘、風通しの良い服装で熱や日差しから守りましょう
- 室内を涼しくする  
冷房や除湿機・扇風機などを適度利用。風通しを良くしたり、日差しを遮る工夫をしましょう
- こまめに水分をとる  
のどが乾く前に水分を取りましょう  
大量の汗をかいたときは、スポーツドリンクや塩あめなど、塩分も一緒に補給しましょう
- 丈夫な身体をつくる  
バランスの良い食事や、しっかりとした睡眠をとりましょう
- 天気予報・熱中症警報に気を付ける  
地域で声をかけあって皆で熱中症を防ぎましょう！  
気温や湿度が高い日、風が弱い日などは、十分な熱中症対策を取りましょう

**体調がわるいときは無理をしない！**

- こんなときは熱中症になりやすいので、無理をしないようにしましょう。  
◆食事が十分とれていないとき  
◆寝不足のとき、二日酔いのとき  
◆風邪気味など体調がすぐれないとき

**クールシェルターをご利用ください！**  
外出時に暑さで疲れを感じたら、「クールシェルター」でひと休みしましょう

御協力いただいている民間施設や一部の公共施設を暑さを避ける一時休憩所として開放しています。年配の方、小さなお子さん連れの人など、どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

**情報を活用して危険な暑さを避けましょう！**

環境省  
熱中症予防情報サイト



熱中症警戒アラート発表時に登録者に情報が配信されます。

鳥取県  
あんしんトリビュメール



熱中症警報などの発令時に登録者に情報が配信されます。

▲鳥取市で配布しているチラシ

**熱中症に特に注意が必要な人**

- 高齢者  
年齢を重ねると温・湿度やのどの渇きに対する感覚が弱くなり、暑さに対する体の調節機能が低下するため、自覚症状がなくても熱中症になる危険があります。のどが渇かなくても水分補給をしましょう。上手に室内温度を調整することも大切です。
- 幼児  
体温調節機能が十分発達していない上、身長が低い（地面に近い）ので大人が感じる以上に暑い環境にいます。夏の車内はすぐに高温になり非常に危険です。わずかな時間でも車内に乗せたままにしないようにしましょう。

家族やお友達など、身近にいる人の様子や体調にも配慮、注意をしましょう。

**【お問い合わせ】**

- 鳥取市保健所保健総務課（企画連携係）0857-30-8521
- 鳥取東保健センター（国府）0857-30-8659
- 各総合支所市民福祉課  
（福部）0857-30-8664（国府）0858-71-1724（用兼）0858-71-1894  
（佐治）0858-71-1914（気高）0857-30-8674（鹿野）0857-30-8684  
（青谷）0857-30-8694  
※国府のお問い合わせ先は鳥取東保健センターです。

**こんな日は熱中症に注意**

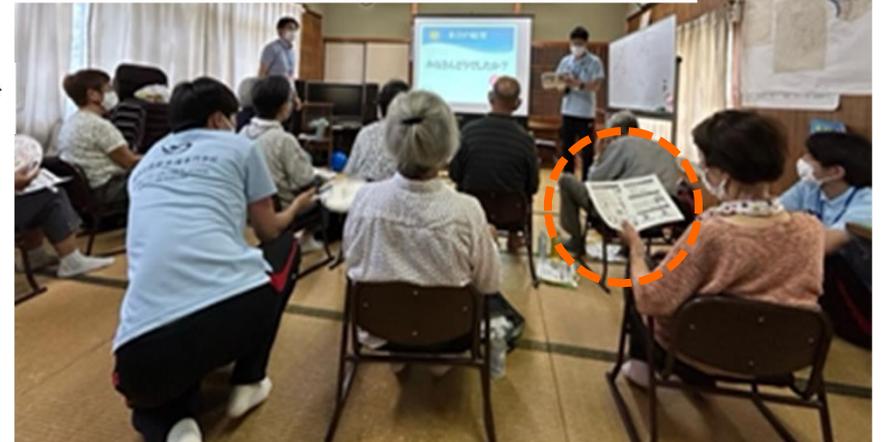
気温が高い 風が弱い 急に熱くなった  
湿度が高い 熱くなり始め 熱帯夜の翌日

**熱中症の症状と重症度**

重症度	症状	対応
軽症	・めまい ・立ちくらみ ・筋肉痛 ・大量の発汗	●涼しい場所で安静に ●衣服をゆるめ、体を冷やす。 ●水分や塩分を補給する。
中等症	・頭痛 ・吐き気・おう吐 ・体のだるさ ・虚脱感	→自力で水分補給ができないとき、症状がよくなりないうちは、すぐ病院へ！
重症	・意識がない ・けいれん ・真っすぐ掛けない ・呼びかけへの返答がおかしい	●すぐに救急車（119番）を呼ぶ。 ●救急車の到着までに応急処置（涼しい場所へ避難し、服をゆるめ、氷のう等で首や顔の下、足の付け根を冷やす）をしましょう。

2023年6月作成  
鳥取市保健所

健康教育の様子▶



# 3. 熱中症予防行動の効果的な情報発信

※令和6年度のヒアリングによる

## 事例8. 高知県 高知県立大学 健康長寿研究センターによる「熱中症予防教室」

- 高知県は全国と比較して熱中症による救急車で病院搬送数は多く、その半数は65歳以上の高齢者であることから、高齢者への熱中症発生対策は喫緊の課題であった。そこで、看護学部・社会福祉学部・健康栄養学部の教員、健康長寿研究センター職員からなる“熱中症予防教育チーム”を立ち上げ、教職協働で教育内容や教室開催プログラムを検討し、高齢者の集いの場に出向き啓発活動を行う事で、日々の暮らしの中に「熱中症予防行動」が根付くことを目的とした。
- 熱中症予防教室には、3学部の学生も参加し、教室の運営や体操デモンストレーションをサポートした。熱中症予防教室が若者と高齢者との世代間交流の場となり、参加している高齢者にとっては大学生から活力を得ることができ、大学生にとっては将来対人関係の専門職となるための実践力を身に付ける場となった。
- 令和5～6年の2年間で、宅老事業宅老所5か所、高齢者サロン2か所、老人会2か所、福祉施設1か所、社会福祉協議会1か所、公民館2か所の計12か所にて開催し、合計302名の参加があった。高知市内やその近隣の地域だけでなく、高知県中央部から離れた中山間および沿岸部でも開催した。
- 教室の開催と同時に、参加した高齢者に対し普段の熱中症予防行動についての実態調査<sup>1)</sup>も行った。調査結果について地域包括支援センターと共有し、教室に参加していない高齢者に対する熱中症予防の啓発にも役立てられている。1)「非都市部在住高齢者の熱中症予防行動の実施状況」、四国公衆衛生学会誌、69巻1号、121-128、2024。



▲熱中症予防カレンダー説明の様子



▲学生による熱中症クイズの様子▲



### ■参加者の声

- ・「熱中症にならないための知識を分かりやすく教えていただき、県立大の皆様の思いが嬉しかったです、感謝」
- ・「とても分かりやすく、楽しい説明でした」  
…といった、**楽しく学べた**という感想だけでなく、
- ・「温度計をかまえて部屋の温度を気かけたい」
- ・「保冷剤を買います、水を入れたペットボトルを持ち歩きます」  
…など、**熱中症予防に向け、自己が取り組む課題**もあげられた。
- ・「今日は暑いから外出は控えようね」と住民同士で声かけを行うなど、**地域全体で熱中症対策に対する意識が高まっていた。**



参加者全員に  
カレンダーを  
配布し、説明した

◀参加者の様子

### ■工夫した点

- ・既存の集いの場を活用し、高齢の参加者の集中力や疲労を考慮し、講義時間は30分と短めに設定した。
- ・講義の間に熱中症に関するクイズを取り入れ、楽しみながら学べるようにした。さらに、日頃取組んでいることなどを紹介いただく時間を取り入れ、参加者同士お互いが学びあい意欲を高める場となるようにした。
- ・自宅でも継続して熱中症予防行動をとることができるように、居室や冷蔵庫など、高齢者が毎日目にする場所に掲示できる「熱中症予防カレンダー」【事例3-9】を作成し、参加者に配布した。
- ・カレンダー仕様にする事で、居室や冷蔵庫など、高齢者が毎日目にする場所に掲示することを可能にした。

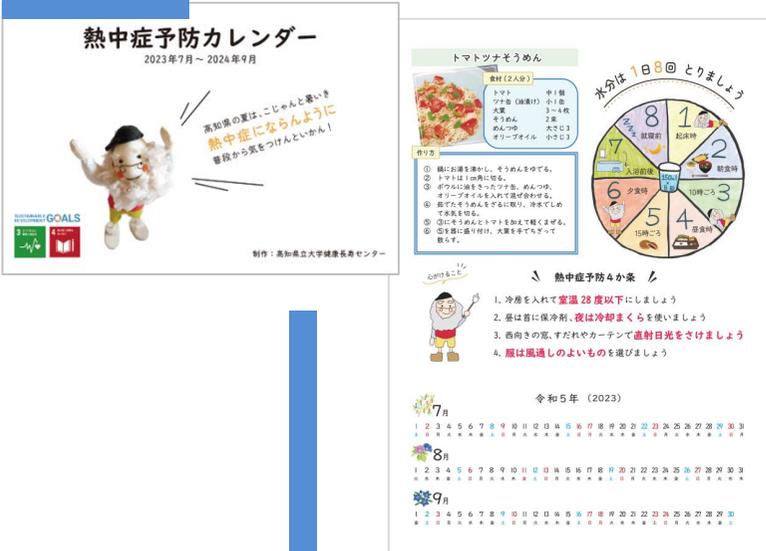
# 3. 熱中症予防行動の効果的な情報発信

※令和6年度のヒアリングによる

## 事例9. 高知県 高知県立大学 健康長寿研究センターによる「熱中症予防カレンダー」

- 「熱中症予防教室」での配布だけでなく、ホームページでのダウンロードにも対応 <https://www.u-kochi.ac.jp/site/wlrc/0033440.html>
- 令和6年度は、高知県立大学だけでなく、高知学園大学・高知学園短期大学の教員も研究協力・参画

令和5年度



令和6年度



令和6年度に大幅リニューアル

毎月、日々の暮らしの中で活かせるちょっとした工夫を掲載しています

**貯筋には食事でも大事**

アルブミンを含むたんぱく質を取りましょう

たんぱく質を多く含む食材 (魚・肉・卵・大豆製品)

魚、肉は100g前後  
卵は1個、お豆腐は1/3〜1/4丁

高年齢になると足腰が弱る、つまり筋肉量が減ります。筋力が減ると、体内の水分量が減ります。ですので、高齢者は普段より汗を多くかくだけでも脱水症になりやすいのです。

運動や食事で筋肉量を増やす「貯筋」に努めましょう。

筋肉は水分の貯蔵庫!!  
脂肪には、ほとんど水分が含まれません

運動の秋  
今のうちに貯筋!!  
おうちでも無理なく出来る運動!

筋肉には、水分を多く含んでいます。水分を多く含む食材を積極的に取り入れ、筋肉を育てましょう。

ダウンロードはこちらから



### ■改善点

- 令和5年度のカレンダーは3か月分を1枚に掲載していたが、令和6年度は1か月毎とし、自身の予定などを書き込みできる欄を追加した。この変更により、カレンダーにはスケジュールはもちろんのこと、年間目標や、日々の体調などを書き込み、日常的に活用できるようにした。
- 使用する高齢者が飽きないように料理写真や文字を大きくし、見やすいレイアウトを意識した。

### ■工夫した点

- 熱中症予防の意識を高めるために、カレンダーのページ校正は7月始まり、翌年6月終わりとした。
- 夏以外も熱中症に注意が必要なため、冬の熱中症対策ポイントも掲載した。
- 毎月、熱中症予防に関するコラムや、季節に応じた暮らしの豆知識を掲載して、無理なく続けられる体調管理を提案した。
- 毎月の料理レシピ(健康栄養学部の教員が考案)は、高知県産食材を簡便な調理法でかつ美味しく食べられるレシピとした。また、高齢者における筋肉量の減少と脱水症との関連に着目し、筋肉量維持に向けたタンパク質摂取と運動の重要性についての説明を加えた。
- 異なる専門分野(看護・栄養・福祉)を持つ教員らによりカレンダーに掲載する専門的知識を厳選し、一般市民が興味・関心が持てる表現にした。

熱中症予防教室に参加した高齢者は自宅でカレンダーをめくり眺めながら、熱中症予防教室で学んだことを再確認するとともに、集いの場の仲間との学び合いを思い出すことでこれからの日々の予防行動の動機づけにつながっていると考える。

### 3. 熱中症予防行動の効果的な情報発信

#### 事例10. 埼玉県熊谷市 自動販売機でのデジタルサイネージ

- 伊藤園と連携し、自動販売機にデジタルサイネージを組み込み、高齢者の利用が見込まれる施設や多くのひとが行きかう場所に設置する。デジタルサイネージでは、熱中症予防に関する動画や画像を放映、暑さ対策の取組紹介や情報発信、クーリングシェルトアの告知など暑さ対策の案内を積極的に行う。

	上部設置型	中腹設置型	サイネージ型
設置期間	令和5年6月1日(木)～9月30日(土)		令和5年8月1日(火)～継続
設置台数	4台	5台	1台
設置場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有限会社横山酒店前</li> <li>・元気玉前</li> <li>・熊谷駅東口階段下</li> <li>・熊谷駅南口第一駐車場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八木橋百貨店地下入口</li> <li>・中央公園</li> <li>・伊勢町ふれあい公園</li> <li>・荒川公園</li> <li>・タイムズ熊谷星川</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熊谷駅連絡通路</li> </ul>
写真	 <p>▲有限会社横山酒店前</p>	 <p>▲タイムズ熊谷星川</p>	 <p>▲熊谷駅連絡通路(2階)</p>

### 3. 熱中症予防行動の効果的な情報発信

#### 事例11. 岐阜県多治見市 ケーブルテレビ・コミュニティラジオの活用

- インターネットサイト閲覧に結びつきにくい高齢者にも情報を届けるべく、**地域ケーブルテレビ**及び**コミュニティラジオ**と連携、熱中症対策に取り組む店舗を訪問する番組等を制作し夏季に放送。

##### ケーブルテレビ① 高校生の暑さ対策(放送日:8/6~12)



##### コミュニティラジオ

- ・ 7月中旬以降、毎週木曜日12:40~12:50
- ・ イベント告知、ケーブルテレビ参加者を招いた取組紹介など、高校生を招いて番組を制作している様子



##### ケーブルテレビ② まちなかの暑さ対策(放送日:8/13~19)



##### ケーブルテレビ③ みんなの暑さ対策(放送日:8/27, 28, 9/10)



# 3. 熱中症予防行動の効果的な情報発信

## 事例12. 長崎県(1) ～あなたの地域の熱中症事情～

- 長崎県環境保健研究センターが、令和2～4年にかけて県内を7地域(長崎、佐世保、県央、県北、壱岐・対馬、五島列島、島原)に分けて地域ごとに分析を実施し、その結果について普及啓発資料として作成・公表。
- 特にリスクが高いとされた**島原地区**については別途**詳細版**を作成・公表。
- 島原地域の高齢者を対象とした出前講座や主催又は出展イベントで配布。県民に対する普及・啓発に活用。

通常版  
(島原地域)

(表面)

**熱中症にご注意!**  
～あなたの地域の熱中症事情～

長崎県における熱中症救急搬送者数(2010-2022)

- ◆ 県内の熱中症発生数は年々増加傾向です。
- ◆ 今後も気温は上昇傾向が続くとされています。
- ◆ 夏場の熱中症を予防するための対策が重要です。

県内の真夏日の日数の将来予測(8月)

2030年頃 2100年頃

地域別の熱中症事情は裏面を見てね!

長崎県気候変動適応センター  
(長崎県環境保健研究センター内)  
Local Climate Change Adaptation Center in Nagasaki Prefecture

長崎県気候変動適応センターHP

(裏面)

地区ごとの特徴を記載

要注意となる世代を記載

要注意世代の予防ポイント

**地域別の熱中症事情：島原地区**  
※グラフは令和2～4年度のデータを使用しています。

R2-R4 熱中症救急搬送者数：人口10万人あたり

島原地区(消防本部管轄区域)

島原地区の熱中症で救急搬送されるリスクは県内で4番目ですが...

病院搬送時に入院が必要と診断された割合

島原地区の特徴として、熱中症の症状が重くなる傾向があります。当センターの調査において、島原地域は県内でも特に暑いということが分かっており、このことが関係していると考えられます。

この世代は要注意!

高齢者世代(特に75歳以上)  
主な発生場所：住居

中高生世代(13～17歳)  
主な発生場所：教育機関、公園(屋外)

**熱中症を予防しよう!**  
暑い日は、水をこまめに飲んだり、外に出るときは、帽子をかぶったりして、熱中症予防しましょう。

**熱中症の主な症状**

- めまいやほてり
- 筋肉痛・筋肉のけいれん
- 体のだるさや吐き気
- 汗のかき方がおかしい
- 体温が高い、皮膚の異常

**高齢者世代**  
高齢になると温度感覚が鈍くなると言われています。また、住居で熱中症になる方が多い傾向にあります。  
→ 浴槽を適切に利用しましょう! ご家族の方の見守りも重要です。

**中高生世代**  
中高生世代は運動の機会が多いことが熱中症の発生に繋がっていると考えられます。  
→ 高温時の屋外活動の回避を検討しましょう。また、休憩をこまめに!

**熱中症警戒アラートを要チェック!**  
暑さ指数(WBGT)の情報を気軽に入手!

暑さ指数(WBGT)の情報を気軽に入手!

QRコード: 公式アカウント、掲載者メール配信サービス

# 3. 熱中症予防行動の効果的な情報発信

## 事例12. 長崎県(2) ～あなたの地域の熱中症事情～

詳細版  
(島原地域)



▲県内で比較的暑く、熱中症リスクが高いとされる島原市、南島原市にて一般住民を対象とした講演を実施。

写真は「あかね会」(ひとり暮らし高齢者食事会(島原市))での講演の様子。

この他、市広報紙に研究成果に基づく啓発記事も掲載。

長崎県ホームページ

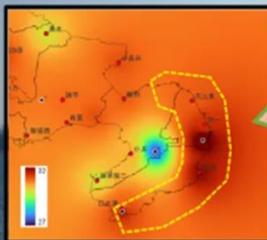
<https://www.pref.nagasaki.lg.jp/bunrui/kurashi-kankyo/kankyohozen-ondankataisaku/kikouhendo/heatstroke/1717728065-3.pdf>

表面

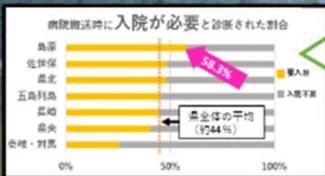
### 熱中症 ☀️ にご注意! ～島原地域の暑熱事情～



【はじめに】  
県内においても、年平均気温は上昇傾向にあり、熱中症発生数も増加傾向にあります。当センターでは熱中症に関する地域特性を把握するために、令和2年度から令和4年度まで県内各地で温度・湿度の気象観測を行い、熱中症と県内の暑熱環境に関する調査・研究を行いました。その結果、**島原地域では暑熱環境及び熱中症の発生に関して、地域的な特徴が見られています。**



**Point!**  
県内でも島原半島の一部(東側)は暑さが厳しい地域と考えられます。  
※気象庁の協力のもと環境省が公表している暑さ指数のデータ(2010年～2022年)においても、観測点「島原」及び「口之津」の値が県内で高い傾向にあることを確認しています。



**Point!**  
島原地域は病院に搬送された方の6割近くが「要入院」となっています。

長崎県気候変動適応センター (長崎県環境保健研究センター内)

Local Climate Change Adaptation Center in Nagasaki Prefecture

長崎県気候変動適応センター-HP

裏面

### 熱中症救急搬送者数 と 暑さ指数 の関係

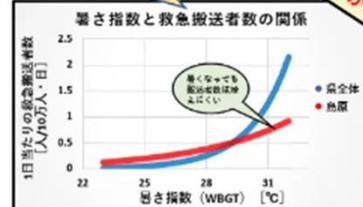
※グラフは02～4年度のデータを使用しています。



**島原地区は暑い!**  
夏場に暑さ指数(WBGT)が30℃以上となった日の日数が県内最多です!

**搬送者数はそこまで多くない...**  
暑さと高齢化率の高さ(約35%)から見て搬送者数は少ないと言えます。  
※高齢化率が高い地域は搬送者数が多い傾向にあります。

暑さに強い?  
実際、暑さ指数(WBGT)と熱中症救急搬送者数の関係を見ると、島原地区では、暑さが厳しくなっても救急搬送者数が増えにくいことが分かります。



**しかし!**  
熱中症の症状は重くなりがち!  
※日本は全世界の「要入院」の割合

年齢	要入院の割合
>65	50%
18-64	20%
0-17	10%

- 【まとめ】
- 島原地区は県内でも比較的暑い地域のため、住民の皆さんは暑さに慣れている可能性があります(救急搬送者数少)。
  - 熱中症になると、その暑さのため、症状が重くなる可能性が高いと考えられます(要入院患者数多)。

熱中症警戒アラートを要チェック!

暑さ指数(WBGT)の情報を気軽に入手!

LINE 運営者公式アカウント

QRコード

スマートフォン用

QRコード

スマートフォン用

QRコード

スマートフォン用

QRコード

スマートフォン用

### ■ 苦労した点

県内の暑さ指数調査のために、最大70地点(小学校)に温度・湿度を記録するデータロガーを設置したため、各種調整やデータの回収、整理、分析に苦労しました。

### ■ 工夫した点

県民に「自分事」と捉えていただくために、県下全域ではなく、地域別(7地域)の啓発資料として作成しました。

### 3. 熱中症予防行動の効果的な情報発信

#### 事例13. 広島県府中市(1) 「老人大学」での講演資料

#### 暑さを避けましょう

室内では・・・

- ・我慢せずに扇風機やエアコンを利用
- ・部屋の温度をこまめに確認
- ・遮光カーテン、すだれ、打ち水を利用
- ・のどが渇く前に水分・塩分を補給する



- **“のどが渇く前に”**を具体的なタイミング、イベントで例示
  - ・朝 起きたら
  - ・朝食時
  - ・食間
  - ・昼食時
  - ・食間
  - ・夕食時
  - ・入浴前後
  - ・夜 寝る前に …など、**コップ1杯**を1日8回程度



「1時間に1回、コップ1杯」という伝え方も。

#### エアコンの使い方

- ・「室温28℃」は冷房の設定温度のことではない
- ・温湿度計で室温をこまめにチェックする
- ・エアコンの冷気流が直接体に当たらないように風向きを調整する
- ・エアコンは朝までつけっぱなしに



★「クールビズ」で呼びかけている「室温28℃」は冷房の設定温度のことではありません。冷房の設定温度を28℃にしても、室内が必ずしも28℃になるとは限りません。そのような場合は設定温度を下げることも考えられます。

「熱中症環境保健マニュアル2022」(p.31)

### 3. 熱中症予防行動の効果的な情報発信

#### 事例13. 広島県府中市(2) 「老人大学」での講演資料

暑さに負けない体づくり

夢体操をしましょう♪

座ったままでも  
立つのもOK!

5分休憩

水分摂取をお願い!

- **生活習慣病の予防**も意識した、高齢者でも無理なく取り組める、**地元のエクササイズ**を紹介。“座学”ばかりでなく参加者全員で身体を一緒に動かす時間も設けている。

- エクササイズのあと、**水分補給**のための**休憩**を確保。話題は水分補給の重要性へ。

こまめな水分補給

お酒と塩分には注意が必要!

- ◆ お酒は水分摂取にはなりません

適量・・・1日1合 週に2日の休肝日!

ビール500ml  
焼酎・日本酒180  
酎ハイ520ml

- ◆ 塩分は取り過ぎに注意  
広島県の目標値・・・1日8



- 水分補給から、お酒と塩分の摂り過ぎへの注意喚起へ。

- さらに食事の話題へ。  
「きゅうりをつくっているなら、浅漬けにするといいよ」など聴き手にわかりやすい具体例を示す。同時にバランスの大切さと「これだけで十分というわけではない」という注意喚起も。

熱中症予防のための食事

バランス良く!

ビタミンB1	豚肉、大豆製品、モロヘイヤ、玄米など
ビタミンC	赤ピーマン、ブロッコリー、キウイなど
クエン酸	酢、レモン、グレープフルーツ、梅干しなど

- ・高齢者で水を飲みにくい方は、水分が多く含まれているフルーツや野菜を食べるようにする
- ・生野菜が食べづらい場合は、漬物にする



★類例 梅こぶ茶、おにぎりに梅干し、すいか塩 など



# 3. 熱中症予防行動の効果的な情報発信

## 事例13. 広島県府中市(3) 「老人大学」での講演資料

### 経口補水液

- ・脱水症に用いる飲料
- ・スポーツドリンクに比べて、塩分や糖분을バランスよく含み、効率よく吸収できる
- ・市販の経口補水液を準備しておく

1リットル用

#### 経口補水液の作り方

材料

水(湯冷まし)	1リットル
砂糖(上白糖)	40グラム(大さじ4と1/2杯)
塩	3グラム(小さじ1/2杯)
レモン果汁	(お好みで)

STEP 1: 砂糖40グラム(大さじ4と1/2杯)と塩3グラム(小さじ1/2杯)を湯冷まし1リットルによく溶かす。

STEP 2: かき混ぜて飲みやすい温度にする。

STEP 3: 果汁(レモンやグレープフルーツなど)を加えると飲みやすくなり、カリウムの補給にもなります。

市販されている経口補水液もありますので、お子様の急な嘔吐や下痢に備えて常備しておくのが良いでしょう。

出典: いざという時に役立つ! 経口補水液の作り方 - ors\_02.pdf

- それでももし**脱水症状**になってしまったら…として**経口補水液**の作りかたを紹介。
- “実際につくってみました”として小さなカップで**試飲**を実施。

★経口補水液の作りかたは、検索すると数多くヒットします。ただし、**家庭で夏場につくるようなものだと腐りやすい(メーカーのような高度な衛生管理下で製造されたものではない)**には注意が必要です。また、**ゴクゴク飲むものではなく、あくまで緊急時に飲むもの**であることにも注意が必要です。

### 自分の体の状態を知る機会に

令和6年度保存版

#### 府中市健康診査のお知らせ

特定健診(府中市国民健康保険加入者で40歳~74歳の人)  
後期高齢者健診(75歳以上の人は)  
約10,000円かかる健診を**0円**で受けることができます!  
特定健診は受診券が必要です。

つぎの人は、がん検診等費用が**無料**になります。

- 70歳以上の人
- 特定高齢者健診受診者
- 東京都または千葉県に住民票を有する人
- 心臓病検診や糖尿病検診等を受診する人
- 特定保健医療圏在住の人
- 生活保護受給者

府中市フレイル予防キャラクター フレフレ団

府中市

- ◆後期高齢者健診
- ◆70歳以上の
  - ・胃がん検診
  - ・肺がん検診
  - ・大腸がん検診
  - ・乳がん検診
  - ・子宮頸がん検診

なんと**無料**

- さらに**後期高齢者健診**のお知らせへ
- 受講してみて(感想)**

全体的な話題からはじまり、個別のテーマや地域性のある内容などを含め、すべてひとつの流れとして構成されていたように感じました。内容も具体的でわかりやすかったです。この他、参加者に問いかけたり、手を挙げていただいたり、立ったり座ったり、試飲してもらったり…、と随所に飽きさせない工夫があり、非常に爽り・学びの多い講習会だと感じました。

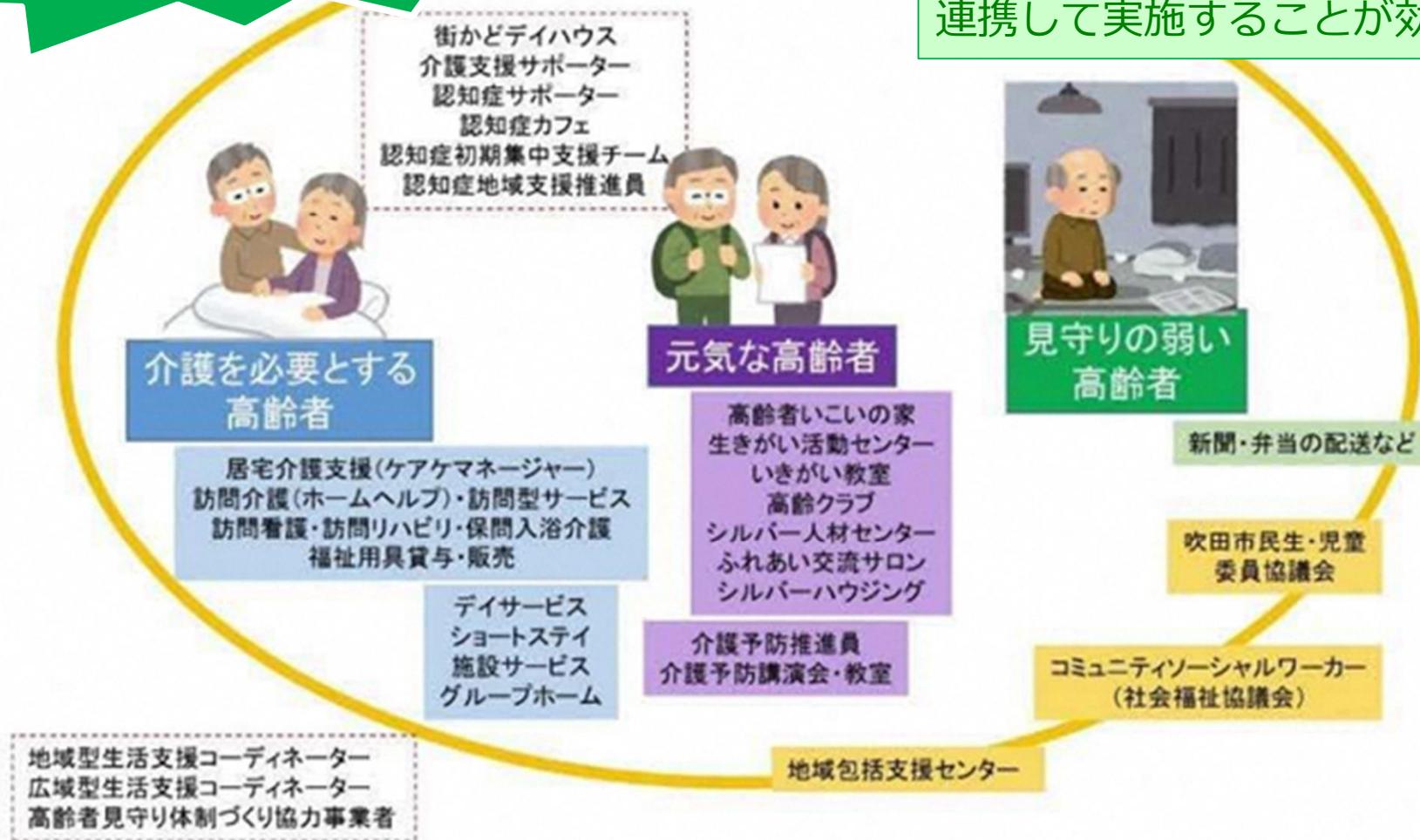
※令和6年度のヒアリングによる

### 3. 熱中症予防行動の効果的な情報発信

#### 事例14. 大阪府吹田市(1) 「熱中症対策ハンドブック」の制作

「高齢者」とひとくくりにしなない!!

様々な状況の高齢者の生活実態に応じた対策を、それぞれの関係者と連携して実施することが効果的



# 3. 熱中症予防行動の効果的な情報発信

## 事例14. 大阪府吹田市(2) 「熱中症対策ハンドブック」の制作

全体対象

熱中症予防行動リーフレットを活用した啓発



◀ 熱中症予防行動リーフレット市報6月号背表紙に記載

▲ 自治会で回覧するほか、掲示板でも掲示

全体 / 元気な高齢者対象

○ケアマネジャー・ヘルパー、在宅訪問を行う医療関係者(看護師、管理栄養士、理学療法士等)に「熱中症予防行動リーフレット」(A5版)を約2,500部配布。リーフレットと併せてマグネットも配布し、高齢者宅の冷蔵庫等に貼り付けていただいた。  
○同上の方々に温湿度計を約100個提供し、訪問の際に高齢者宅の室温を視覚的に示しながらエアコンの使用を呼びかけていただいた。

※令和6年度モデル事業成果報告会発表資料より

協力団体・機関	A4版	A5版
吹田市社会福祉協議会		150
吹田市立高齢者生きがい活動センター	100	
吹田市生きがい教室	250	
吹田市シルバー人材センター	10	30
西山田ふらっとサロン	50	
南正雀まるっと。	2	100
百歳体操コスモス	40	
大阪府済生会千里病院		1,000
吹田市健康づくり推進事業団	100	100
ウエルシア薬局(ドラッグストア・調剤薬局)		1,000

# 3. 熱中症予防行動の効果的な情報発信

## 事例14. 大阪府吹田市(3) 「熱中症対策ハンドブック」の制作

介護を必要とする高齢者対象

表紙

### 高齢者をサポートする方へ 熱中症対策ハンドブック

- はじめに
- 実践編 エアコン
- 実践編 水分
- 実践編 服装・環境
- 資料編

救急搬送者を  
一人でも減らすために

高齢者は熱中症の発症リスクが高いため  
効果的な熱中症予防行動の支援が必要です



ケアマネジャー・ヘルパーに聞きました!

中面

#### ケアマネジャー・ヘルパーの「現場のアイデア」

##### ●室温管理に工夫!

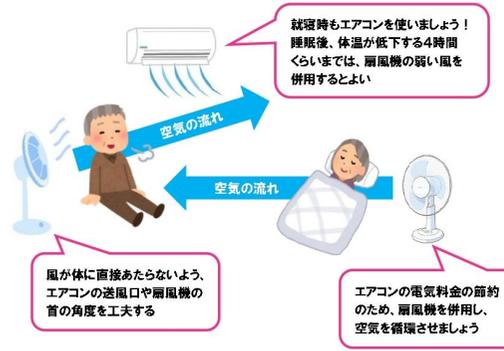
- ・エアコンの設定温度を1℃上げてみたところ、エアコンを切ってしまう頻度が減った。
- ・日中はショートステイを活用して、室温管理がされている場所まで過ごせるように工夫した。

##### ●声かけに工夫!

- ・エアコンの電気料金と、熱中症で入院した場合の治療費を説明し、経済的な観点からもエアコンを使用するよう声かけをした。
- ・ケアマネジャー、ヘルパー、訪問看護師が連携して、エアコンを使用するよう声かけをした。
- ・エアコンの使用状況を詳しく尋ね、就寝時もエアコンを使用するよう声かけをした。
- ・温度計を持参し、室温が高いことを視覚的に示してエアコンを使用するよう声かけをした。

##### ●体感温度に注意!

- ・暑い外から入ってきたり、汗だくになって作業をすると28℃は暑く感じるが、室内で寝たきりだと28℃は暑く感じるため、高齢者との体感温度の違いを認識するよう心がけた。
- ・エアコンの風が直接当たらないように、ベッドの位置を動かして調節した。



4

実践編 エアコン

- 温度計で部屋の温度や湿度を確認する
- エアコンが壊れていないか、暖房運転になっていないかを確認する
- 室温28℃を目安に適切な温度にする  
★必要に応じて、エアコンの設定温度を低めにしましょう
- 就寝時もエアコンを使用する
- 冷えが気になる時は、エアコンの風向きを上向きに  
固定することや、扇風機を併用する



#### エアコンの電気料金と入院費の比較

熱中症が重症化した場合、合併症や後遺症を発症しやすく、  
死亡する場合があります。  
全国の救命救急センターを対象にした調査によると、高齢者は  
熱中症で平均12日間の入院が必要で、死亡率は15%  
以上にもなるとされています。また、入院生活によって筋力の  
衰えや認知機能の低下が起こることがあり、入院生活の間  
に、自立していた人が寝たきりになるという事例もあります。  
「点滴をつけてすぐに帰れる」といったような軽い考えではなく、熱  
中症を発症しないように、エアコンの電気料金をケチらず予防  
行動をとることが重要です。

エアコンを1日使用した場合の  
電気料金 数百円  
熱中症で1泊入院した場合の  
治療費 数万円



(参考)熱中症予防啓発ネットワーク

高齢者の筋肉量は、10日間の寝たきりで、  
健常者で約1割、重症患者で約2割も  
減少します。

エアコンの設定温度ではなく  
温度計で室温管理を  
しましょう。

3

吹田市 熱中症対策ホームページ <https://www.city.suita.osaka.jp/sangyo/1018079/1022170/1017669.html>

#### ■工夫した点

高齢者の生活実態(令和5年度モデル事業成果)を踏まえた、自宅で暮らす高齢者をサポートする方々向けの「熱中症対策ハンドブック」(A5版12ページ)を作成した。

7月に試行的にケアマネジャー、ヘルパー等に配布し、居宅介護サービスを受ける高齢者に適切な熱中症対策を行う際の参考にしていただいた。ハンドブックを活用した際の改善点について意見を収集した他、ケアマネジャー、ヘルパーに対して、意見交換を別途行い、ハンドブックのブラッシュアップに取り組んだ。

# 3. 熱中症予防行動の効果的な情報発信

## 事例15. 島根県(1) 多言語リーフレットの制作

- 熱中症について多言語(やさしい日本語、英語、中国語、ポルトガル語、タガログ語)のリーフレットを制作し、ホームページで公開。

### やさしい日本語版

(表面)

#### ねっちゅうしょう き 熱中症に気をつけましょう

#### ねっちゅうしょう 熱中症とは?

温度と湿度が高い時、体の中の水分・塩分(水・塩の量)のバランスがくずれたり、体温(体の温度)の調整ができなくなる体の不調です。建物の外だけでなく、部屋の中でもなります。

#### ねっちゅうしょう 熱中症の症状

軽いとき	めまい、立ちくらみ(立ち上がった時にクラクラする)、筋肉痛、汗がとまらない
中くらいのとき	頭が痛い、吐き気、体がだるい
重いとき	意識がない、体温が高い、声をかけても返事がない、まったく歩くことができない

漢字にはふりがなを記載



#### ねっちゅうしょう ふせ たいせつ 熱中症は、防ぐことが大切です!

防ぐために・・・

#### 水分を取る

- のどが乾いているときは、すでに体の水分が足りないとき、一日何回も水分を取る。
- 朝起きたときと寝る前には、水分を取る。
- たくさん汗をかいた時は、塩分も取る。

#### エアコンや遮光(光を遮る)カーテン、すだれを使う

- 部屋に温度計をおく。
- ときどき部屋の中の温度を測る。
- エアコンや扇風機を上手に使う。
- カーテンやすだれは太陽の光を遮るので、使う。

#### 自分の体調を考えて服を決める。

#### 保冷剤(冷やすもの)も使う

- 通気性のよい(風や空気が通りやすい)、吸湿・速乾の(汗を吸い取りやすく、乾きやすい)服を着る。
- シャワーや保冷剤等を使って体を冷やす。

#### 「自分は暑さに強い。大丈夫」と思わない

- 外で作業をする時は、特に注意する。
- 出かける時は通気性のよい服や、吸湿・速乾の服を着る。帽子や日傘も使う。
- 天気のよい日の午後すぐの外出は、なるべく少なくする。

#### 「熱中症かな？」と思う人がいたら

- 1 涼しい場所に移す。
- 2 服を脱がせる。身体を冷やす。
- 3 水分・塩分を飲ませる。

#### 自分で水を飲むことができない

時や意識がない時は、すぐに救急車をよぶ(TEL119)

(裏面)

#### 小さな子ども、お年寄り、特に気をつけましょう



- 小さな子どもは体温の調整がうまくできません。注意してください。また、小さな子どもは地面に近いところにいます。屋間は太陽の光で地面が熱くなり、大人より温度が高いところにいます。
- お年寄りは、暑さを感じにくいので、体の熱を下げにくいので、熱中症になりやすいです。

#### 熱中症を防いでいますか？ チェックしましょう

<input type="checkbox"/> 自分にも水分をとっている	<input type="checkbox"/> エアコンや扇風機を使う	<input type="checkbox"/> シャワーや濡れたタオルで体を冷やす
<input type="checkbox"/> 部屋の温度を調べる(温度を知っておく)	<input type="checkbox"/> 暑いときは、無理をしない	<input type="checkbox"/> 涼しい服を選ぶ。外に出るときは帽子をかぶり、日傘を使う
<input type="checkbox"/> 部屋に風が通るようにする	<input type="checkbox"/> 風の強い時や閉った時の連絡先を知っておく	<input type="checkbox"/> 涼しい所・建物を利用する

#### 熱中症の情報

- 「暑さ指数」(WBGT) (暑さを表す方法です。気温・湿度・日差しをもとに出します。)を参考にして、熱中症を防ぎましょう。暑さ指数は、環境省「熱中症予防情報サイト」に出ています。  
<http://www.wbgt.env.go.jp/> (PC) <http://www.wbgt.env.go.jp/kt/index.php> (携帯)
- 島根県熱中症の情報  
[http://www.pref.shimane.lg.jp/life/kenko/kenko/chouju\\_info/nettuyuso.html](http://www.pref.shimane.lg.jp/life/kenko/kenko/chouju_info/nettuyuso.html)

発行：島根県環境生活部文化国際課 島根県松江市殿町1 TEL 0852-22-6462

●環境省の「熱中症患い当たることはありませんか?」「熱中症で苦しむ?予防・対処法」を参考に作りました。



# 3. 熱中症予防行動の効果的な情報発信

## 事例15. 島根県(2) 多言語リーフレットの制作

### ポルトガル語版

(表面)

#### CUIDADO COM A HIPERTERMIA

【熱中症に気をつけましょう】ポルトガル語

#### O que é HIPERTERMIA?

A HIPERTERMIA ocorre num ambiente de temperatura elevada e alta umidade, causando a disfunção do sistema termoregulador, desregulando o nível de líquido e sais minerais do organismo, podendo ocorrer não só fora mas também dentro de casa.

#### SINTOMAS DA HIPERTERMIA

- Sintoma Leve** Tontura, vertigem ao levantar, dor muscular, transpiração excessiva.
- Sintoma Médio** Dor de cabeça, náusea, moleza no corpo.
- Sintoma Grave** Inconsciência, temperatura corpórea alta, não responde ao ser chamado, não consegue andar em linha reta.

### É importante prevenir-se contra a Hipertermia!

#### O que fazer para prevenir...

##### Reposição de líquidos

- Sentir sede é sinal de que você está com insuficiência de água no organismo. Beber líquidos com frequência.
- Beber líquidos ao acordar e antes de dormir.
- Repor sais minerais quando transpirar excessivamente.

##### Utilizar ar-condicionado, cortina, persiana de bambú

- Coloque um termômetro na sala e verifique a temperatura ambiente de vez em quando.
- Utilizar ar-condicionado e ventilador corretamente.
- Utilizar cortina e persiana para barrar o raio solar.

##### Escolha roupas adequada a sua condição física. Utilizar saquinhos de gel gelado

- Vestir roupas leves, que absorvem o suor e de secagem rápida.
- Tomar banho, usar saquinhos de gel gelado, etc. para abaixar a temperatura corporal.

##### Não pense que está tudo porque é resistente ao calor

- Tenha cuidado principalmente quando trabalhar em local aberto.
- Quando sair, vestir roupas leves que absorvem o suor e de secagem rápida. Usar também chapéu e sombrinha.
- Evitar sair nos dias de muito calor.

#### 「Será que é HIPERTERMIA?」 Caso tenha alguém

- 1 Leva-la para um local fresco e ventilado.
- 2 Tirar a roupa, esfriar o corpo.
- 3 Faze-la beber líquidos, repor sais minerais.

**Quando não conseguir beber água sozinho, estiver inconsciente, chame a ambulância imediatamente (tel 119).**

(裏面)

【熱中症に気をつけましょう】ポルトガル語

#### Cuidado principalmente com as crianças menores e idosos



- Cuidado com as crianças menores pois tem mais dificuldade de controlar a temperatura corporal. Além disso, as crianças menores ficam próximos ao chão. O chão fica quente ao calor do dia e ficam no local onde a temperatura é mais elevada que os adultos.
- Os idosos tem facilidade de ficarem com HIPERTERMIA por terem uma redução na capacidade de sentir o calor e controlar a temperatura do corpo.

#### Está-se prevenindo contra a HIPERTERMIA? Vamos checar!

<input type="checkbox"/> Bebe líquidos várias vezes ao dia.	<input type="checkbox"/> Utiliza ar-condicionado e ventilador.	<input type="checkbox"/> Toma banho, passa toalha molhada para refrescar.
<input type="checkbox"/> Verifica a temperatura ambiente da sala.	<input type="checkbox"/> Nos dias de muito calor, não faz esforços.	<input type="checkbox"/> Utiliza roupas frescas. Para sair, usa chapéu e sombrinha.
<input type="checkbox"/> Abre as janelas para ventilar.	<input type="checkbox"/> Tem telefone de contato para caso de emergência.	<input type="checkbox"/> Usou local fresco, estabelecimento refrigerado.

#### Informações sobre a HIPERTERMIA

- Tenha como referência o 「Índice de calor」(WBGT) (método de expressar o calor da temperatura, umidade e luz solar) e previna contra a HIPERTERMIA. O site de informações de prevenção contra a HIPERTERMIA do Ministério do Meio Ambiente oferece as informações de 「Índice de calor」. <http://www.wbgt.env.go.jp/> (PC) <http://www.wbgt.env.go.jp/ki/index.php> (celular)
- Informações da Província de Shimane sobre a HIPERTERMIA [http://www.pref.shimane.lg.jp/life/kenko/kenko/chouju\\_info/nettuyusyo.html](http://www.pref.shimane.lg.jp/life/kenko/kenko/chouju_info/nettuyusyo.html)

- Emissão: Departamento Shimane-ken Kankyou Seikatsu Bu, setor Bunka Kokusai Ka Shimane-ken Matsue-shi Tono-machi1, tel 0852-22-6462
- ★ Dados de referência do Ministério do Meio Ambiente 「Será que você não está com HIPERTERMIA?」 「Você sabe o que é HIPERTERMIA?」



# 3. 熱中症予防行動の効果的な情報発信

## 事例16. 静岡県焼津市 多言語リーフレットの制作

- 熱中症について多言語(やさしい日本語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、英語、ベトナム語)のリーフレットを制作し、転入・母子手帳交付時やイベントの際に配付。

【やさしい日本語(にほんご)】の受信設定(じゅしんせってい)をしている皆(みな)さんへ



熱中症(ねっちゅうしょう)に気(き)をつけてください!

熱中症(ねっちゅうしょう)警戒(けいかい)アラートが発表(はっぴょう)されました。

詳(くわ)しくはこちら

▲「やさしい日本語」の受信設定をしている方向けのLINE画面

(表面)

熱中症(Necchusho)に気をつけてください!

「熱中症」は...  
暑(あつ)さのせい(せいで)、頭(あたま)、めまい、体(からだ)に力(ちから)が入(はい)らないなど、体調(たいじょう)が悪(わる)くなることです。  
熱中症(ねっちゅうしょう)で、人(ひと)が死(し)ぬこともあり、とても危(あぶ)ない病(びょう)気(き)です。

熱中症(ねっちゅうしょう)にならないために、やること

- ①涼(ひや)しい場所(ばしょ)にいる
- ②飲(の)み物(もの)を何(なん)度も飲(の)む
- ③涼(ひや)しい服(ふく)を着(き)る

くわいしいことは、

熱中症(ねっちゅうしょう)になりやすい日には、「熱中症(特別)警戒アラート」が発表(はっぴょう)されます。  
焼津市(やいづ)のホームページで、確認(かくにん)してください。

Tome cuidado com a pirexia(Necchusho)!

O que é「Pirexia(熱中症 Necchusho)」

Por causa do calor, sente dor de cabeça, tontura, fraqueza no corpo todo, etc. piora o estado de saúde. Também podem perder a vida por causa da Pirexia que é uma doença muito perigosa.

COMO FAZER PARA SE PREVENIR CONTRA A PIREXIA

- ①Ficar em local fresco
- ②Tomar líquidos várias vezes
- ③Vestir roupas leves e frescas

SOS DIAS PROFICIO PARA FICAR COM PIREXIA COM FACILIDADE. Será realizado o「Alerta de aviso sobre a pirexia(em especial)」. Confirme a Home Page de Yaizu

¡Tengamos cuidado con el “golpe de calor” (Necchusho)!

El “golpe de calor”(熱中症 Necchusho)...

Es un trastorno físico producido por el calor, provocando dolor de cabeza, mareos, falta de fuerza, etc. Es una dolencia muy peligrosa, pues a veces el “golpe de calor” puede ser fatal para la vida de las personas.

Para evitar el golpe de calor se recomienda:

- ① Permanecer en lugares frescos.
- ② Beber líquidos con frecuencia.
- ③ Vestir con ropas livianas.

Los detalles se pueden ver aquí:

En los días que haya riesgo de sufrir un “golpe de calor” se emitirá un aviso de “Alarma de peligro de golpe de calor (especial)”. Rogamos comprobarlo en la página web de la ciudad de Yaizu.

(裏面)

Mag-ingat mula sa Heat Stroke (Necchusho)!

Ang「熱中症 necchusho」ay...  
Kalagayan ng pagkasira ng kondisyon ng katawan kagaya ng pagkakaroon ng sakit sa ulo,pagkahilo,pagkawala ng lakas ng katawan ng dahil sa init ng panahon.  
Ang Heat stroke:necchusho ay napakamapanganib dahil may pagkakaataon na ito ay maaaring ikamatay ng tao.

Dapat gawin upang makaibwas sa heat stroke

- ①Manatili sa malamig na lugar
- ②Uminom ng tubig sa mas maraming beses
- ③Magsuot ng maaliwalas na damit

Sa karagdagan detalye,bisitahin ang QR code.

Sa araw na madaling magkaroon ng heat stroke,mag-aanunyo ng「Necchusho(Tokubetsu) keikai alert/ Special Heat Stroke Alert」. Mangyaring kumpirmahin ito mula sa website ng Yaizu city.

Be careful of heatstroke(Necchusho)!

“Heatstroke(熱中症 Necchusho)” is a disease with which people suffers from headache, dizziness, weakness, deteriorated physical condition etc. due to heat. It is a very dangerous disease because it possibly causes the death of people.

Countermeasures not to become heatstroke

- ① Stay in a cool place.
- ② Drink fluids many times.
- ③ Wear light and airy clothes.

For more information, please see by using the barcode below:

“A special heatstroke warning alert” will be released on such a day as people tend to become heatstroke. Please check it on Yaizu City Website.

Hãy cẩn thận với sốc nhiệt (say nắng) (Necchusho)!

「Sốc nhiệt(熱中症 Necchusho)」 là ...  
Tình trạng thể chất của một người trở nên tồi tệ hơn do sức nóng, chẳng hạn như đau đầu, chóng mặt và không thể sử dụng năng lượng trong cơ thể. Sốc nhiệt là một căn bệnh rất nguy hiểm, đôi khi có người tử vong vì nó.

Những điều cần làm để tránh bị sốc nhiệt

- ① Ở nơi mát mẻ
- ② Uống nước nhiều lần
- ③ Mặc đồ mát mẻ

Chi tiết cụ thể <=> Hãy xem

Vào những ngày dễ bị sốc nhiệt sẽ được thông báo <Cảnh báo “đặc biệt” về sốc nhiệt >

Vui lòng xác nhận tại trang web ở thành phố Yaizu

2024年6月に 焼津市協働推進課が 作りしました。

### ■工夫した点

- ・多言語を1枚に収めることで、配布窓口での負担を軽減しました。
- ・SNSにもアップし、利用しやすくしています。



## 厚生労働省による多言語リーフレット

- 英語のほか、中国語(繁体字、簡体字)、韓国語、イタリア語、インドネシア語、スペイン語、タイ語、タガログ語、ドイツ語、ネパール語、フランス語、ベトナム語、ポルトガル語のリーフレットを制作。

日本語版

(表面)

### 熱中症予防のために

**暑さを避ける!**

エアコン等で温度をこまめに調節

遮光カーテン、すだれ、打ち水を利用

外出時には日傘や帽子を着用

天気の良い日は日陰の利用、こまめな休憩

吸湿性・速乾性のある通気性のよい衣服を着用

保冷剤、氷、冷たいタオルなどで、からだを冷やす

**!** 「熱中症警戒アラート」発表時には、外出をなるべく控え、暑さを避けましょう

**こまめに水分を補給する!**

室内でも、外出時でも、のどの渇きを感じていなくてもこまめに水分を補給

**熱中症とは**

「熱中症」は、高温多湿な環境下で、発汗による体温調節等がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。屋外だけでなく室内でもしていないときでも発症し、救急搬送されたり、場合によっては死亡することもあります。熱中症について正しい知識を身につけ、体調の変化に気をつけるとともに、周囲にも気を配り、熱中症による健康被害を防ぎましょう。

熱中症予防のための情報・資料サイト **厚生労働省 熱中症**

[https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/nettyuu/nettyuu\\_taisaku/](https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/nettyuu/nettyuu_taisaku/)

スマートフォンでも見られます

(裏面)

### 熱中症の症状

- めまい
- 立ちくらみ
- 生あくび
- 大量の発汗
- 筋肉痛
- 筋肉のこむら返り

病状がすすむと

- 頭痛
- 嘔吐
- 倦怠感
- 判断力低下
- 集中力低下
- 虚脱感

**!** 応急処置をしても症状が改善されない場合は医療機関を受診しましょう

**熱中症が疑われる人を見かけたら(主な応急処置)**

エアコンが効いている室内や風通しのよい日陰など涼しい場所へ避難

衣服をゆるめ、からだを冷やす(首の周り、脇の下、足の付け根など)

経口補水液を補給\*

\*経口補水液を一時に大量に飲むと、ナトリウムの過剰摂取になる可能性もあります。腎臓、心臓等の疾患の治療中で、医師に水分の摂取について指示されている場合は、指示に従ってください。

**!** 自力で水が飲めない、応答がおかしい時は、ためらわずに救急車を呼びましょう!

**暑さの感じ方は、人によって異なります**

その日の体調や暑さに対する慣れなどが影響します。体調の変化に気をつけましょう。

**室内でも熱中症予防!**

暑さを感じなくても室温や外気温を確認し、扇風機やエアコンを使って温度調整するよう心がけましょう。

**高齢者や子ども、障害のある方は、特に注意が必要!**

高齢者は暑さや水分不足に対する感覚機能が低下しており、暑さに対するからだの調整機能も低下しているため、注意が必要です。子どもは体温の調節能力がまだ十分に発達していないので気を配る必要があります。また、障害のある方には、体温調節が難しい場合やのどが渇いても気づかない、自分で水分がとれない等の場合がありますので、介助者やまわりの方は注意しましょう。

**厚生労働省** Ministry of Health, Labour and Welfare



## 農林水産省による多言語リーフレット

- 農業者向けに、英語のほか、中国語、インドネシア語、クメール語、タイ語、ネパール語、ベトナム語、ミャンマー語、モンゴル語のリーフレットを制作。

日本語版

(表面)

### 農業者のみなさまへ

## 農作業中の熱中症を予防しましょう!!

夏に向けて、農作業中に熱中症になる人が増えてきます。熱中症は正しい知識を身につけることで、適切に予防することが可能です!!

#### \* 農作業中の熱中症 \*

農作業中の熱中症による死亡者数 (月別)

月	死亡者数
3月	2
4月	7
5月	9
6月	14
7月	111
8月	109
9月	6

過去10年の死亡者数計 259名

- 毎年、約30名の方が農作業中の熱中症により死亡
- 死亡事故の約85%が7~8月に発生している一方で3~6月にも発生

#### \* 予防のポイント \*

##### 暑さを避ける

高温時の作業は極力避け、日陰や風通しのよい場所で作業

##### こまめな休憩と水分補給

喉の渇きを感じる前に、こまめに水分・塩分を補給

##### 単独作業は避ける

複数名で作業を行う、時間を決めて連絡をとり合う

##### 熱中症対策アイテムの活用

帽子や吸湿速乾性の衣服の着用、空調服や送風機の活用

そのほか、日々の体調管理など熱中症に負けない体づくりをしておきましょう!

農林水産省

(裏面)

## もっと知りたい!! 熱中症対策

### 熱中症対策アイテム

#### 身体を冷やす

暑い時間帯の作業等が避けられないときに活躍

ファン付きウェア、ネッククーラー

#### 1人作業の備え

やむを得ず1人作業をする際のリスクを回避したいときに活躍

ウェアラブル端末、応急セット

#### 環境改善

作業場を涼しくしたり、休憩の質を高めたいときに活躍

ミストファン

### \* 熱中症警戒アラートとMAFFアプリの連携 \*

熱中症警戒アラートとは?  
熱中症の危険性が極めて高くなると予測された際に発表される注意喚起情報

STEP 1

#### MAFFアプリの入手

Android iOS

STEP 2

#### 地域の設定

マイページ > プロフィール設定

STEP 3

#### PUSH通知ON

スマートフォン側の通知設定も確認

STEP 4

#### 通知が届く

登録した都道府県にアラートが発生されると通知が届く

### \* 熱中症が疑われる場合には \*

#### 01 作業を中断

(代表的な症状)  
・ 汗をかかない、体が熱い  
・ めまい、吐き気、頭痛  
・ 倦怠感、判断力低下

#### 02 応急処置

・ 涼しい環境へ避難  
・ 衣服をゆるめ体を冷やす  
・ 水分・塩分を補給

#### 03 病院へ

応急処置をしても症状が改善しない場合は医療機関で診療を受けましょう!!



## 4. 熱中症弱者への見守り・声かけ



熱中症警戒アラート  
をチェック!



見守り・声かけ!



適切にエアコン  
を使おう!



こまめに水分・塩分  
を補給!

## 4. 熱中症弱者への見守り・声かけ

### 事例1. 石川県小松市

- **社会福祉協議会**が行う高齢者等見守り活動のひとつとして、6月中旬頃から約3週間で民生委員と**地域福祉推進員**が独居高齢者等の見守り対象者約5,400人(令和5年現在)を訪問し、**地域の名産である水と熱中症啓発チラシ**を配布し、エアコンの適切な使用等、熱中症への注意を呼びかけている。



▲訪問時に持参したチラシ、うちわ、地域名産の水

- ・9月1日の**防災の日**に行う安否確認(訪問か架電)とあわせて、必ず年に2回は対象者と接する機会ができた。  
※除雪時期にも対象者のことを気にかけている。

- ・一齐に行う取組があると広報もしやすく、民生委員等がこうした活動をしていることを知って頂く良い機会になっている。

#### ■ 苦労した点

新型コロナウイルス感染症の流行以降、対面で会いたくない方にはドアのノブにかけるなどしている。民生委員、地域福祉推進員の使用するマスクは社会福祉協議会から提供した。

水の配布対象とならなかった方からは「隣の●●さんはもらえたのにうちはもらえなかった」と言われることもある。

#### ■ 工夫した点

小松市にいる約250名の民生委員だけでは、3週間で5,400人を訪問することは難しい。民生委員とほぼ同数の地域福祉推進員が協力して活動いただけることで実施できている(ひとり当たりの担当者は約12名)。

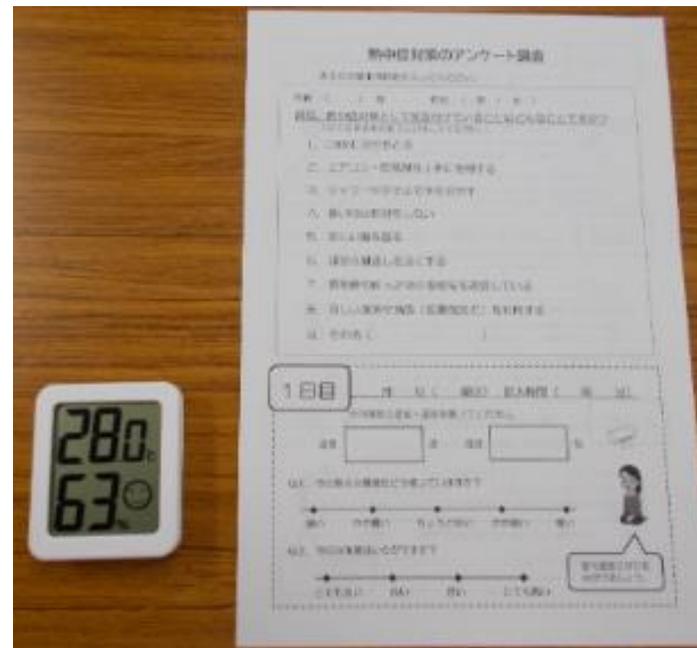
# 4. 熱中症弱者への見守り・声かけ

## 事例2. 鳥取県鳥取市

- 保健所が主体となり、地区**民生委員**の協力のもと**75歳以上の独居高齢者**に対して、**温湿度計**、**アンケート票**及び**チラシ**を配付し、日々の温度・湿度・暑さの感じ方をチェックしてもらうことで**熱中症リスク**を認識してもらうとともに、リスクを低減する**行動変容**を促す
- 民生委員・児童委員との課題共有、連携強化を図る
- アンケート結果を協力者へフィードバック、施策への反映を目指す



▲訪問の様子



▲温湿度計及びアンケート票



15秒Ver.



30秒Ver.



LongVer.

鳥取市「熱中症に注意しましょう!」『自分を守ろう!熱中症予防のススメ』(YouTube)  
<https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1588928987465/index.html>

※令和5年度モデル事業



## 救急安心センター事業 #7119

- 「救急車を呼んだほうがよいか？」 「今すぐ病院に行ったほうがよいか？」 など**判断に迷ったときに** #7119(または地域ごとに定められた電話番号)に電話することで、救急電話相談を受けられるしくみ
- **医師や看護師などの専門家に相談**でき、アドバイスを通じて判断の手助けをしてくれる

### #7119

オペレーターや自動音声により応答があります。

希望に応じ、**救急電話相談** **医療機関案内** を選択してください。

### 救急安心センター

#### 救急電話相談

医師・看護師・相談員が対応

- ・ 病気やけがの状態を把握
- ・ 緊急性について判断

#### 医療機関案内

受診可能な医療機関を案内

緊急性が  
高くない症状

緊急性が  
高い症状

**迅速な救急出動**

**Emergency !**



※現在治療中の病気の治療方針、医薬品の使用方法、介護、健康、育児、精神科等に関する相談は受けられません。  
※相談料は無料ですが、通話料は利用者の負担になります。

## 5. 指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)と涼み処



熱中症警戒アラート  
をチェック!



見守り・声かけ!



適切にエアコン  
を使おう!



こまめに水分・塩分  
を補給!

# 5. 指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)と涼み処

## 事例1. 青森県むつ市 むつ市立図書館での「クーリングシネマ」

- 市有施設でのクーリングシェルター開設に合わせ、通常の図書館営業に加えて、普段は講演会等を対象に団体向け貸出に対応しているミニシアター「視聴覚ホール」を“涼みどころ”として開放し、**上映設備と図書館で所蔵している映画DVD等を活用して、映画を観ながら涼める時間と空間を提供。**
- 図書館休館日についても、閲覧エリア以外は開放。

むつ市立図書館の COOLING SHELTER はじめました クーリングシェルター

**+ a の仕掛け**  
8/7 >>> 8/31  
COOLING CINEMA

避暑スペースとして視聴覚ホールを開放。大画面で所蔵映画をひねもす上映。COOL(涼)でCOOL(良)な夏のひとときをご提供します。

もちろん無料 自由に入退場

館内およそ200席  
快適な温度です  
水飲み場あります  
給水できます  
いつもの図書館  
自動販売機あります



- 上映日数 : 22日間
- クーリングシネマの延利用者数: 380人
- 実施期間中の図書館来館者数の伸び : 112%  
(コロナ禍前3カ年(H29~R1)平均との比較)

※当館がカバーする下北半島地域には映画館がないことがポイント。

むつ市「気兼ねなく来て」  
7月中旬から、連日のように真夏日が続くむつ市。厳しい暑さを避けてもらうと、市は7日、市有12施設を「クーリングシェルター」(通称・涼みどころ)として開放する取り組みを始めた。改正気象変動適法に基づき「指定暑熱避難施設」の位置づけ。期間は9月30日まで。

各施設の待合ホールや交流スペースを休憩場所として自由に利用してもらおう。開放日時は、開館時間や休館日、スペースの貸し出し状況などによって施設ごとに異なる。

開放施設の一つ、市立図書館は視聴覚ホールとファンスペースをクーリングエリアとし、室温は25度前後に設定しており、水飲み場なども備えている。開放に合わせて、視聴覚ホールでは「クーリングシネマ」と題し、31日まで毎日4本ずつ所蔵DVDによる映画上映を行う。館内工事を行う22、24日は除く。

7日のむつ市の最高気温は25.5度だったが、8日以降は30度以上となる予報。同図書館で事業開始を発表した山本知市長は「高齢者の方は家で、暑さを我慢する傾向にある。各施設に気兼ねなく来ていただきたい」と呼びかけた。

同図書館以外のクーリングシェルターは次の通り。

▽市役所 本庁舎、川内庁舎、大畑庁舎、野沢庁舎▽下北文化会館▽むつ来さまい郷中  
中央公民館▽北の町大森 安藤館、武蔵館、みどりのさきもり館▽総合福祉センター▽みれあい

東奥日報2023年8月8日朝刊

■ **コメント**  
「いつもの図書館」で十分クーリングシェルターの役目は果たせますが、今あるリソース(ミニシアター・所蔵DVD)を活かし、ちょっとした仕掛けをすることで「図書館ってこんなこともしているんだ!」というインプレッションを市民にお届けしたいと考えたのが企画のスタート。

■ **苦労した点**  
上映権付きの映像資料は高価で所蔵数も限られるため、ラインナップを構成するのに苦慮した(次年度以降も継続の要望が多いので今後もDVD資料に予算を割く必要がある)。

■ **工夫した点**  
青森県下北地域県民局のご協力を得て、映画と映画の合間は局が制作した下北半島の観光PR動画で繋ぎ、こちらも好評を得た。次年度は、熱中症対策のPR動画等も併せて上映したいと考えている。

# 5. 指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)と涼み処

## 事例2. 栃木県佐野市(1) クーリングシェルターの前身としての「涼み処」

- もともと「熱中症予防のための涼み処」として設置、その設置にあたっての懸念点

### ① 涼を取る目的(体調不良者以外)での来庁者への対応

今までも市有施設には涼しいからと、涼を取る目的で来庁した人がいた  
 → **涼み処ポスター**に“暑さによる体調不良の場合は職員にお声かけください”と表示  
 申し出のあった方のみフォロー。職員の負担軽減につながる。  
 無用の寄り合いなどにより執務の妨げにならないか  
 → 人数を絞り、利用上の注意点を呼びかける



### ② 個人情報の取扱いについて

来館後に救急搬送が必要になった際に個人情報がわからない  
 → 施設側は「**利用者記録簿**」で統計目的で、  
 利用者は「**緊急時本人カード**」に記入、自身で管理

### ③ 協力体制や職員の負担について

長期にわたる協力依頼であることから反発があるのではないか  
 → 協力依頼時の丁寧な説明、協力施設職員への説明会の開催

利用者記録簿							
施設名:							
No.	利用日	利用時間	年齢	性別		配布物	特記事項
1	月 日	時 分 ~ 時 分	・19歳以下 ・20~39歳 ・40~59歳 ・60歳以上	・男 ・女 ・不明	・利用者 ・その他 ( )	・うちわ ・タオル ・冷却剤 ・冷却シート ・水 ・スポーツ飲料	・帰宅 ・救急搬送 ・その他( )
2	月 日	時 分 ~ 時 分	・19歳以下 ・20~39歳 ・40~59歳 ・60歳以上	・男 ・女 ・不明	・利用者 ・その他 ( )	・うちわ ・タオル ・冷却剤 ・冷却シート ・水 ・スポーツ飲料	・帰宅 ・救急搬送 ・その他( )
3	月 日	時 分 ~ 時 分	・19歳以下 ・20~39歳 ・40~59歳 ・60歳以上	・男 ・女 ・不明	・利用者 ・その他 ( )	・うちわ ・タオル ・冷却剤 ・冷却シート ・水 ・スポーツ飲料	・帰宅 ・救急搬送 ・その他( )

※令和5年度のヒアリングによる ▲「利用者記録簿」

緊急時本人カード		
ふりがな	生年月日	
氏名	年齢	血液型
住所		
電話番号		
緊急時連絡先(連絡のつく方)		続柄
持病	アレルギー	
	服用薬	
かかりつけ医		
※ご自身でお持ちください。緊急時に職員にお渡しください。		

▲「緊急時本人カード」

# 5. 指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)と涼み処

## 事例2. 栃木県佐野市(2) クーリングシェルターの前身としての「涼み処」

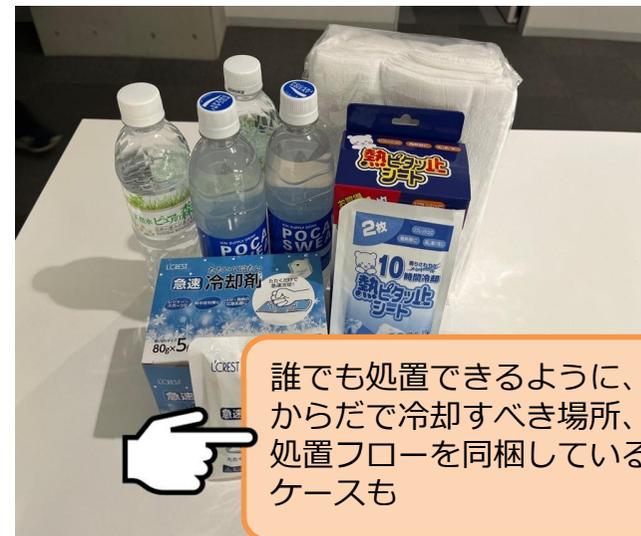
- 「熱中症予防のための涼み処」設置要件 ※市内32施設(当初見込みは15施設)(令和5年度)
  - ① エアコンが稼働しており、5人程度が休憩できるスペースを確保できる施設であること
  - ② 初期対応として、体調不良を訴える方には、担当課が支給する暑さ対策グッズ(飲料や瞬間冷却材、冷却シート、うちわ、タオルなど)を状況によって提供できること
  - ③ 職員により10分おき程度の声かけや健康観察が行えること
  - ④ 健康観察の結果、体調のさらなる悪化や意識消失などの場合、緊急対応や家族への連絡、救急車の要請を行えること
  - ⑤ 体調不良者には来館時に「緊急時本人カード」に記入いただき、万が一の時に職員に渡すことが可能であること



▲涼み処ポスター



▲佐野市庁舎での事例



▲支給品(暑さ対策グッズ)

### ■ 苦労した点

熱中症対策については、これまで、各部署でそれぞれの立場で予防対策を行っており、包括的に熱中症対策を取りまとめる部署がなかった。

### ■ 工夫した点

周知ポスターに「暑さによる体調不良の場合は職員にお声かけください」と表示するとともに利用の際の注意書きを渡した。また、「緊急時本人カード」への記入をお願いした。

# 5. 指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)と涼み処

## 事例3. 石川県金沢市(1) 2種類のクーリングシェルター

- 金沢市では県内の公共施設16か所をクーリングシェルターに指定した(令和6年度)
- 熱中症特別警戒アラートや熱中症警戒アラートの発表有無にかかわらず、夏季の高温時に休憩できる場所として利用可とし、市民への普及啓発を行った。

- 期間：令和6年7月1日(月)～9月30日(月)
- 場所：公共施設16か所(市有施設14か所、県有施設2か所)
- 設備：**モデル型6か所**
  - ・ウォーターサーバーの設置(※)
  - ・熱中症予防動画の放映(※)
  - ・「木の文化都市・金沢」らしい雰囲気の間取りづくり(※)
  - ・熱中症対策啓発リーフレット、スタンドパネルの設置(※)施設により異なる

### 簡易型 10か所

- ・熱中症対策啓発リーフレット、スタンドパネルの設置



▲スタンドパネル

<参考> 「金沢市における木の文化都市の継承と創出の推進に関する条例」

(市の施設における積極的な木の利用等)

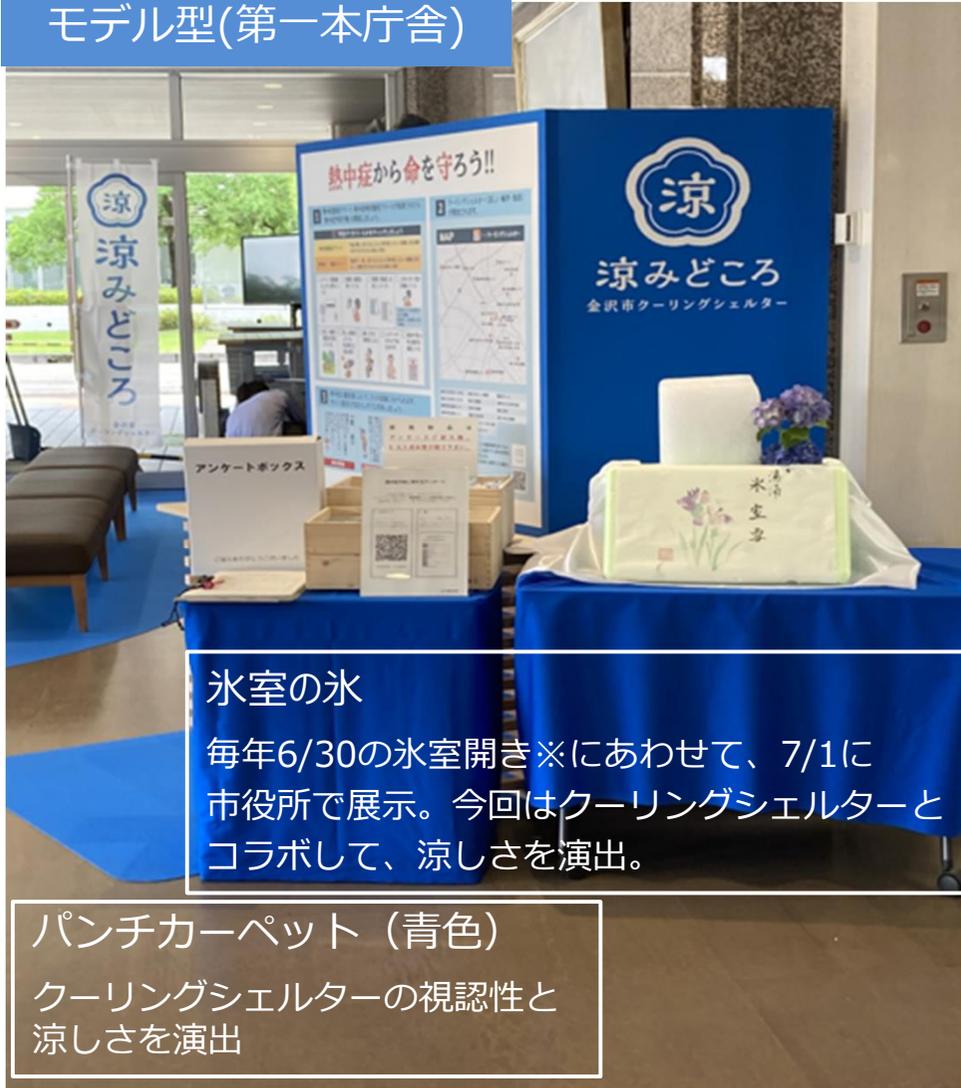
第13条 市は、自ら行う建築物等の整備に木材及び木材を使用した製品を率先して利用するよう努めるものとする。

## 5. 指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)と涼み処

### 事例3. 石川県金沢市(2) 2種類のクーリングシェルター

- 市役所第一本庁舎のクーリングシェルターは、観光地に隣接しており、ガラス張りで外からの視認性が高いため、気軽に立ち寄れる休憩スペースとして1日に200名程度の利用があった。

モデル型(第一本庁舎)



氷室の氷

毎年6/30の氷室開き※にあわせて、7/1に市役所で展示。今回はクーリングシェルターとコラボして、涼しさを演出。

パンチカーペット (青色)

クーリングシェルターの視認性と涼しさを演出

モデル型(第二本庁舎)



木製ベンチ

既存のベンチを活用し、「木の文化都市」金沢らしい会場づくりを演出

※氷室開き

江戸時代加賀藩が徳川家に氷を献上していたことに由来する伝統行事。江戸時代には氷は非常に貴重であったため冬になると「氷室」と呼ばれる貯蔵庫(氷室小屋)に雪を詰め、保管した。そして、旧暦6月1日を「氷室の朔日」と呼び、保管していた雪氷を切り出して、徳川家に氷を献上していた。これを再現した催しを「氷室開き」として、毎年6月30日に湯涌温泉にて行っている。氷室小屋で仕事の後、切出された雪氷を薬師寺へ奉納する。

(引用：金沢市観光協会)

# 5. 指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)と涼み処

## 事例3. 石川県金沢市(3) 2種類のクーリングシェルター

簡易型



金沢学生のまち市民交流館



泉野図書館



玉川図書館



近江町交流プラザ



金沢プール



鳴和台体育館

### ■ 苦労した点

真夏日や猛暑日に屋内外のスポーツ施設を利用する方は、「夏は暑いもの」という前提で利用されている傾向が強く、熱中症対策の必要性が伝わりにくいため、きっかけづくりに苦労した。

### ■ 工夫した点

青いカーペットで涼しさを表現し、ガラス張りの立地を利用して、外から見てわかりやすく入りやすい空間を意識した。大塚製薬(株)との連携で「はたらく細胞」の動画を流し、熱中症の知識も提供できるようにした。

# 5. 指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)と涼み処

## 事例4. 静岡県静岡市ほか 「静岡県美容業生活衛生同業組合」による取組

- 指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)の考え方に賛同した**静岡県美容組合(静岡県美容業生活衛生同業組合)**が、まず静岡市に働きかけ。116店舗の協力(令和6年9月30日時点)を得る。浜松市や掛川市でも同様に展開中。
- 厚生労働省「理容所及び美容所における衛生管理要領」に“待合所”を設置する規定があり、これを援用。
- 組合は支部長を通じ写真や情報を集め、静岡市との協定をとりまとめ。
- 教育委員会を通じて**静岡市内のすべての小・中学校**に、組合が独自に制作したポスターを配布。



▲静岡市制作のポスター  
サイズは3種類用意されている。

▲待合所  
場合により作業場の美容椅子も利用できる。



▲組合が独自に制作したポスター

### ■苦勞した点

市と個別店舗になると連絡や調整が難しいので、とりまとめ部分を組合が担った。協定書には店舗の写真を含めるものとして、その写真や店舗情報の収集で支部長にはご苦勞をいただいた。

### ■工夫した点

児童・生徒にも、暑いときには美容室でも休息ができることを伝えたい。すべての小・中学校の校長先生宛に手紙とポスターを送付して、理解と周知を促した。

# 5. 指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)と涼み処

## 事例5. 京都府八幡市 「訪問看護ステーションあっと」による取組

- 「訪問看護ステーションあっと」は、これまでの代表のご経験をもとに、医療者や家族主体ではなく“ご本人様が主体的に意思決定できるように”との思いから京都府八幡市に設立。
- クーリングシェルターは身構えずに取り組める「地域や社会への貢献」。過度に理想を追求することなく、高齢者を中心に気軽に休んでもらえる場所として、まずは続けていくことが大切だという認識。
- 1階の**受付・相談スペース**兼倉庫を活用。  
この場所は、職員が訪問先から戻ってきた際に必ず通るため、常に冷房が効いている状態に。
- **看護師などの専門職**がいることにより、緊急時の一次対応も可能に。



### ▲全景

1階は受付・相談スペースの他資機材の受入れ・保管場所、夜間はバイクなどを置く倉庫として活用している。2階が事務室。



### ▲入口

ポスターによるクーリングシェルター表示。左手に受付・相談スペースがある。今夏は4~5名の利用があった。



### ▲受付・相談スペース

訪問看護の相談やアドバイス等を行う他、クーリングシェルターとしても活用している。

### ■苦勞した点

自分の想いと、スタッフの想いとの間にギャップがあってはいけないので、その点は注意するようにしている。

### ■工夫した点

訪問看護ステーションで2階建ての建物は珍しいという。入口にはセンサーやカメラを設置しており、2階からでも状況の確認など対応が可能である。

## 5. 指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)と涼み処

### 事例6. 愛知県小牧市 「こども涼み処」

- 令和6年7月～10月末の期間に児童・生徒の登下校中の熱中症対策として「こども涼み処」を提供(小学生～中学生を対象として実施)。
- こどもたちが、登下校中に補給できる水分を持ち合わせない場合等、状況を見て水筒などに**給水することが可能**(通学路など校区内にある事業所・店舗にて実施)
- 「こども涼み処」の選定・協力依頼に際しては、教育委員会・学校教育関係部署の協力のもと実施

名称		所在地	涼める場所	水分の補給
ぷりていほっぺ		南外山347番地2	1階ロビー	○
セブンイレブン 小牧下小針天神1丁目店		下小針天神1丁目16番地1	店内	○
ファミリーマート	小牧小針店	小針3丁目5番地	店内(イートイン)	×
	小牧下小針店	下小針中島3丁目210番地	事務所等	○
	小牧中宮店	小針2丁目132番地1	店内	○
ローソン 小牧外堀1丁目店		外堀1丁目227番地1	店内	○
オバリ書店		外堀2丁目185番地	店内	○
株式会社 マルワ		下小針天神1丁目179番地	事務所内(長いす)	○
有限会社 コンダ木工所		下小針天神3丁目139番地	工場前のひさしの下	○



▲「こども涼み処」施設・店舗(ホームページへの掲載を承諾いただけた事業所・店舗のみ公開。)

▲「こども涼み処」ロゴマーク

小牧市ホームページ <https://www.city.komaki.aichi.jp/admin/soshiki/shiminseikatsu/kankyuu/2/4/44920.html>

#### ■ 苦労した点

児童・生徒には基本的に登下校時に寄り道をしないように指導しているため、教育委員会との調整が必要だったが、児童・生徒の命を守るための取組として校長先生がたのご理解をいただき実施できた。

#### ■ 工夫した点

ご協力いただける事業所・店舗の意向をくむため、ホームページ等の公開や水分補給の可否について、各事業所・店舗の意向に沿う形で提供形態を選択していただくように実施した。

# 5. 指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)と涼み処

## 事例7. 栃木県矢板市(1) 矢板市クーリングシェルター募集要項

- 矢板市では、令和5年度から一部の公共施設や協力店舗を一時的な休憩施設(クーリングシェルター)として指定
- 開設期間:熱中症警戒情報の運用期間(4月下旬から10月下旬まで)に、栃木県内に熱中症特別警戒情報が発表された日

### 令和5年度の実績

日 時：令和5年7月1日(土)から令和5年10月25日(水)の期間中、  
栃木県内に熱中症警戒アラートが発表された日  
(**該当施設の営業時間内**)

場 所：市有施設：市生涯学習館  
矢板市立図書館  
泉公民館  
片岡公民館  
民間施設：ダイユー矢板店  
ベイシア矢板店  
ヨークベニマル矢板店  
サンユー片岡店  
(※民間施設はいずれもスーパーマーケット)

矢板市ホームページ  
令和5年6月23日 記者発表資料「クーリングシェルターの開設等について(熱中症対策)」  
<https://www.city.yaita.tochigi.jp/uploaded/attachment/17597.pdf>

“クーリングシェルター指定施設の募集について”  
<https://www.city.yaita.tochigi.jp/soshiki/seikatsukankyoku/cooling-boshu.html>

※令和5年度のヒアリングによる



▲協力いただいた店舗へ送付したポスター 85

# 5. 指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)と涼み処

## 事例7. 栃木県矢板市(2) 矢板市クーリングシェルター募集要項

矢板市 クーリングシェルター 応募用紙		別紙様式	
市民生活課 生活環境課 宛て (FAX) 0287-43-7501 (メール) seikatsukanryo@city.yaita.tochigi.jp			
応募内容(施設情報及び応募者)			
情報内容	記入欄		
施設情報 (公開情報)	施設等の名称		
	所在地	(郵便番号)	
		住所	
	電話番号		
	受入れ可能な 曜日及び時間	曜日	
		時間	
		特記事項	
受け入れ可能人数			
休息場所の概要			
※上記内容は、Webページなどに掲載します。紙面の関係上、文章を変更する場合がありますのでご了承ください。			
担当者所属・氏名			
連絡先電話番号			
連絡先FAX番号			
連絡先Eメールアドレス			
※栃木県内に熱中症特別警戒情報が発表された際、特に指定のない場合は上記の内容のうち、Eメールアドレスに連絡をさせていただきます。Eメール以外の手段で連絡を希望される場合は、各連絡先の後ろに(指定連絡先)と記入してください。			
当施設は、矢板市クーリングシェルター募集要項の内容に基づき、矢板市が矢板市クーリングシェルターに指定されることに同意します。			
	施設名		
	代表者名		
※本人が手書きしない場合は、記名押印してください。			

### ■ 苦労した点・工夫した点

令和5年度のクーリングシェルターの開設については、令和5年度に入ってから開設することを決定したため、完全にゼロ予算での取組となりました。

ゼロ予算、ゼロ構想からの出発で夏までに運用開始できるよう、如何に関係各所に負担がかからない形で実施するかを検討し、「民間施設については、イートイン又はフードコートが設置されているスーパーマーケット」と対象を絞り、該当する施設に個別に依頼し、依頼した全施設からご協力をいただくことができました(市内で条件を満たす施設は4施設でした)。

イートイン、フードコートはクーリングシェルターに必要な要素を備えているため、施策開始までの時間短縮を目的として対象を限定しました。

スーパーマーケット側は、元々、涼みに来るだけのお客様も一定数いるため、開設を依頼する際、クーリングシェルターに指定されることにあまり抵抗はないような印象を受けました。

### ■ 他の都道府県、市町村へ向けてアピールしたいこと

手間と予算をかければ、その分優れた施策になると思いますが、既存の資源を活用することで、関係各所、最小限の負担で、必要十分な効果を発揮することが可能だと思います。

### ■ ポスターについて

クーリングシェルターとしてご協力いただいた施設に別添(※前頁)のと通りのポスターを送付しました。

無償で協力していただいていることを踏まえ、少しでもスーパーマーケット側にメリットのある内容のポスターを作成したいと考え、矢板市の管理栄養士監修の下、夏バテになりにくい食材とレシピを啓発する内容のポスターを作成しました(熱中症を防ぐ栄養素はないとのことなので、夏の体力低下を防ぐというコンセプトです)。

クーリングシェルターを利用した方がポスターを見て、買い物をする契機となればという思いも込めています。

## 5. 指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)と涼み処

### 事例8. 徳島県美馬市(1) 民間施設クーリングシェルター指定要領

- 指定要件：冷房設備があり、3人以上が休憩できる椅子等を設置できる施設
- 募集期間：令和6年4月8日(月)～9月30日(月)

#### ご協力いただく内容

- ①事業者が所有する店舗等を、市が指定する期間内において、「クーリングシェルター」として開放する【任意】
- ②「熱中症特別警戒アラート」が発表された場合は、その対象日に店舗等を「クーリングシェルター」として開放する【必須】
- ③「熱中症特別警戒アラート」が発表された場合、クーリングシェルター利用者に対し、市があらかじめ配布するイオン飲料(1日1人あたり1本を限度)を提供する【任意】  
(冷蔵設備が備えられている店舗等については、提供するイオン飲料をあらかじめ冷蔵しておく)
- ④市が指定する期間中、熱中症予防啓発資材(パンフレット等)を、来店者が持ち帰れるよう店舗等に配置する【必須】
- ⑤希望する従業員等が、大塚製薬株式会社が提供する「熱中症対策アンバサダー講座」を受講できるよう配慮する【任意】
- ⑥美馬市及び大塚製薬株式会社が共催する「熱中症対策健康会議」に出席する【任意】
- ⑦市が指定する期間中、店舗等の入口に市等が提供するポスターやのぼりを掲示する【必須】



▲マルナカ脇町店  
イートインスペースにのぼり、入口にポスターが掲示されている。

# 5. 指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)と涼み処

## 事例8. 徳島県美馬市(2) 民間施設クーリングシェルター指定要領

入力フォーム

1 入力 2 確認 3 完了

下記のフォームにご入力をお願いします。

**Q1. 担当部署** 必須

会社名

会社名 必須 0 / 64

会社所在地

郵便番号 必須 都道府県 必須 市区町村 必須

0 / 8 0 / 64

番地以降 必須 0 / 64

会社電話番号

電話番号 必須 0 / 15

担当者



▲地域交流センターミライズのぼりとポスターを設置。

**Q8. 受入可能人数** 人

**Q9. 協力できる取り組み内容 (協力できる内容全てにチェックしてください)** 必須

- ・市が指定した期間、「クーリングシェルター」として店舗等を開放する
- ・「熱中症特別警戒アラート」が発表された場合、その対象日に「クーリングシェルター」として店舗等を開放する
- ・「クーリングシェルター」として開放する店舗等は、冷房し、3人以上の利用者が休息するための椅子等を設置する
- ・「熱中症特別警戒アラート」が発表された場合、クーリングシェルター利用者にイオン飲料を提供する
- ・使用するイオン飲料は、冷蔵保存できる
- ・市が指定する期間中、来店者向けに、熱中症予防啓発資材(パンフレット等)を店舗等に配置する
- ・従業員等に「熱中症対策アンバサダー講座」を受講させる
- ・美馬市及び大塚製薬株式会社が主催する「熱中症対策健康会議」に出席する
- ・市が指定する期間中、市等が提供するパンフレットやのぼりを店舗等に掲示する
- その他

→ 確認画面へ進む

入力内容を一時保存する

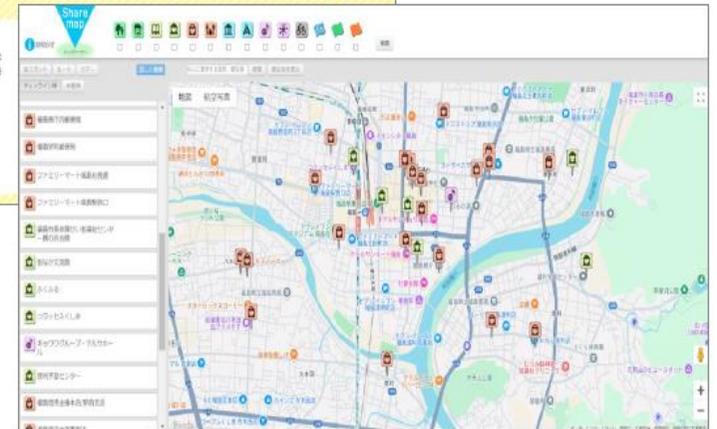
# 5. 指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)と涼み処

## 事例1. 福島県(1) 「ふくしま涼み処」

- 県内公共施設、民間施設のうち「ふくしま涼み処」(一定期間、暑さをしのぐことができる施設)として協力いただける施設を募集。
- 登録数は**県内1,302か所**(公共施設471か所、民間施設831か所)にのぼる。各施設にはポスターとのぼり旗を掲示し、PRを行う。
- 登録施設、利用時間や地図情報を**福島県気候変動適応センター**のホームページにて案内。アクセスしやすくするためにポスターにホームページの2次元コードを表示。



▲「ふくしま涼み処」の事例



▲すべての施設をシェアマップ(クールシェア事務局による運用)に掲載している。  
※期間外には公開されていません。



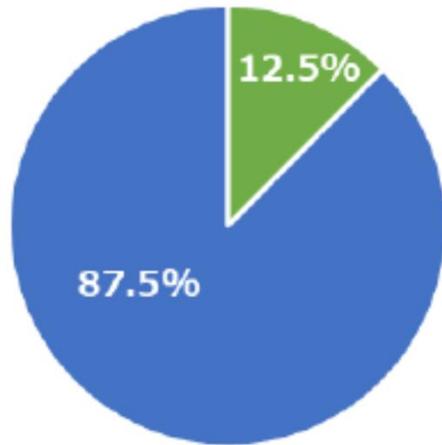
福島気候変動適応センター <https://www.fukushima-kankyosozo.jp/lccac/kenkou/heatillness.html>

## 5. 指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)と涼み処

### 事例1. 福島県(2) 「ふくしま涼み処」

#### ● 「ふくしま涼み処」利用者へのアンケート

利用した感想として  
約88%の利用者が「よかった」と回答。



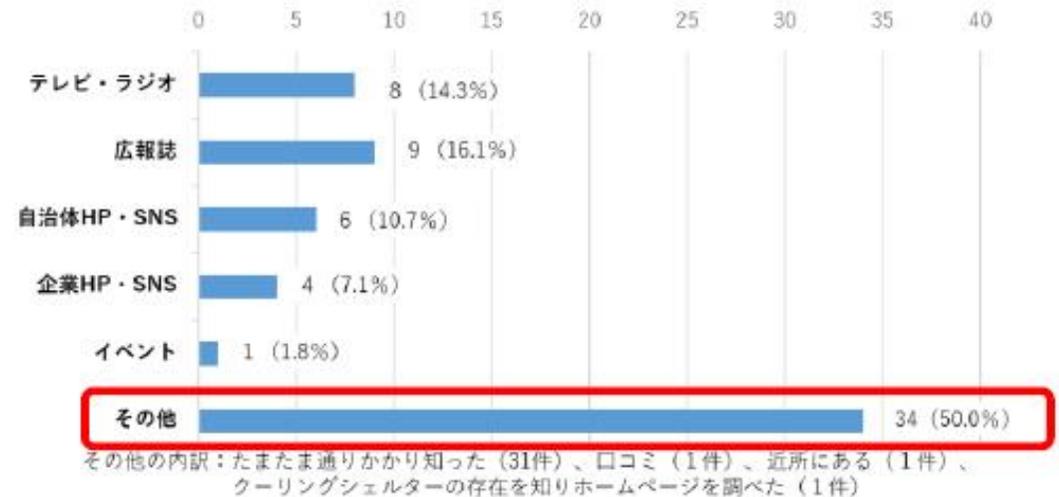
- 「よかった」 87.5%(49件)
- 「よくなかった」 12.5%(7件)

- ・ こういう取組はありがたいです！(30代)
- ・ とてもよい試みです。  
熱中症を回避できました。(60代)
- ・ もっと増やしてほしい。(10代)
- ・ 場所が増えるとよい。(40代)

👉 「ふくしま涼み処」の取組自体は高い評価。

広報資材(ポスター、のぼり旗)含め、取組の認知が低く、さらなるPR、効果的な周知が課題。

約半数の利用者が、広報媒体経由ではなく「たまたま通りかかり(店頭でポスターやのぼり旗を見て) 知った」と回答。



- ・ ポスターがあるところが少ないです。  
もっと利用しやすいPRをお願いしたいです。(50代)
- ・ (この取組を)もっと早く知りたかった。(70代以上)

# 5. 指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)と涼み処

## 事例1. 福島県(3) 「ふくしま涼み処」

### ● 「ふくしま涼み処」施設管理者へのアンケート

#### 「ふくしま涼み処」の設置にあたって工夫した点、苦慮した点

- 広報面での工夫
  - ・ポスターを見えやすいところ(入口など)に設置
  - ・施設独自でPOPなどを作成し広報 …など
- 施設調整、設備面での工夫
  - ・いすを増やす、「ふくしま涼み処」のスペース増設
  - ・応急セットを設置
  - ・麦茶の提供 …など
- 冷房面での工夫
  - ・暑さが続いたため、通常の冷房期間を延長
  - ・こまめな温度調整 …など
- 庁内調整、施設調整面での苦慮(公共施設)
  - ・所管部署での調整、意思決定
  - ・会議等で使用できない場合の、代替場所の調整…など
- 冷房面での苦慮
  - ・温度変更しても、すぐに館内が冷えない
  - ・エアコンの効きが悪い …など

#### 広報資材(ポスター、のぼり旗)に関する要望

- 早期の提供
- ポスター、のぼり旗の増加
- ポスター内容の充実
  - ・施設一覧、熱中症の簡易判定や対処方法などを検索できる2次元コード表示

#### 運用全般に対する意見、要望

- 必要な取組、今後も継続希望
- 県によるとりまとめも効率的、継続希望
- 早期の運用開始
- テレビ等による広報充実、周知強化
  - ・大きな費用のかかる新聞、テレビなどのメディアを活用した周知を県が行ってくれると、市町村はやりやすい
  - ・特に情報弱者とされる方への取組の周知強化
  - ・認知度が低い

☞ 広報資材の充実(ポスター、のぼり旗の増刷)や、取組のさらなるPR、情報弱者とされる方々を含む住民への効果的な周知が課題。

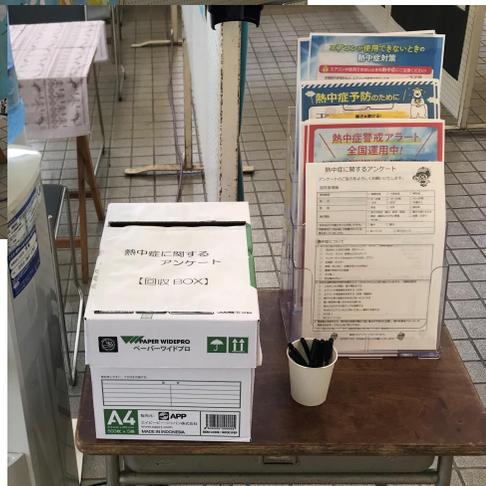
# 5. 指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)と涼み処

## 事例2. 千葉県いすみ市 「涼み処」

- 「涼み処」にはアンケートとウォーターサーバーを設置、飲料水を提供
- 地元の千葉県立大原高校の美術部員、書道部員の協力を得て視覚的に涼しく装飾、演出



▲涼み処(本庁舎)  
ポスターやパンフレットも設置



▲アンケート



▲涼み処(岬庁舎)



▲ウォーターサーバー

### ■ 苦労した点

令和5年度に試行的に設置したところ、スペースの確保が困難であり、水分補給のみで帰られる方も多く、熱中症に対する正しい知識を周知することができなかった。

### ■ 工夫した点

スペースの確保と、最大収容人員を超えた場合の拡張を見据えた体制づくりを行った。休憩スペースではアンケートも実施し、取組の課題を認識し今後につなげていく。

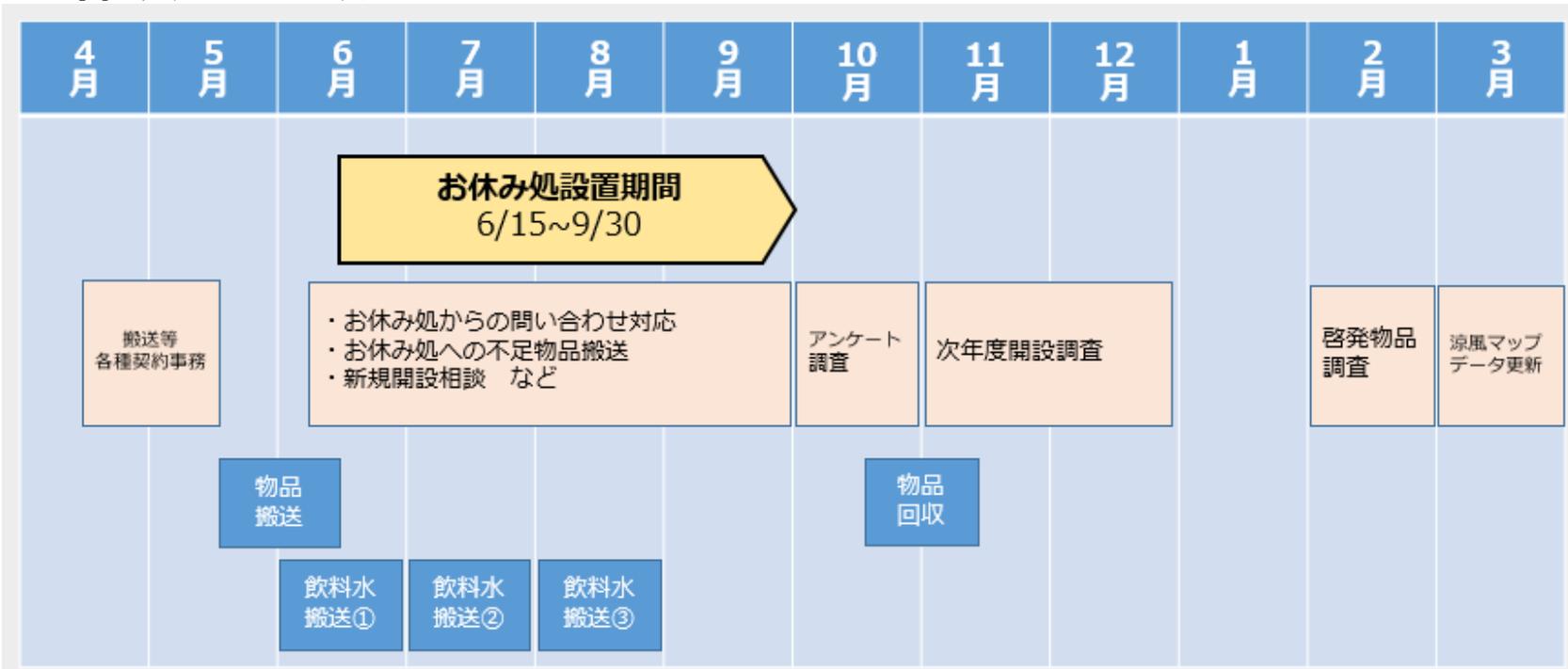
# 5. 指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)と涼み処

## 事例3. 東京都世田谷区 「お休み処」

- **民間施設における「お休み処」設置要件** ※区内278施設(うち民間施設は207施設)(令和5年度)  
以下の点について、個別に聞き取りを行い設置の可否を判断している

- ① 冷房設備を備えている施設か
- ② 休憩ができるイス等があるか
- ③ 利用者へ営業を行うなど営利目的での設置ではないか

### ● 年間スケジュール



▲「お休み処」栗の湯  
(令和5年)

#### ■ 苦労した点

今後の課題としては、①設置箇所数増への対応(設置のルール化、全庁あげた取組等)、②事業の執行体制の確保、③更なる認知度の向上などが挙げられる。

#### ■ 工夫した点

設置時間については、施設の運営時間に合わせている。  
また、設置に必要な、飲料水、のぼり旗、啓発資材等は保健所から配送している(イスや机は施設の設備を利用)。

## 6. 熱中症対策普及団体



熱中症警戒アラート  
をチェック!



見守り・声かけ!



適切にエアコン  
を使おう!



こまめに水分・塩分  
を補給!

## 6. 熱中症対策普及団体

### 事例1. NPO法人による取組事例

以下の事業を“3本柱”として位置づけて活動する

- 「涼みどころ」の設置
- 「熱中症対策研修会」の開催
- 情報の配信

- 「熱中症対策研修会」の開催(約2時間)

内 容 :

- 第1部 **熱中症の発生・救急状況、対処方法** (講師:消防署職員)  
救急出動件数、搬送者数、対応の体験談、実際の対応方法など
- 第2部 **熱中症予防のポイント** (講師:保健師)  
日頃の行動の注意点や心がけなど
- 第3部 **気候変動の現状** (講師:環境課職員)  
地方公共団体が定めた「気候変動適応計画」をもとに気候変動の現状について説明
- 第4部 **熱中症対策普及団体の事業** (講師:熱中症対策普及団体職員)  
事業内容の説明、協力をお願い

対象者 :

福祉施設職員、民生委員・児童委員、涼みどころ担当者、その他関心のある方

- 情報の配信

チラシデータの配信、熱中症対策方法の配信など

## 6. 熱中症対策普及団体

### 事例2. 社会福祉協議会による取組事例

- 住民や事業所に対する熱中症対策啓発活動、広報活動
  - 熱中症対策に関する住民への助言、相談対応
  - その他熱中症対策の推進
- 
- 住民や事業所に対する熱中症対策啓発活動、広報活動  
[例] 熱中症に関するイベントの実施や各種ツールを活用した広報活動
  - 熱中症対策に関する住民への助言、相談対応  
[例] 高齢者をはじめとするいわゆる“熱中症弱者”等に対し、チラシなどを活用しつつ自宅訪問時に熱中症対策に関する呼びかけ(見守り・声かけ)を行う
  - その他熱中症対策の推進

## 7. 地域で活躍する団体や企業等との連携



熱中症警戒アラート  
をチェック!



見守り・声かけ!



適切にエアコン  
を使おう!

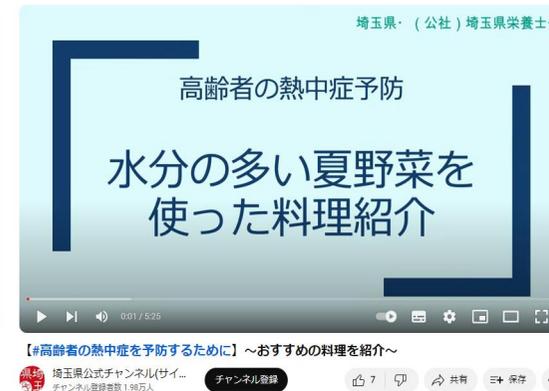
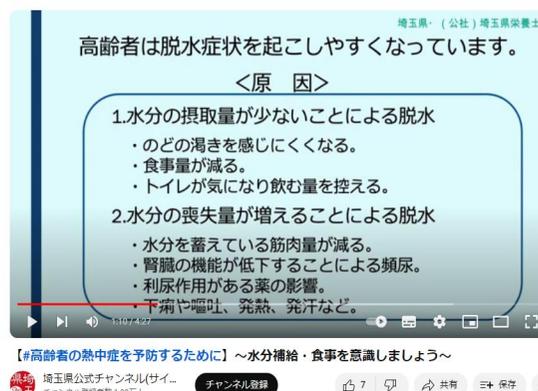


こまめに水分・塩分  
を補給!

# 7. 地域で活躍する団体や企業等との連携

## 事例1. 埼玉県(1) 公益社団法人埼玉県栄養士会との連携

- 熱中症予防お手軽レシピとして、県のホームページに「主食」「主菜」「副菜」「おやつ」別に13品を紹介
- 「水分補給・食事を意識しましょう」「おすすめの料理を紹介」の動画2本を作成



### ▲YouTube埼玉県公式チャンネル

高齢者の熱中症を予防するために

～水分補給・食事を意識しましょう～

[https://www.youtube.com/watch?v=-BjC8\\_WjsQo](https://www.youtube.com/watch?v=-BjC8_WjsQo)

～おすすめの料理を紹介～

<https://www.youtube.com/watch?v=ceUj2buqk9o>

### ◀埼玉県HP「熱中症予防お手軽レシピ」

[https://www.pref.saitama.lg.jp/a0704/netsuchusyo/netsuchusyo\\_yobou\\_recipe.html](https://www.pref.saitama.lg.jp/a0704/netsuchusyo/netsuchusyo_yobou_recipe.html)



### ■工夫した点

作成物を効果的に活用していただくため、県内市町村に対し広く周知した。

# 7. 地域で活躍する団体や企業等との連携

## 事例1. 埼玉県(2)

- “食事から熱中症を予防する”の他に、“ふだんから運動しましょう”としてレベルごとに動画4本を作成

かかと  
上げ下げ

日頃から体を動かそう!  
~高齢者向け運動動画~

優しいレベル

埼玉県・公益財団法人埼玉県健康づくり事業団

高齢者向け運動 優しいレベル  
<https://www.youtube.com/watch?v=AqRHKXsbgE>



両足あげ  
ぶるぶる...

日頃から体を動かそう!  
~高齢者向け運動動画~

普通レベル

埼玉県・公益財団法人埼玉県健康づくり事業団

高齢者向け運動 普通レベル  
<https://www.youtube.com/watch?v=Zz9DXIWQbng>



ねじる

日頃から体を動かそう!  
~高齢者向け運動動画~

ハード編①

埼玉県・公益財団法人埼玉県健康づくり事業団

高齢者向け運動 ハード編①  
<https://www.youtube.com/watch?v=eX6xwjPVu3M>



ふくらはぎ

日頃から体を動かそう!  
~高齢者向け運動動画~

ハード編②

埼玉県・公益財団法人埼玉県健康づくり事業団

高齢者向け運動 ハード編②  
<https://www.youtube.com/watch?v=ZADw8jKee0>



# 7. 地域で活躍する団体や企業等との連携

## 事例2. 東京都墨田区 一般社団法人墨田区薬剤師会との連携

- 保健計画課が主体となり(一社)墨田区薬剤師会と共同で、誰でも立ち寄れる暑さをしのぐ場所・施設として「すみだひと涼みスポット薬局」を開設(区内約30か所)。啓発イベント、川柳コンテストも開催。



▲墨田区「すみだひと涼みスポット薬局」

### ▲熱中症対策啓発イベントによる情報発信

#### ■ 苦労した点

- ・ 患者さんと暑さをしのぐ場所・施設を利用する方の休憩場所の確保。
- ・ 薬局業務との同時運営
- ・ 薬局を暑さをしのぐ場所・施設としての「ちょっと休憩」の認知度をあげること。

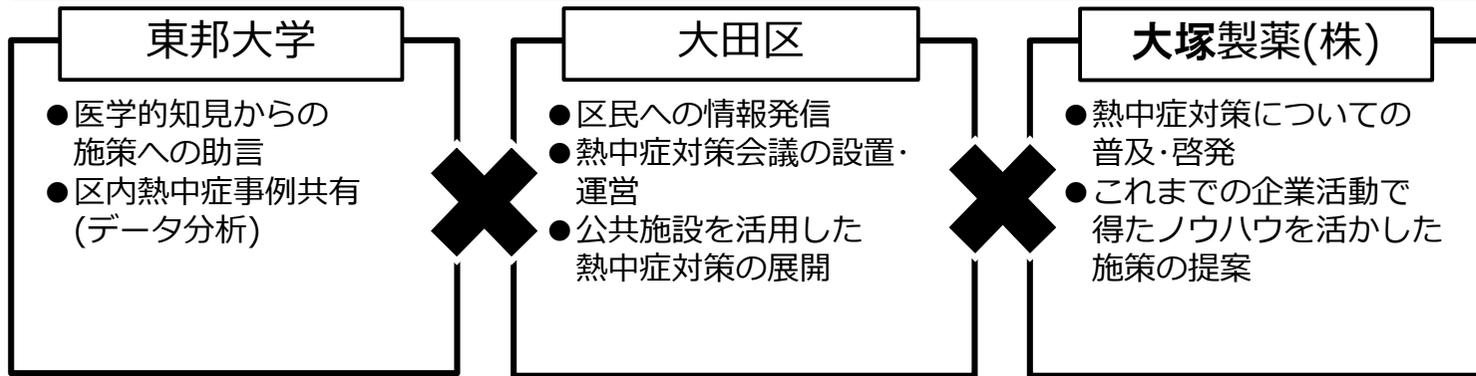
#### ■ 工夫した点

川柳コンテスト【事例3-6】の応募用紙の受付場所をひと涼みスポット薬局にすることで、薬局のPRと暑さをしのぐ場所・施設としての「ひと涼みスポット薬局」のPRにつなげた。

# 7. 地域で活躍する団体や企業等との連携

## 事例3. 東京都大田区(1) 産官学(3者連携)による“大田区熱中症対策コンソーシアム”

- 熱中症から区民の命を守ることを目的として、**大田区**、**学校法人東邦大学**、**大塚製薬株式会社**(大田区と包括協定を締結している)の3者をコアとし、様々な団体に参画いただき、熱中症対策をオールおたで推進していく取組み「**大田区熱中症対策コンソーシアム**」を令和6年6月1日に設置。



### コンソーシアム参画団体 (令和6年9月24日時点) **22団体** ※50音順

- ・ あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
- ・ 株式会社イトーヨーカドー 大森店
- ・ 株式会社NTTデータ
- ・ 大塚製薬株式会社
- ・ 花王グループカスタマーマーケティング株式会社
- ・ 株式会社きらぼし銀行
- ・ 京急開発株式会社
- ・ 京浜急行電鉄株式会社
- ・ さわやか信用金庫
- ・ 城南信用金庫
- ・ 株式会社セブン-イレブン・ジャパン
- ・ 第一生命保険株式会社
- ・ テレキューブ株式会社
- ・ 東急株式会社
- ・ 学校法人東邦大学
- ・ 日本生命保険相互会社
- ・ 株式会社長谷工コーポレーション
- ・ パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社
- ・ マチノマ大森
- ・ 明治安田生命保険相互会社
- ・ リコー株式会社
- ・ リコージャパン株式会社

### 大田区熱中症対策会議

- 第1回 令和6年6月25日(火)
- 第2回 令和6年11月21日(木)

- **大田区熱中症対策コンソーシアム**に参画している団体で構成される会議を開催。  
今年度の熱中症対策の取組や振り返りなどを共有し、来年度の熱中症対策に向けて、オールおたで取り組んでいくことを確認。

### 会議の様子



#### ■ 苦労した点

行政の意思決定に要する時間が民間よりも遅くスピード感をもった動きがとりにくい。

#### ■ 工夫した点

継続した取組みとしていくため、企業にはビジネスを通じて取り組んでもらっている。

大田区ホームページ

<https://www.city.ota.tokyo.jp/kuseijoho/kouminrenkei/announcement/otakunettyuusoutaisakukonso.html>

# 7. 地域で活躍する団体や企業等との連携

## 事例3. 東京都大田区(2) 産官学(3者連携)による“大田区熱中症対策コンソーシアム”

大田区熱中症対策コンソーシアムの取組みとして、区民に熱中症に関する正しい知識を蓄えてもらうことを狙いとして、医学的な専門知識を有する東邦大学監修のもと、「啓発用ポスター」、「熱中症対策動画」を作成するほか、対象を絞った「熱中症対策講座」を実施することにより、熱中症に強い大田区をめざす。

### 啓発用ポスター

- ▶ 「あつい夏には知恵が効く」を共通のフレーズとして、熱中症に関するミニ知識を入れたポスターを作成(全6種類)



### 熱中症対策動画・講座

- ▶ 視覚的な情報で、区民の熱中症に関する興味・関心を高めるため、熱中症対策動画を作成。

### 区民に向けた啓発



- ▶ 専門医による正しい知識を伝えることを目的として本多満先生(東邦大学医療センター大森病院)による「この夏注意すべき暑さ ~救急医からみた熱中症対策~」を動画として区のYouTubeや東邦大学HPにて公開 <https://www.youtube.com/watch?v=yvnU3BRDrJ8>

- ▶ 大田区と東邦大学が連携して「大田区官学連携人材育成講座」を開催。対象者別に全4回の講座を実施。

### 働く方々に 対象を絞って啓発



### 高齢者を支える方々(福祉・介護従事者)に 対象を絞って啓発



### ミニ知識(全6種類)

- No.1: 「慣れない体は、キケンです。」
- No.2: 「ただしく、早く、浸透してほしい。それは、知識と水分です。」
- No.3: 「家のなか、温室になってませんか？」
- No.4: 「その頭痛、だるさは黄色信号」
- No.5: 「食事と睡眠の暑いカンケイ」
- No.6: 「わたしには、わたしの こどもには、こどもの高齢者には、高齢者の」

# 7. 地域で活躍する団体や企業等との連携

## 事例3. 東京都大田区(3) 産官学(3者連携)による“大田区熱中症対策コンソーシアム”

### 大田区熱中症対策コンソーシアムに参画している民間企業等による取組事例



#### マチノマ大森

熱中症予防に関する正しい知識をひとりでも多くの方に知っていただくことを目的に生活の場である商業施設から情報を発信した。

◀ マチノマ大森内  
デジタルサイネージによる啓発



#### 京急開発株式会社

8月上旬に、BIGFUN平和島夏のイベント「SUMMER FESTA in Heiwajima」を開催。

横浜銀行アイスアリーナで本来廃棄される氷を有効活用した「氷のひろば」を実施し、来場客の顔や身体を冷やすことで、熱中症対策を行った。

◀ 「氷のひろば」のこども用プール



#### 明治安田生命保険相互会社

大田区立おおもり園にて、熱中症についての説明とチラシ・うちわを配布した。

その他、健康チェックイベントや営業活動内で熱中症対策の普及活動を実施した。

◀ おおもり園内  
チラシを用いての説明



#### 日本生命保険相互会社

ベジチェックイベントを開催した際に、熱中症対策についての案内を併せて実施。さらに、健康分野に興味がある企業に向けて熱中症対策について説明を行った。

◀ 訪問先企業にて  
熱中症対策について説明している様子



#### 株式会社きらぼし銀行

大田区内の支店では、入口や目の付きやすい場所にチラシを掲示している。行員が熱中症対策に関する講座を受講し、各支店での接客や営業活動時にお声がけやチラシの配布を行った。

◀ きらぼし銀行 大森支店  
チラシによる啓発



#### 東急株式会社

駅を利用する方々に、熱中症予防を呼びかけることを目的に東急池上線・多摩川線内の計7駅でチラシを配架した。

(配架駅:蒲田、蓮沼、千鳥町、武蔵新田、下丸子、鵜の木、沼部)

◀ 蒲田駅(東急線)  
熱中症対策チラシを配架



#### テレキューブ株式会社

断熱効果のある発泡スチロールを主材料として構成された「テレキャビン」(休憩ブース)をBIGFUN平和島の駐車場に設置、外部で作業をするスタッフの方々に猛暑の時に熱中症対策の休憩室として業務の間に一時的に「涼」を取る場所として一定期間ご利用いただいた。  
※ブース内には、専用エアコンを設置している。

◀ BIG FUN平和島 クーリングシェルターを設置



#### 株式会社長谷工コーポレーション

マンションの建設現場(区内3か所)における仮囲いにて啓発用のポスターを掲示した。区民に啓発するとともに、建設現場で働く方々に向けて、熱中症対策に関する情報発信を行った。

◀ 仲池上建設現場  
熱中症対策ポスターを掲示

## 7. 地域で活躍する団体や企業等との連携

### 事例4. 群馬県(1) ぐんま熱中症予防サポーター企業

- 群馬県では、県の熱中症予防対策に賛同し、熱中症予防啓発活動に積極的に取り組んでいる企業を「ぐんま熱中症予防サポーター企業」として登録するしくみを整備し、令和6年度から開始。5つの企業を登録している(令和7年3月1日現在)。
- 登録した企業について、県は、①県のホームページにおいて企業名、所在地、取組内容の公表、②「ぐんま熱中症予防サポーター(企業)」の名称の使用資格付与、③その他県が必要と認める支援を行う。



#### 群馬ヤクルト販売株式会社

##### 熱中症予防に係る在宅の高齢者等への普及啓発

暑い日には、各家庭を訪問した販売員により、外出を避けエアコン等を使用した涼しい室内で過ごすことや、こまめな水分補給等の呼びかけを行っています。

熱中症警戒アラートが発表された際には、県の情報提供を受け、高齢者や小さいお子さんがいる家庭を中心に、訪問時に直接、熱中症予防を呼びかけています。



#### 大塚製薬株式会社 北関東支店 高崎出張所

##### 熱中症対策の普及啓発

熱中症啓発ポスターの作成・掲示や熱中症対策セミナーの実施を通じ、熱中症対策についての情報発信を行っています。

また、熱中症対策アンバサダー講座の開催により、熱中症についての知識を備えた人材の育成に取り組んでいます。

# 7. 地域で活躍する団体や企業等との連携

## 事例4. 群馬県(2) ぐんま熱中症予防サポーター企業



### 株式会社ファミリーマート 熱中症対策の普及啓発、避難場所の提供

自治体や他企業と連携し、店頭での熱中症予防啓発を行っているほか、店舗を一時的な避難場所として提供しています。

令和6年度は、大塚製薬株式会社、群馬県と連携し、熱中症予防を呼びかける動画の作成と放映、並びにポスター・店頭POPの掲示を行いました。

※県内のファミリーマート49店舗(令和6年5月末時点)において、店内のサイネージで放映。県内全てのファミリーマートにおいて、熱中症予防を呼びかけるポスターと店頭POPを掲示(期間：令和6年7月2日(火)～令和6年7月15日(月)まで)。

### 株式会社クスリのマルエ

#### 熱中症対策の普及啓発、避難場所の提供

熱中症啓発ポスターの掲示や熱中症対策セミナーの実施を通じ、地域の住民へ向けた情報発信を行っています。店舗では、専門知識を有する薬剤師等による啓発活動を行うほか、店舗を一時的な避難場所として提供しています。

### 株式会社ジーシーシー自治体サービス

#### 水道検針業務を活用した県民への熱中症への注意喚起

水道検針業務で利用者宅を訪問した際、こまめな水分補給や、汗を多くかいた時には塩分補給も行うなどの熱中症対策についての呼びかけを行っています。特に、高齢者や子どもに対する呼びかけを強化しています。



▲熱中症予防サポーターカード  
本事業に登録いただいた企業へ配布しています

#### ■ 苦労した点

企業に積極的に登録いただくためのインセンティブとなる県の支援方法や、簡単に申請できる方法を検討しました。本事業に興味を持っていただけのように、県HPや熱中症予防の呼びかけと併せて知事記者会見での周知を行いました。

#### ■ 工夫した点

「県と連携し活動していることをわかりやすく示したい」という登録企業の要望にお応えし、「熱中症予防サポーターカード」を作成・配布しました。QRコードからは、その日の県内の暑さ指数が確認できる仕様になっています。

# 7. 地域で活躍する団体や企業等との連携

## 事例5. 三重県伊勢市 地域包括支援センター×イオン×大塚製薬

●地域の生活者に対し、熱中症の予防・対策を普及啓発していくために、官民で役割分担。



店舗でのセミナー▶



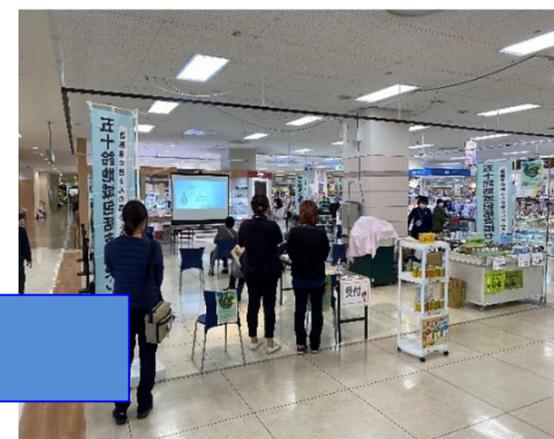
地域包括支援センター

“フレイル予防”や“高齢者の外出動機を創出するためのお買い物+健康づくり”を提案している。



大塚製薬

イオン



▲地域包括支援センター職員への研修、チラシの作成・提供

▲店舗内スペースの無償提供

### ■苦勞した点

事業のスタート時はコロナ禍であり、外出時のマスク着用など「新しい生活様式」のなかでの熱中症対策について、より具体的に伝える必要があった。また、開催にあたっては、椅子の設置や消毒など感染対策に配慮した。

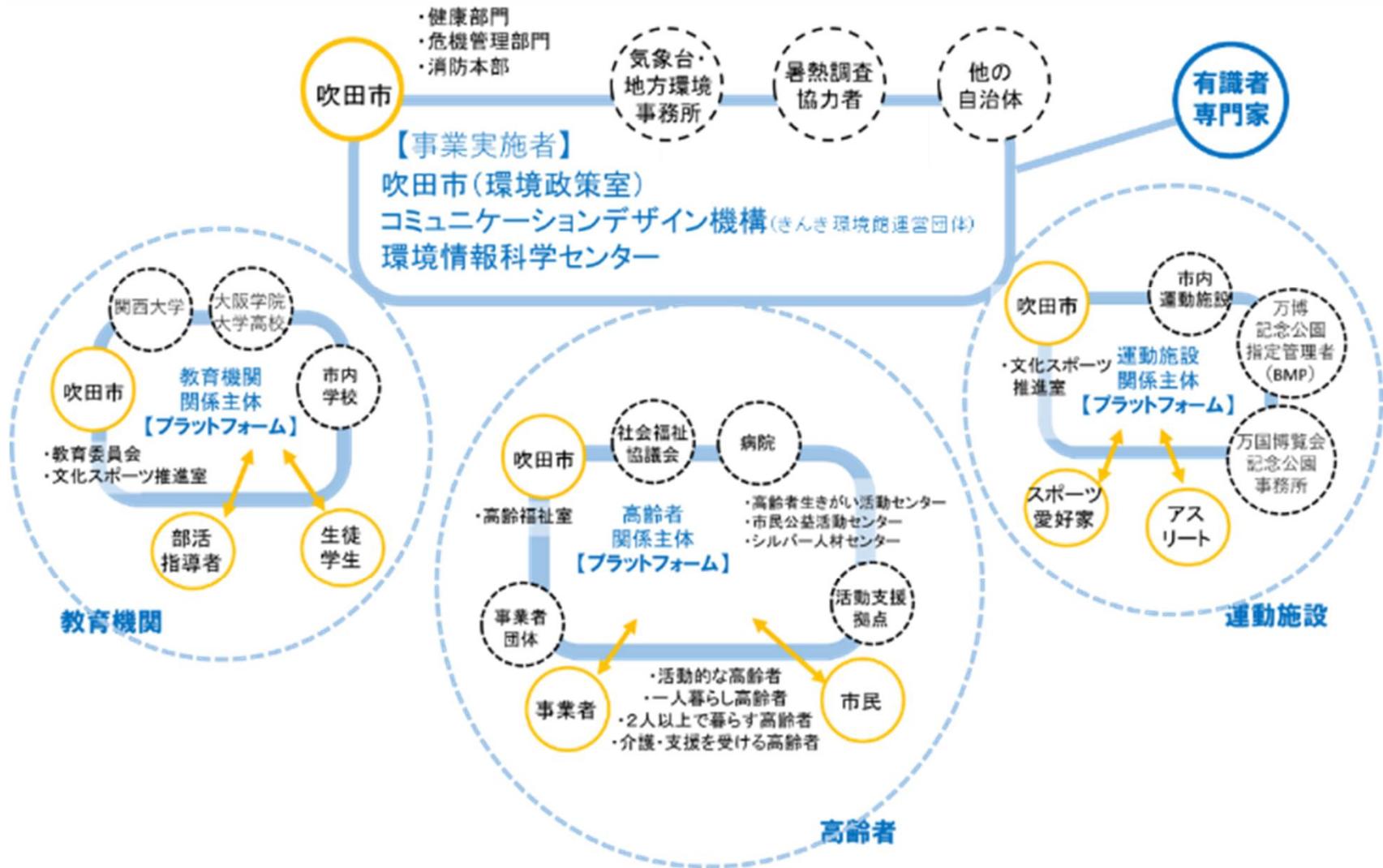
### ■工夫した点

予防対策が地域に浸透するよう、参加者の方からお隣りや身近な方に情報を伝達してもらうことを、講座のなかで繰り返しお願いした。

# 7. 地域で活躍する団体や企業等との連携

## 事例6. 大阪府吹田市 プラットフォームによる組織運営

- 環境政策室が中心となって、熱中症発症者が多い「高齢者」「教育機関」「運動施設」の各関係主体が参画した、3つのプラットフォームで熱中症対策を推進
- 高齢者に直接に接する方への啓発、高齢者支援団体の声かけによる行動促進



# 7. 地域で活躍する団体や企業等との連携

## 事例7. 兵庫県加古川市(消防本部) お弁当宅配事業者との連携

- 65歳以上の高齢者を対象に、見守りサービスとして、手渡して弁当を宅配している高齢者向け弁当宅配事業者と連携し、約1,300名の方々に対してお弁当と一緒に夏場は熱中症予防啓発チラシ、冬場はヒートショック予防啓発チラシ等を配布。



・配達時に高齢者の体調を把握できる

(表)

**防ごう! 熱中症**  
熱中症対策4つのポイント

- ①無理をせず暑さを選ける
- ②こまめな水分・電解質補給
- ③エアコンの使用・こまめな換気
- ④暑さに備えたカラダづくり (適度な運動・十分な睡眠)

加古川市消防本部 × Otsuka 大塚製薬

▲配布チラシ

(裏)

**! 高齢者は特に注意が必要です**

1 体内の水分が不足しがちです  
高齢者は若年者よりも体内の水分量が少なく、体の老廃物を排出する際にたくさんの尿を必要とします。

2 暑さに対する感覚機能が低下しています  
加齢により、暑さやのどの渇きに対する感覚が鈍くなります。

3 暑さに対する体の調節機能が低下します  
高齢者は体が熱がたまりやすく、暑い時には若年者よりも循環器系への負担が大きくなります。

● 東京都23区における熱中症死亡者の状況(令和2年度)  
※200人(速報値)のうち

約9割は65歳以上の高齢者  
約9割は屋内  
屋内での死亡者のうち約9割はエアコンを使用していなかった

予防法ができていないかをチェックしましょう

- エアコン・扇風機を上手に使用している
- 部屋の温湿度を測っている
- 部屋の風通しを良くしている
- 必要に応じてマスクをはずしている
- こまめに水分補給をしている
- シャワーやタオルで体を冷やす
- 暑い時は無理をしない
- 涼しい服装をしている
- 涼しい場所・施設を利用する
- 緊急時・困った時の連絡先を確認している

MEMO  
緊急連絡先  
0500 0000  
0500 0000  
0500 0000  
0500 0000

加古川市消防本部 問合せ 079 (427) 6552

### ■工夫した点

取組の開始にあたり、市の**社会福祉協議会**が保有している弁当宅配事業者リストやwebサイトの検索によって該当する事業者を絞り込み、電話で協力を依頼した。当初6事業者(のち7事業者)が参画し、約1,500人に対して配布した。  
また、見守り活動であるため、連携する事業者は**必ず手渡して配達する事業者のみ**を選定している。

※令和4、5年度のヒアリングによる

# 7. 地域で活躍する団体や企業等との連携

## 事例8. 広島県府中市 宅配サービス事業者との連携

- ひとり暮らし高齢者向けの牛乳配達、宅食サービス企業等に協力して頂き、チラシの配布などにより冷房の利用や水分摂取などと呼びかける。
- チラシは市の保健師が監修して作成

- 実施時期：7月～10月の期間
- 協力事業者名：府中家具給食組合、料理天国やまもと、山根商店、桑木給食(株)、(有)明治宅配センター府中
- 配布枚数：約3,500部

### 室内でも発症する熱中症

# 熱中症を予防しよう！

熱中症は、高温多湿な環境に長時間いることで、“体に熱がこもった状態”のことを指します。熱中症は屋外だけではなく、室内でも発症します。予防のための正しい知識を知り、熱中症を防ぎましょう。

府中市広報キャラクター  
大夢楽 咲燈  
(おおのら さき)

#### ◎熱中症の症状

軽度	めまい・失神、大量に汗をかく 手足のしびれ
中度	頭痛、吐き気、体がだるい 力が入らない
△ 重度	呼びかけに反応しない、けいれん、 体が熱い

#### ◎予防のための3つのポイント

- のどが乾く前に  
こまめな水分補給！
- 気分が悪くなる前に  
こまめに休憩！
- 帽子や日傘で  
直射日光を避けましょう！

応急処置をしても症状が改善しない場合は医療機関を受診しましょう  
呼びかけに応じない、自力で水分を摂取できない時はためらわずに救急車を呼びましょう

応急処置については裏面へ  
問い合わせ先  
府中市健康推進課 ☎0847-47-1310

### 熱中症の予防・対策

熱中症は正しい予防方法を知り、暑さから身を守ることで防ぐことができます。例えば、初夏や梅雨明け・連休明けなど、体が暑さに慣れていないのに気温が急上昇するときは特に危険です。無理せず、徐々に暑さを慣らすようにしましょう。

#### 1 シーズンを通して、暑さに負けない体づくりを続けよう

#### 2 特に注意が必要なシーンや場所では、暑さから身を守るアクションを

#### 3 日々の生活の中で、暑さに対する工夫をしよう

#### 応急処置

救急車を待っているあいだにも、現場で応急処置をすることで症状の悪化を防ぐことができます。熱中症は急に悪化する危険な症状です。早く対処してはいけません。

#### 1 涼しい場所へ移動しましょう

クーラーが効いた室内や車内に移動しましょう。近くにそのような場所がない場合は、風通りの良い日かげに移動し安静にしましょう。

#### 2 衣服を脱ぎ、体を冷やして体温を下げましょう

家や保冷剤で両側の首筋やわき、足の付け根などを冷やします。応じて水をかけて、うちわや扇子などで体を冷やすことができます。

#### 3 塩分や水分を補給しましょう

おう吐の症状が出ていたり意識がない場合は、喉に水分が入り難いので、水と塩を混ぜて飲むのがおすすめです。

カフェインやアルコールは控える

出典：熱中症ゼロへー日本気象協会推進-みんなので予防！熱中症対策シート一部改変

#### クーリングシェルターも利用しましょう！

クーリングシェルターとは、危険な暑さから避難できる場所として冷房設備を完備している施設などで市が指定した施設のことをいいます。熱中症特別警戒アラートの発表期間中は開放します。クーリングシェルターも利用して、熱中症から身を守る行動をとります。施設の場所や開放時間などは府中市ホームページなどで確認してください。

このマークが目印です。 府中市内のクーリングシェルター(府中市HP) 熱中症予防情報サイト(連携者HP)

# 7. 地域で活躍する団体や企業等との連携

## 事例9. 新潟県南魚沼市 移動販売車による買い物弱者支援事業

- 移動販売の事業者と連携して、買い物弱者支援事業の主な利用者である熱中症リスクが高い高齢者へ7～8月にかけて、熱中症警戒アラート等に関する熱中症予防啓発チラシの配布を実施。
- 大手コンビニチェーンと地元スーパーマーケットの共同事業



### ▲ 移動販売車

上田地区内において、月～金曜日の10～17時の間に実施した。

### ■ 苦労した点

移動販売車事業導入の初年度であったことから、事業者との連携がスムーズにいかないところもあり、予防啓発活動がチラシの配布に限られた。

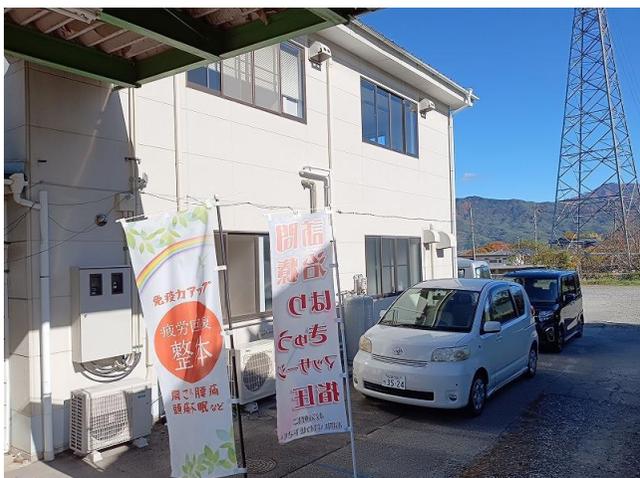
### ■ 工夫した点

熱中症予防対策につながる声かけを移動販売車スタッフから利用者に行ってもらおうよう市担当から何度か声かけを行った。

# 7. 地域で活躍する団体や企業等との連携

## 事例10. 長野県駒ヶ根市 「ななや整体」による熱中症予防サービス

- 「ななや合同会社」は長野県駒ヶ根市で①高齢者向け**配食サービス**、②保険適用の**訪問医療マッサージ**、③保険適用外の**訪問整体等**の事業を行っている。(※①、②はフランチャイジーとしての事業)
- このうち、③訪問整体等を行う「ななや整体」では、施術の際に、身体の様子だけでなく部屋の温湿度の状況(換気やエアコン等の確認)を確認し、本人へは水分補給、食事等についてもアドバイスをを行っている。また、**熱中症予防グッズ**を携帯しており、異変があればすぐに担当ケアマネやご家族への報告を密に行うようにしている。
- 事業上つながりが深い①配食サービス、②訪問医療マッサージの担当者も熱中症予防グッズを携帯。「ななや合同会社」全体として情報共有や対応の共通化・標準化を図っている。



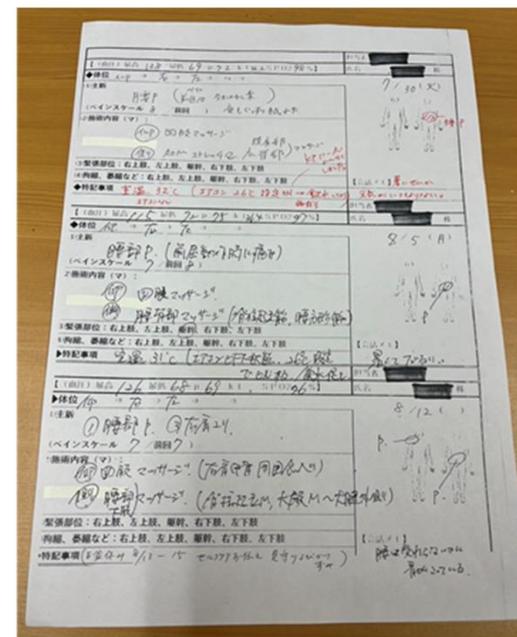
▲ななや合同会社(全景)

配食サービス、訪問医療マッサージ、訪問整体の各事業の拠点。駒ヶ根市、飯島町及び宮田村をカバーしている。



▲熱中症予防グッズ

温湿度計、塩タブレット、ゼリー、経口補水液、冷却シート、消毒用アルコール、パルスオキシメーター、血圧計などを携帯。



申し送り様式▶

### ■苦勞した点

開業当初ゼロの状態から、コツコツと丁寧に行政や居宅事務所とやりとりをし、実績を逐一「報連相」したことで信頼が寄せられるようになり、たくさんの仕事を頂けるようになりました。

### ■工夫した点

この地域では「緊急医療情報キット」が比較的広く普及しているが、高齢者の個人情報古いままになっていることも多いため、更新を促すことも。

## 緊急医療情報キット

- 高齢者や障がい者などの安全・安心を確保することを目的に、**氏名、年齢、かかりつけ医、病歴、緊急連絡先、健康保険証やお薬手帳などの情報を専用の容器に入れ、自宅(特に冷蔵庫)に保管しておくことで万一の救急時に備えるもの。**
- 自治体によっては、高齢者を担当する部署、地域包括支援センターや社会福祉協議会などで独居高齢者などの対象者に配布したり、キットを手作りするためのツールを提供しているところもある。

ボトル内部の情報記載用紙等を水分から守るため、密閉性のあるネジ蓋形式

停電時にも懐中電灯などの光を反射する「**反射シート**」や、「**蓄光シート**」が貼られていることが多い。



緊急医療情報キットが冷蔵庫にあることを救急隊員に知らせるためのロゴマーク(シール)。

- ①キットを保管する冷蔵庫の扉の外側
- ②玄関ドアの内側上部  
(玄関ドアの外側には貼らない)

## 緊急医療情報キット

### ボトル内部に収める救急情報



いったん作成しても、状況が変わることもあるので定期的に内容の見直しや更新が必要。

(医療情報記録用紙)

平成 年 月 日作成  
平成 年 月 日変更

### 救急情報

ふりがな		血液型		
本人氏名		型Rh( )・不明		
生年月日	(明・大・昭・平) 年 月 日	性別	男	女
住所		電話		

### 医療情報

かかりつけ病院	①	②
科目・担当医		
住所		
電話		
かかっている病気		
服薬内容		
特記事項 (アレルギーなど)		

### 救急連絡先

氏名	①	②
続柄		
住所		
電話	(日中) (夜間)	(日中) (夜間)

支援事業者	
担当者	
住所	電話

救急隊員への伝言・その他
--------------

容器内の情報は、救急隊と搬送先の医療機関が、救急医療に活用することに同意します。

本人氏名 \_\_\_\_\_ 印鑑又はサイン

※ 記入方法は裏面を参照下さい。

### 記入の仕方、注意事項

#### 《ご本人情報について》

生年月日：年については西暦、または該当する年号を○で囲み、ご記入ください。  
血液型：お調べになったことがない等、わからない場合は「不明」を○で囲んでください。

#### 《医療情報について》

かかりつけ医療機関名欄の連絡先は、正確に間違いのないよう記入してください。  
医療機関名は、2カ所記入できますが、身体状況をよく把握している医療機関を優先してご記入ください。

#### 持病・服薬内容：

薬剤情報提供書の写し・くすり手帳の写し・薬袋などを入れることで代えてください。

#### 特記事項：

特定の病院でしか対応できない特殊な疾病がある場合など、病院との決めごとを記入してください。

#### 《緊急連絡先について》

3人以上いる場合は、ご自身の状況を把握している方を優先してご記入ください。

緊急連絡先氏名：ご家族以外の方でも構いません。

連絡先：日中と夜間の連絡電話番号を記入ください。

支援事業者：ケアマネージャーに確認し、電話番号と担当者も必ずご記入ください。

#### 《その他欄について》 (記入例)

- ・救急隊員に注意して欲しいこと(搬送時など)
- ・緊急連絡先について補足事項(夜間に電話をかけられるのは誰か、など)
- ・その他緊急時に役立つと思われること

#### 《同意欄について》

内容をよく読み、同意いただいた上で、必ずご自身で苗字とお名前すべてをご記入ください。  
ご本人の印鑑を押印してください。印鑑をお持ちでない方はサインをお願いいたします。

#### 《医療機関へのお願い》

支援事業者欄は、退院等にもなうケアプランなどの変更等で、ご本人や親族が連絡できない場合にご活用をお願いします。

- ※ 救急情報に変更があったときには、必ず内容を書き換えてください。  
(変更した日付を右上の欄に記入してください。)

問い合わせ連絡先：

## 8. さまざまな熱中症対策の取組事例



熱中症警戒アラート  
をチェック!



見守り・声かけ!



適切にエアコン  
を使おう!



こまめに水分・塩分  
を補給!

# 8. さまざまな熱中症対策の取組事例

## 事例1. 滋賀県長浜市 エアコンの購入・設置、修理への補助

- 対象者は、65歳以上の高齢者で、現に居住する住宅に**エアコンが1台もない**、又は**使用できるエアコンが1台もない者**
- **新品のエアコン購入と設置**(本体購入費+標準工事費)に**かかる費用**、もしくは**修理費用**が対象
- 上限5万円の範囲で、実費分を補助

配布チラシ  
(表面)

ご自宅に使用できるエアコンがない高齢者の方に 令和5年度

### エアコン設置費用を補助します！

最大 **50,000 円**

5月10日(水)から受付開始

熱中症による事故を未然に防ぐため、自宅に使用できるエアコンが1台もない高齢者を対象に、購入または修理にかかる費用の一部を補助します。  
設置・修理前に申請が必要です。  
※予算の上限に達し次第、受付を終了します。

**対象者** ※以下のすべてを満たす方

- 長浜市内にお住まいの65歳以上の方 (令和5年度中に65歳になる方を含む)
- 同じ世帯の全員が市税、介護保険料、国民健康保険料及び後期高齢者医療保険料を完納している
- ご自宅内に使用できるエアコンが1台もない (故障により使用できるエアコンが1台もない場合も含みます)
- 賃貸住宅等にお住まいの場合、所有者からエアコンの設置または修理の同意を得ている

**助成内容**

エアコンの購入及び設置または修理にかかる費用 最大50,000円  
※助成は、1世帯につき1回1台限り、かつ、1家庭につき1回1台限りです。  
※エアコンは高齢者の居室または寝室に設置してください。

2台目まで/10万円まで補助、という自治体も

**高齢者の熱中症予防につながる場所が対象**

- ・ 高齢者の居室、寝室:補助対象
- ・ こども、孫の居室、客間等
- ・ 高齢者が普段過ごさない部屋:補助対象外

※令和5年度のヒアリングによる

(裏面)

補助金を受け取るまでの流れ

- 1. 市に申請をする**  
エアコンの設置・修理前に、以下の書類を長寿推進課まで、提出してください。  
①申請書  
②見積書  
-業者から対象者宛てに発行されたもの  
-品番、型番、本体価格、設置費用、修理費用等の内訳が書かれているもの  
③写真2枚  
-エアコンの室内機と室外機の設置予定箇所の写真  
④(賃貸住宅等にお住まいの場合)賃貸住宅等の所有者の同意書(様式第2号)  
※①④の様式は市ホームページからダウンロード出来ます。
- 2. 業者に設置・修理をしてもらい、費用を支払う** → 市内店舗からの購入・設置、修理に限定するケースも
- 3. 市に実績報告と補助金を請求する**  
エアコンを設置したことが分かる写真や、領収書の写しを提出してください。

**補助金の代理受領制度について**

市から支払われる補助金を、申請者に代わって、業者が受け取ることができる制度です。市から直接、業者へ補助金が支払われることで、申請者は自己負担分の金額のみを用意すればよく、エアコン設置費用の全額を用意しなくて済みます。希望される場合は、申請前に別紙「代理受領制度のご案内」を業者に見せて、相談してください。  
※代理受領に対応されるかは、業者毎の判断となります。

**よくあるご質問**

- ①申請前に購入・設置したが対象になるか? → 事前申請が必要となります
- ②購入するエアコンは、中古品でも良いか? → 新品に限ります。
- ③スポットクーラーは対象になるか? → 対象外です。壁や窓枠に設置し固定するエアコンが対象です。
- ④高齢者が上がらない2階には使用できるエアコンがあるが、対象になるか? → 「自宅に使用できるエアコンが1台もない」に該当しませんので、対象外です。

必要に応じて、市職員がご自宅を訪問し、現場を確認します。

市内店舗からの購入・設置、修理に限定するケースも

請求などの事務手続きを店舗に代行してもらう仕組みも

## 8. さまざまな熱中症対策の取組事例

### 事例2. 愛媛県宇和島市 避難所・自宅避難者への訪問

●平成30(2018)年7月に発生した豪雨災害時の**避難所への避難者**及び**自宅避難者**を保健師や栄養士が訪問、熱中症対策を行った。

#### <避難所での取組み>

熱中症予防のポスター掲示やリーフレット配布等で注意喚起を行うだけではなく、熱中症リスクの高い人の把握、エアコンの使用、飲料水の確保等、関係機関と連携して環境整備や支援物資の提供を実施した。

#### <自宅避難者への取組み>

上記の取組のほか、特に乳幼児や高齢者がいる家庭についてはエアコンの使用状況等の家庭内の環境確認も実施した。



宇和島市「平成30年7月豪雨 宇和島市災害記録誌」

<https://www.city.uwajima.ehime.jp/site/gou201807/h30gouu-saigaikirokushi.html>

#### ■ 苦労した点

- ・エアコンの有無や断水の継続等、各避難所に応じた支援が求められた。
- ・個人の努力では解決できないものもあり、避難所に係る関係者との十分な連携が必要だった。

#### ■ 工夫した点

- ・避難所への巡回を輪番で従事することとしたため、様式を統一し、引継ぎが円滑に行えるようにした。また特にリスクの高い方などは個別の引継ぎを行った。
- ・昼間は不在者が多かったため、受援の看護師を活用し、夕方から夜間の対応を依頼した。

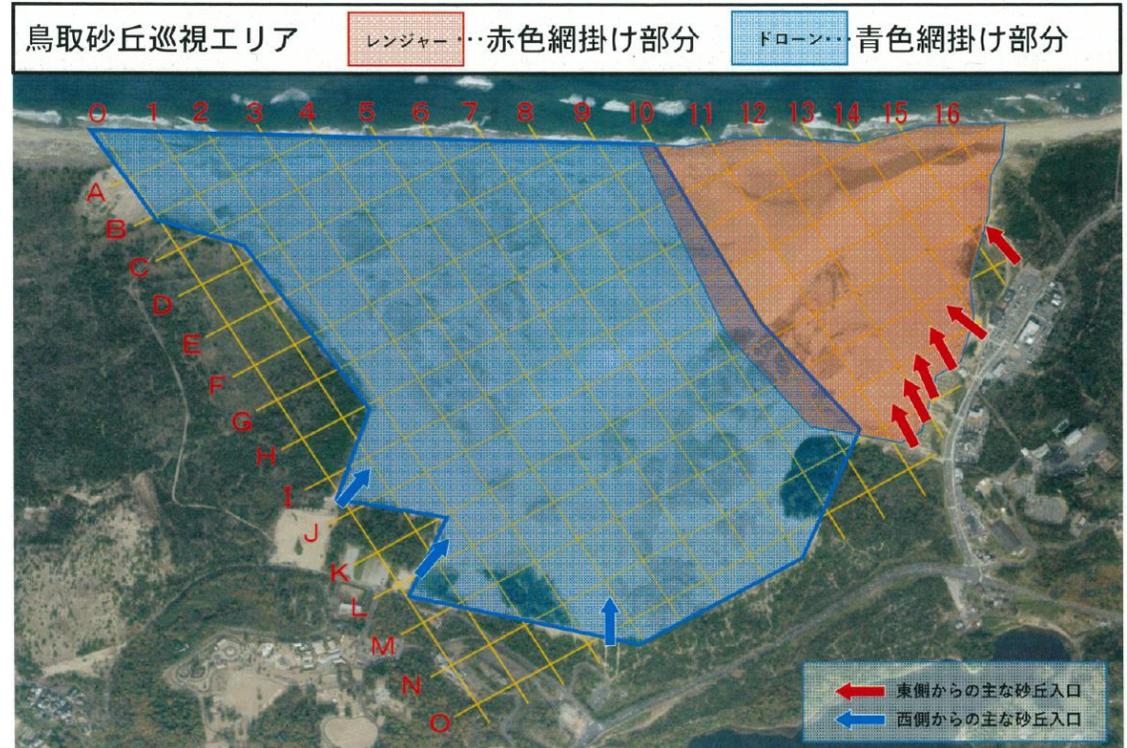
## 8. さまざまな熱中症対策の取組事例

### 事例3. 鳥取県 ドローンを活用した巡視

- 広大で入場管理ができない観光地であり、**ドローンを活用した巡視**を行う。起伏が激しくレンジャーの目が行き届かない場所での熱中症患者発見、禁止行為の監視などに大きく寄与。



▲砂丘東側からの景観



▲ドローン巡視エリア(西側青色網掛け部分)

#### ■ 苦労した点

ドローン巡視は、当初県職員2名体制で実施(動画確認と操作)していたが、人員に限られるなか、救急対応など他の業務もあり、ドローン巡視実施に時間を取られていた(1回/1時間)。さらに、操作が免許制に移行するなど、異動のある県職員によるドローンの取扱いが難しくなった。

#### ■ 工夫した点

目の行き届きにくい西側を中心に令和5年よりドローン巡視を外部委託した。7~9月の土日祝日とお盆に必ず巡視(6回/日(10:00~16:00))している。その他、人の出入りが多い暑い日など、別途依頼すると、30分後には対応してもらえる体制で運営している。

体調不良者を発見したら無線で情報共有、砂丘レンジャー等が経口補水液、保冷剤・濡れタオルなど携帯して救助に向かう。

## 8. さまざまな熱中症対策の取組事例

### 事例4. 東京都渋谷区 小学校での暑さの「見える化」

- 区内小学校にWBGTセンサー、大型パネルを設置。熱中症予防や対策を普及・啓発する教材も作成し、児童自身が熱中症対策とリスクを認識し、自主的な予防行動を習慣化することを促す。
- クールスポットとして**屋外型エアコン**を設置、児童が安心して外で活動できる環境を整える。
- 現地データを小学校(校長先生、副校長先生)、教育委員会にも迅速に共有。



▲校庭への出入口に設置された大型パネルとその表示例



ねっちょうしょう まな **熱中症** を学ぼう!

2024年 7月 1日

DAIKIN 株式会社 オーク情報システム

熱中症は どんなときになるの?

- 1 気温と湿度がたかいとき
- 2 急に暑くなったとき
- 3 すいみん不足で体調がわるかったとき
- 4 体に水分が足りなかったとき
- 5 暑い中、長時間、外にいたとき

熱中症になったとき どうなるの?

- さむけがする
- めまいがする
- はきけがする
- 頭がいたい
- 手足がしびれる

▲熱中症予防や対策を普及・啓発する児童向けの教材

◀屋外型エアコン

#### ■工夫した点

大型パネルに顔のイラスト(「しろまるくん」)を表示することで、児童が具体的な基準を理解でき、熱中症予防行動を身につけられるようにした。また、イラストを多用した教材を制作し、7月1日の全校朝礼にて熱中症対策について講習会を開催した。

## 8. さまざまな熱中症対策の取組事例

### 事例5. 静岡県焼津市 小中学校での熱中症対策

- 静岡県焼津市では、児童・生徒が活動する際の熱中症対策として小中学校のグラウンド等に**ミストシャワー**を設置している。
- 登下校時の熱中症対策として、**クールタオル**、**ランドセル背あてパッド**を小学校1～6年生を対象に配布し、登校後は教室の冷凍庫に保冷剤を保管し、下校時も背あてパッドを使用できるように工夫している。
- 焼津市内の全小中学校の校舎(教室)に空調設備を設置済。令和6年度は焼津市内の全中学校の体育館への空調設備の設置が完了し、令和7年度中に焼津市内の全小学校の体育館への空調設備設置を目指す。  
※設置完了までの経過措置としてスポットクーラーを使用。



#### ▲ミストシャワーの設置

児童が校庭で活動する際の出入口となる場所にミストシャワーを設置。校庭活動中の冷却に活用している。



#### ▲ランドセル背あてパッド

登校時は自宅で冷却した保冷剤を装着し、下校時は各教室に1台(高学年は学年に1台)設置された冷凍庫で授業中に冷却した保冷剤を装着する。



#### ▲クールタオルケース

ランドセルに専用ケースにいれたクールタオルを取り付けた。クールタオルを水に濡らして首に巻き児童の体温を冷まし、登下校中の熱中症の発生を予防した。

#### ■苦勞した点

真夏日や猛暑日に屋内外のスポーツ施設を利用する方は、「夏は暑いもの」という前提で利用されている傾向が強く、熱中症対策の必要性が伝わりにくいため、きっかけづくりに苦勞した。

#### ■工夫した点

登下校中の熱中症対策だけでなく、体育館に温度計や救急対応フローの掲示をしたり、廊下に児童が自らWBGTを見て行動できるような掲示をするなど、自主的に予防ができるようにした。

# 8. さまざまな熱中症対策の取組事例

## 事例6. 新潟県南魚沼市 運動後の選手の熱中症予防

- 1年の中で特に気温が高い10日間(7月29日～8月7日)に長岡技術科学大学と連携し、運動公園の一般利用者及び中体連、高体連の大会参加者へ熱中症予防の普及啓発を実施。
- 雪の冷熱を利用した**クールダウンスポット**を常設し、**スノーパック**を配布して運動後の選手等の熱中症予防に寄与。



### ▲ 雪冷熱によるクールダウンスポット

熱中症の発生を抑制させるため、雪の冷熱を利用した冷房により室内を冷やしたテントを常設することで、運動後の選手等がクールダウンに活用した。

テント内に雪を利用した空調装置を4台設置し冷却した。空調装置1台あたり500kgの雪を1つのフレコンバッグに詰め、雪冷熱による冷風をホースを通してテント内への供給を行った。

### ▶ スノーパックによるクールダウン

クールダウンスポットの横で常時スノーパックを配布した。パックには熱中症警戒アラートのメール登録を促すQRコードを印刷している。



### ■ 苦労した点

真夏日や猛暑日に屋内外のスポーツ施設を利用する方は、「夏は暑いもの」という前提で利用されている傾向が強く、熱中症対策の必要性が伝わりにくいため、きっかけづくりに苦労した。

### ■ 工夫した点

熱中症対策の必要性を伝えるきっかけとして、雪を利用した取組を行ったが、スノーパックの配布は「映え」効果があり、利用者が利用者を呼んで普及啓発に役立った。

## 8. さまざまな熱中症対策の取組事例

### 事例7. 長崎県長崎市 式典(イベント)での熱中症対策

- 被爆77周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典(令和4(2022)年8月9日)において、下記のような熱中症予防対策を行った。

#### <式典での取組>

- ① テントの設置
- ② 座席を概ね1 m間隔で設置
- ③ 冷たいおしぼり、水、塩分補給タブレットの配布
- ④ ミストシャワー設置(6基)
- ⑤ ミスト扇風機の設置(12基)
- ⑥ 救護所の設置(2か所:それぞれ医師、看護師1名ずつ配置)
- ⑦ 保健師が式典会場を巡回、体調不良者に対する初期対応を実施
- ⑧ 救急車を1台待機、救急搬送に備える
- ⑨ 祈念像裏外周部に、スタッフ用の日除けメッシュを設置
- ⑩ 会場内の着席時には、適宜マスクを外していただくよう周知



▲式典の様子

#### ■ 苦労した点

限られたスペースに多くの参列者が参加するため、参列者同士が接触しない席の配置の検証に時間を要した。

#### ■ 工夫した点

真夏に屋外で実施するため、多くの日陰を作りだせるようテントや日除けメッシュを活用し、また、会場内に風が通りやすいような座席の配置とした。

# 8. さまざまな熱中症対策の取組事例

## 事例8. 神奈川県横浜市 南消防団外国人防災指導チームによる多言語での熱中症予防啓発

- 外国人登録人口の多い地域特性を踏まえ、横浜市南消防署では令和3年4月に市内で初めて発足した南消防団外国人防災指導チームと連携して多言語(日本語、中国語、韓国語、英語の4か国語)による熱中症予防広報を横浜橋通商店街で行っている。
- 商店街の協力で横断幕、バナー(広告旗)を製作。ポスターや放送設備を活用し買い物客や外国籍経営者へ啓発した。空き店舗を活用した休憩所も開設し予防対策を学ぶ動画を放映、“熱中症は防げる”ことを周知した。



◀外国人に対する防災指導や災害時における避難誘導などを行うことを目的として、南消防団に「外国人防災指導チーム」が発足(令和3年4月)



◀商店街の空き店舗に開設した休憩所では、熱中症予防の啓発動画を視聴してもらうほか、麦茶も振舞った。

キャンペーン当日は、商店街の街頭で多言語(日本語、中国語、韓国語、英語)によるアナウンスを行った。

多言語アナウンスは、南区庁舎内でも夏季期間(6~9月)放送されている。



南消防署員(右)が訪れた人に「横浜マイボトルスポット\*」を説明。マイボトルを持ち歩く「エコロジーの取組」と「熱中症予防のこまめな水分補給」を組み合わせた広報を実施した▶

\*横浜マイボトルスポット:  
マイボトル等を持参した市民等に対し飲み物を販売し、又は無料で提供する店舗、事業所、施設等



### ■ 苦労した点

熱中症について、外国籍の方にわかりやすく伝えるための表現を検討した点

### ■ 工夫した点

熱中症予防はテレビ等でも報道されており、高齢者は聞き飽きていることも多く、発生要因と対策とをセットで伝えたり、エコロジーなど他の取組と絡めて伝えたりして、関心をもたせるようにした点。

## 8. さまざまな熱中症対策の取組事例

### 事例9. 東京都 Tokyowater Drinking Station

- 東京都水道局では、公共性の高い場所に設置されている水飲栓及びイベントの際に水道局が設置する移動型水飲栓を**Tokyowater Drinking Station**(以下“DS”)として展開。
- DSにより水道水の飲用促進、またそれを通じた環境配慮行動の促進を図る。
- DSは**都内に約900か所**(令和7年2月現在)。まちなかでの水分補給にも役立てることができる。



DS 飲み口型水飲栓



DS ボトルディスペンサー型水飲栓



▲ホームページではマップの他、区市町村別のDSリストも公開。

東京都水道局 Tokyowater Drinking Station [https://www.waterworks.metro.tokyo.lg.jp/kurashi/drinking\\_station/](https://www.waterworks.metro.tokyo.lg.jp/kurashi/drinking_station/)

#### ■ 伝えたいこと

熱中症対策には、水分、塩分補給が大切です。

都内には、冷たい水道水を飲むことができる水飲み栓が約900か所ありますので、ぜひ、マイボトルを持ち歩いて、外出先での水分補給にお役立ていただければと思います。

## 9. 部局ごとの熱中症対策の取組事例



熱中症警戒アラート  
をチェック!



見守り・声かけ!



適切にエアコン  
を使おう!



こまめに水分・塩分  
を補給!

## 9. 部局ごとの熱中症対策の取組事例

### 事例1. 保健、健康、福祉などの部局による事例

#### ● 指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)の運営

- ・ のぼり、チラシ・リーフレットやポスターなどの準備  
ホームページ、SNS、広報紙、デジタルサイネージ等を通じた普及・啓発
- ※保健・健康・福祉部局だけではなく、**環境部局**が運営することも多い。

#### ● 庁内における連携や調整を行う会議のとりまとめ・事務局

- ・ 熱中症はさまざまな部局にまたがるトピックであることから、庁内における連携や調整を行う会議のとりまとめや事務局業務

#### ● 保健師による、高齢者の集まるイベント、場所での普及・啓発

- ・ 老人クラブ、シルバー人材センター、交流サロン、いこいの家、体操教室、健康教室  
…などの場でチラシ・リーフレットその他、うちわや簡易な温度計などを配布
- ・ 水分・適度な塩分の補給のすすめ
- ・ 適度な運動のすすめ

#### ● 民生委員・児童委員、社会福祉協議会による訪問(見守り・声かけ)

#### ● ケアマネージャー、ヘルパーへの説明資材、グッズの提供

## 9. 部局ごとの熱中症対策の取組事例

### 事例1. 保健、健康、福祉などの部局による事例

- **保健師による、母子(乳幼児など)の集まるイベント、場所での普及・啓発**
    - ・ 乳幼児健診、定期健診、子育てサロンや保育所、児童館…などの場でチラシ・リーフレットの他、ティッシュ、うちわや簡易な温度計などを配布
  - **宅配サービス事業者との連携**
    - ・ 高齢者の自宅へ直接訪問する宅配サービス事業者(牛乳、乳製品、お弁当、巡回販売、郵便、保険、電気・ガス、水道検診など) による見守り、声かけ
  - **エアコンの新規購入・設置や修理への助成**
    - ・ たとえば高齢者のみの世帯(※独居を含む)、障害者世帯かつ住民税非課税世帯で、かつ省エネ基準達成率●%以上、地元の業者からの購入…などの条件をつけて、購入金額の●%(最大●万円まで)助成。
- ☞ 応募条件をシビアにした場合「対象者がいない」「購入費用が高額になり過ぎる」というケースが考えられ、利用が伸びないこともある。

## 9. 部局ごとの熱中症対策の取組事例

### 事例2. 環境、温暖化対策、脱炭素などの部局による事例

#### ● 指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)の運営、マッピング

・ のぼり、チラシやポスターなどの準備

ホームページ、SNS、広報紙、デジタルサイネージ等を通じた普及・啓発

※環境部局だけではなく、**保健・健康・福祉部局**が運営することも多い。

#### ● 庁内における連携や調整を行う会議のとりまとめ・事務局

・ 熱中症はさまざまな部局にまたがるトピックであることから、庁内における連携や調整を行う会議のとりまとめや事務局業務

#### ● 環境イベントの開催

・ 観光イベント、ファーマーズマーケット、消費者フェアやリサイクル市など、複合的なイベントのうちのひとつのプログラムとして開催

- チラシ・リーフレットの他、ティッシュ、うちわや簡易な温度計などを配布
- 民間商業施設、スーパーマーケット等とのキャンペーン実施
- スタンプラリー
- 絵画や俳句のコンテスト
- 日傘体験

## 9. 部局ごとの熱中症対策の取組事例

### 事例2. 環境、温暖化対策、脱炭素などの部局による事例

- **暑さ指数(WBGT)測定データ空白域での独自調査**
  - ・ 熱中症予防情報サイト上で、暑さ指数(WBGT)の測定がされていない県内自治体や地域を訪問、調査。
- **暑さ指数(WBGT)測定データが高い(低い)地域での独自調査**
  - ・ 熱中症予防情報サイト上で、暑さ指数(WBGT)の測定結果が高く(低く)表示されることが多い県内自治体や地域を訪問、調査。
- **県内の公園や海水浴場での独自調査**
  - ・ 夏季にひとが集まる地点で、暑さ指数(WBGT)の測定。
- **アメダス空白域での温度・湿度の独自調査**
  - ・ 小学校等の百葉箱に温度計・湿度計を設置、データを確認しやすいようにシステム化
- **高齢者宅での室内環境測定に、自治体職員OB・OGを活用**
  - ・ もともとと同じ自治体の職員だったOB・OGに室内環境(温度、湿度などのデータ)の他、周囲の地形・地理、築年数、日当たり(方角、窓)などの調査への協力を依頼。
- 扇風機、ミストファン等の貸し出し

# 9. 部局ごとの熱中症対策の取組事例

## 事例2. 環境、温暖化対策、脱炭素などの部局による事例

### ●小学生・中学生向け出前講座・体験講座

- ・学校まで出向き、エアコンの効いた室内、屋外の日陰、日なたなどでWBGT計を使って実測。測定データをもとに、熱中症への注意喚起や対策の普及啓発を実施。

### ●おとな向け出前講座・セミナー

- ・気候変動や「緩和と適応」などのテーマで実施。研究所の場合には成果の発表も。

## 9. 部局ごとの熱中症対策の取組事例

### 事例3. 消防本部、消防署による事例

#### ●消防車両等での広報

- ・車両へのマグネット貼りつけ、救急出動の帰路に広報といった取組

#### ●消防訓練、救命講習会、応急手当講習時の普及・啓発

- ・リーフレットの配布
- ・展示
- ・講話：救急現場、熱中症の症状や対応など「実際に現場で起きていること」を伝える

#### ●ホームページ、SNSや、庁舎におけるデジタルサイネージ等での普及・啓発

- ・熱中症の救急搬送状況を掲載
- ・普及・啓発動画
- ・リーフレット
- ・ポスター

#### ●プロスポーツチーム等との連携

- ・試合中のオーロラビジョンで普及・啓発動画の放映
- ・大型商業施設等の広報ビジョンで普及・啓発動画の放映
- ・リーフレットなどの配布

#### ●イベント開催

- ・イベントにあわせた普及・啓発

## 9. 部局ごとの熱中症対策の取組事例

### 事例4. こども、家庭などの部局や教育委員会による事例

#### ● 特別警戒アラート発表時の小・中学校、特別支援学校等の休校措置

- ・ **学童保育**については、一律の判断ではなくケースバイケースとするところもある。
- ・ 同一市区町村内でも、学校が立地する環境が異なり統一的な対応が難しいところもある。
  - 学校間での対応・考え方の違い
  - 学校とスポーツ団体との対応・考え方の違い
  - 学校と保護者との対応・考え方の違い
- ・ 逆に、一方で市町村ごともしくは学校ごとの「**ガイドライン**」を策定し、統一的な対応や考え方を目指すところもある。

#### ● 保護者へのお知らせ

- ・ 学校ホームページ、SNS、**学年・学級だより**等その他連絡手段にて普及・啓発
  - 睡眠時間がちゃんと確保できているか？
  - スマホやゲームなどで夜更かししていないか？
  - 朝食をちゃんと食べてきているか？（朝食からの水分摂取ができているか？）

#### ● 保護者向け講話

- ・ 栄養士による**食事指導**やこどもの**生活指導**
- ・ 給食センターの見学 など

## 9. 部局ごとの熱中症対策の取組事例

### 事例4. こども、家庭などの部局や教育委員会による事例

#### ●新入生などへのプレゼント

- ・小中学校へ入学した新1年生に  
「マイボトル」「日傘」「クールタオル」「ランドセル背当てパッド」などの配布

#### ●「総合的な学習の時間」を活用した、児童・生徒に対する学びの機会提供

#### ●スポットクーラーの設置

- ・プール監視員に対し、スポットクーラーを設置する
- ・給食調理員さん、校務員さんへの保冷剤支給、スポットクーラーの設置
- ・屋外、エアコンのない場所での授業では複数の教員で担当する

## 10. 海外における熱中症対策の取組事例



熱中症警戒アラート  
をチェック!



見守り・声かけ!



適切にエアコン  
を使おう!

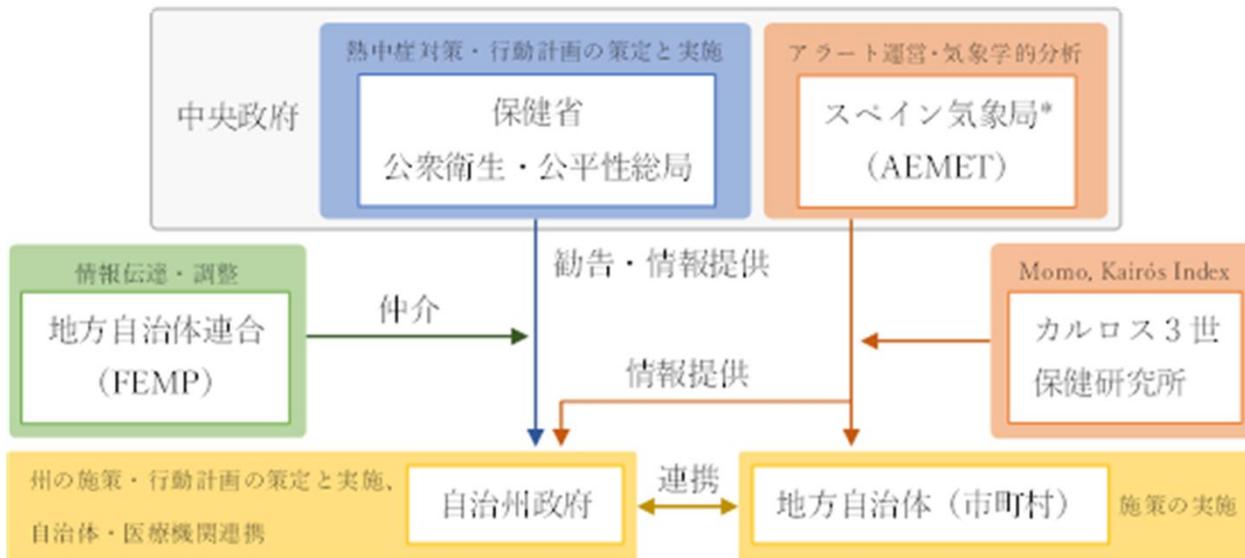


こまめに水分・塩分  
を補給!

# 10-1. 実施体制

## 事例1 スペイン

- 2003年の深刻な熱波の被害を受け、2004年より「暑熱が健康に及ぼす悪影響の予防措置のための国家計画（Plan Nacional de Actuaciones Preventivas de los Efectos del Exceso de Temperatures Sobre la Salud）」を毎年策定。施策や計画の主な実施主体は自治州となり、州と連携して自治体も対策を実行している。
- 保健省の気候変動適応策を記した「健康・環境に関する戦略計画書」では、熱中症リスク層の早期特定と予防のため、医療福祉専門家の教育や、リスク層に重点を置いた一般市民へのリスクコミュニケーションの改善を挙げている。
- 高齢者向けには、市町村単位で独居高齢者への電話や訪問等を実施し、独居高齢者の死亡率が減少。



- 保健省の公衆衛生・公平性総局が地方への勧告や連携の他、毎年国の行動計画を発表し普及啓発を行う。
- **クーリングシェルターや熱中症弱者の保護等、具体的な施策は地方自治体が行っている。**

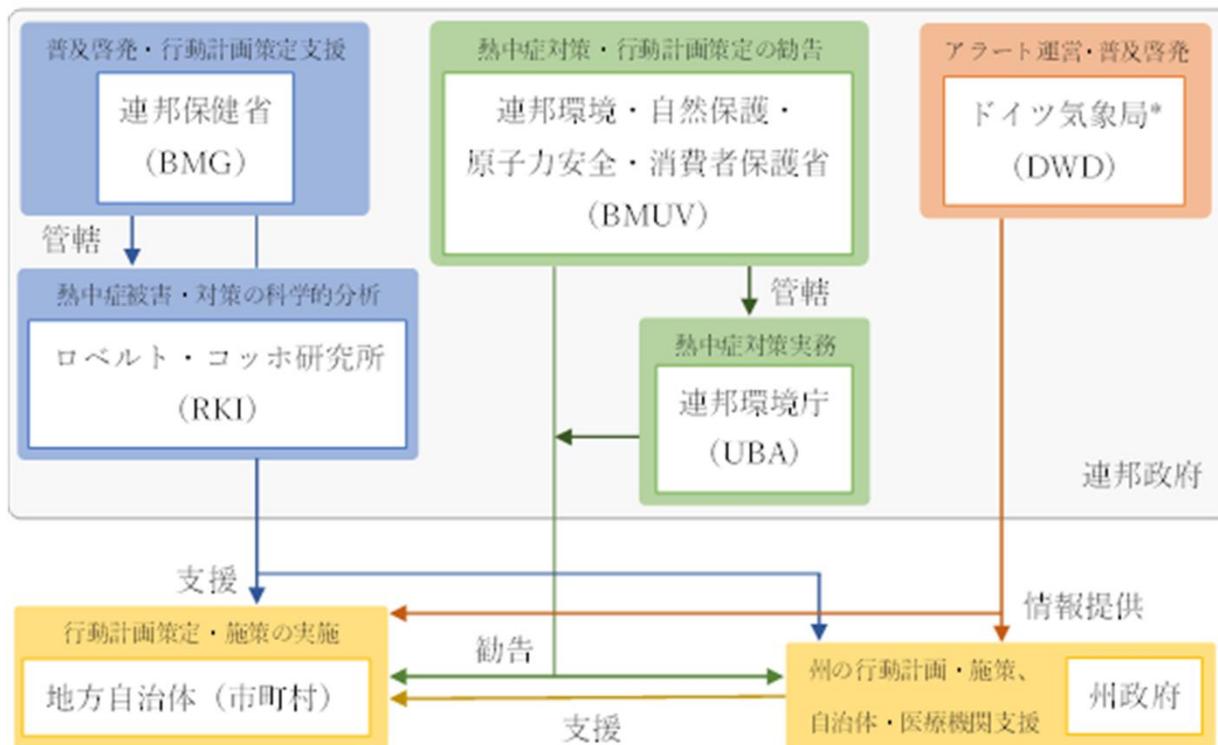
### スペインにおける普及啓発

- 夏季は熱中症対策の専用ウェブページを開設し、各種情報を発信している他、**熱波対策行動計画に関わる全ての情報が集約される**。また行動計画の一環として、メディアに熱中症対策や推奨行動に関する情報を提供。
- 高齢者向けには、**市町村単位で独居高齢者への電話や訪問等を実施**
- 医療サービスの対応プロトコルのマニュアル作成を実施。教育面では**市民保護の観点から社会サービスに關与するスタッフの講習会**を実施。
- 2025年の夏は警戒態勢・アラート発令時に起こりうる事象を小冊子にまとめ、**予診医や救急医に配布予定**。

# 10-1. 実施体制

## 事例2 ドイツ

- 2003年のヨーロッパで多数の死者を出した大規模な熱波以来、暑熱による健康被害への対策を検討している。
- 現在**ドイツ全体で熱中症対策を行うための法律等は整備されておらず**、具体的な対策は各自治体に委ねられており、連邦政府は各自治体が計画策定することへの支援等を行っている。
- ドイツにおいては、**熱中症弱者と直接やり取りし対策を促す**ヒートテレフォン等の取組が行われている。



- 連邦環境・自然保護・原子力安全・消費者保護省 (BMUV) が**2017年3月に発表した行動勧告を中核**として、複数の**連邦政府機関が支援**し、地方自治体が施策を実行する体制がとられている。
- **具体的な行動計画等は各州や郡等の自治体で策定**。気候や人的・財政的資源が異なるため、対策の進捗も自治体ごとに異なる。

ドイツ政府ウェブサイト及びヒアリング調査より

### ドイツにおける普及啓発

#### ● ヒートテレフォン

アラートが発令される等熱波で危険な環境になった際に、**高齢者に電話をかけ、暑さについて会話し注意喚起を促す**。例えば、“トイレに行く回数が増えてしまうのは残念ですが、頻りに水分摂取をしましょう”といった形。

#### ● バディーシステム

地域の中に近隣住民を見守る人を決め、熱中症対策等呼びかける試み。普及率の低さや、当事者意識が無い人への働きかけ等が今後の課題。

### 自治体支援

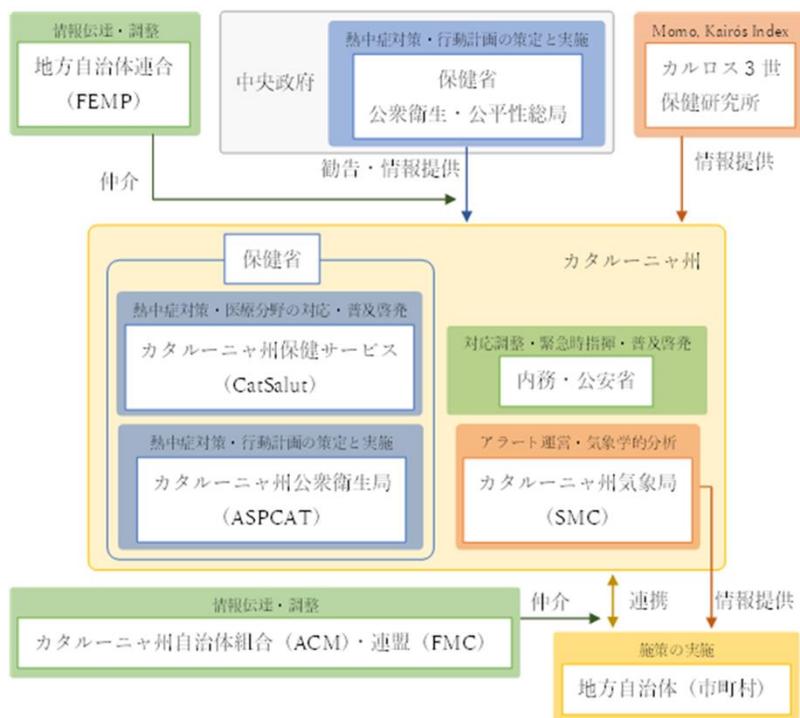
- 連邦保健省 (BMG) では、**自治体の熱波対策ポータルサイト「Hitzeservice」を作成**。熱波発生時の健康保護のための施策や、長期的な計画策定のヒント等が掲載されている。市町村連盟に対しどのようなサポートが必要か、計画策定にあたり生じている課題等の調査も実施。その上で、ガイドラインを作成。
- 保健省から委託を受け「Hitzeservice」の運営を担うコンサルティング会社 (ecolo) においてオンライン研修を実施しており、自治体や関係者に対し交流会や情報提供、ネットワーキングの機会等を設けている。

## 10-2. 連携体制

### 事例1 カタルーニャ州（スペイン）

- 2004年より「**熱波の健康被害を防ぐための行動計画（POCS）**」を**毎年**策定。
- 保健省機関が毎年の行動計画書（POCS）を主導し、医療福祉面から熱中症対策の中心的役割を担う他、普及啓発や医療福祉面での熱中症対策を推進。クライメート・シェルターの運営や熱中症弱者の保護等、具体的な施策は地方自治体が行っている。

#### 熱中症策実施体制



#### 行動計画（POCS）参加団体

- ・ カタルーニャ州保健サービス (Servei Català de la Salut)
- ・ 社会権省 (Departament de Drets Socials)
- ・ 内務省 (Departament d'Interior)
- ・ ビジネス労働省 (Departament d'Empresa i Treball)
- ・ カタルーニャ州気象局 (Servei Meteorològic de Catalunya)
- ・ カタルーニャ州保健研究所 (Institut Català de la Salut)
- ・ バルセロナ公衆衛生局 (Agència de Salut Pública de Barcelona)
- ・ バルセロナ県議会公衆衛生サービス (Servei de Salut Pública de la Diputació de Barcelona)
- ・ カタルーニャ州自治体組合 (Associació Catalana de Municipis)
- ・ カタルーニャ州病院連合 (Unió Catalana d'Hospitals)
- ・ バルセロナ社会福祉コンソーシアム (Consorti de Serveis Socials de Barcelona)
- ・ 赤十字社 (Creu Roja)

等、19団体が参加団体として掲載されている。

カタルーニャ州公衆衛生局 (ASPCAT). Pla operatiu per prevenir els efectes de la calor sobre la salut (POCS). (オンライン) 2024年. (引用日: 2025年2月12日.)



★調整役となるリーダーを定め、構造化された行動計画を策定し、技術的専門性を持つ参加機関にタスクを振り分け状況を報告してもらうことがポイント。

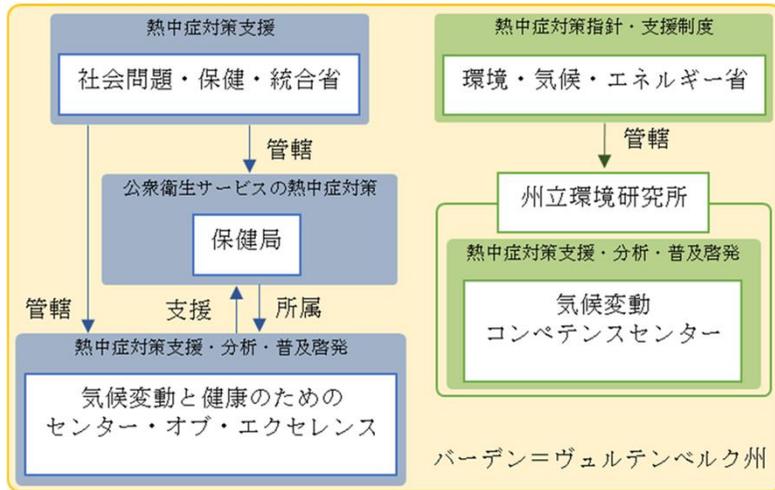
# 10-2. 連携体制

## 事例2 バーデン=ヴュルテンブルグ州（ドイツ）

- 2017年3月発表の連邦環境・自然保護・原子力安全・消費者保護省（BMUV）の熱中症対策に係る行動計画に関する勧告を受け、**州内の自治体に対し計画策定の65%を負担する資金支援を行っている。**
- 州内の熱中症対策は**保健局と州立環境研究所がそれぞれ健康と環境面で主導し、両者の意見交換は年2～3回以上行われている。**また、州の省庁が集まる**気候変動適応ワーキンググループ（気候変動適応WG）**を年2回以上開催しており、健康分野の主な課題として熱中症対策が取り上げられている。

### 熱中症対策実施体制

気候変動に関するデータの分析は州立環境研究所（LUBW）が行い、保健局ではそのデータも活用し、公共の健康サービスとして対策・行動している。



### 対策実施の課題

- 複雑な行政と保健に関する区分があることから、問題意識の統一ができていない面がある。
- 自治体側は多くの場合、熱波対策をインフラ投資と捉え、コストがかかると認識している。一方、州レベルではターゲットグループに働きかける情報政策を主軸に低コストな解決策を考えている

### 州内の自治体に向けたカウンセリング

自治体側にテーマを提案してもらい、知識を持つ専門家との橋渡しを実施（主にオンライン）。

#### ▶ テーマ例

：涼み処の特定やマップ作成、熱中症診療所の準備方法

#### ▶ カウンセリングから実施に至った対策例

：一般市民の認知度向上のためのポストカードの情報資料の作成、ニュースレターサービスの導入など。

### 州内の助成金プログラム

- ▶ 助成金プログラム「KLIMOPASS」：環境・気候・エネルギー省が気候変動適応法の環境面に関わる取組に出資。例えば熱波対策行動計画の策定費用の65%を負担する。
- ▶ 州の保健局が出資する助成金プログラム：地域の公衆衛生局が実施する熱健康対策の準備のみが対象。

# 10-3. 警戒アラートの運用

## 事例1 ス페인

- 気象局 (AEMET) が「**高温警戒アラート**」を運営し、カルロス3世保健研究所の国立疫学センター (CNE) が暑熱死亡リスクに関わるシステム「**MoMo**」を運営。
- 保健省公衆衛生・公平性総局が主導する熱中症対策の専門委員会は、上記の情報を総合して警戒体制を最適化。

### 高温警戒アラート

- アラートは4段階。アラート発表の閾値となる気温は気候の類似性で182に細分化された地域毎に異なる。発令基準の見直しは5,6年に一度、過去10年分の統計に基づき行われている。
- アラート発表時には自治州への通知の他、**2023年からはホームドクターや救急部局に通知**している。

警戒レベル0： リスクなし (緑色)

警戒レベル1： 低リスク (黄色)

警戒レベル2： 中リスク (オレンジ色)

警戒レベル3： 高リスク (赤色)

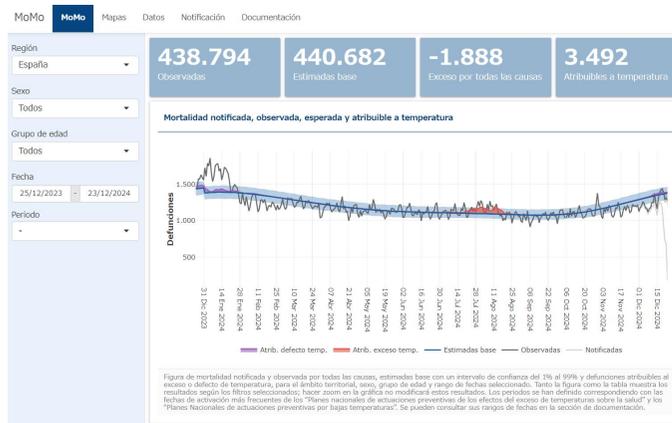


アラート発表の閾値となる気温は23.9℃～40.4℃と幅がある。

スペイン政府ウェブサイト及びヒアリング調査 (スペイン政府保健省) より

### MoMo (日次死亡率のモニタリング・ユニット)

- 2004年以降、過去の傾向に基づき**全ての死因による死亡者数と暑熱による超過死亡者数を推計し日々の死亡者数をモニタリング**。
- 統計モデルを用いて、地域別・性別・年齢グループ別で日毎の計算が行われている。年齢グループは0～14歳、15～44歳、45～64歳、65～74歳、75～84歳、85歳以上の6グループである。
- 結果はデータの該当日の2日後に、ウェブページで公表。



MoMoウェブサイトのスクリーンショット

カルロス3世保健研究所国立疫学センター (CNE) . MoMo. (オンライン)  
(引用日: 2025年2月6日.) [https://momo.isciii.es/panel\\_momo/#section-momo](https://momo.isciii.es/panel_momo/#section-momo)

# 10-3. 警戒アラートの運用

## 事例2 ドイツ

### 熱中症警戒態勢

- 2005年以降、気象局（DWD）において5月から9月の間、アラートを運営。

### 熱中症アラート

- アラートは2段階に分けられている。
- 気温・湿度・風速・放射熱の自然条件と、服装での体温調節の影響を考慮し**標準男性の体感温度を計算するモデル「Klima-Michel」の結果に基づいて発令。**

警戒レベル1  
強い熱の負荷

体感温度が $32^{\circ}\text{C} \pm 2^{\circ}\text{C}$ を超える場合に発令。

警戒レベル2  
極度の熱の負荷

午後の初め（14時まで）に**体感温度が $38^{\circ}\text{C}$ を超える場合に発令。**

### 高齢者への対応

- より暑熱の影響を受けやすい高齢者に対しては、**75歳の男性が時速1 kmの歩行と同等の負荷の活動を行う際の体感温度が計算するモデル「Klima-Michel Senior」が用意されている。**
- 標準男性モデルの結果がレベル1かつ本モデルの結果が警戒レベル2の場合は、レベル1のアラートに追記を行い高齢者への注意喚起を実施。

### 熱関連死亡者数の統計

- **ドイツにおいて熱関連死亡者数の統計は、通年の死者数のデータから、冬よりも夏、夏の中でも熱波が来ると死亡者数が多いことに着目し、それらの差分をもとに間接的に熱関連死亡者数を推計する方法を採用している。**

# 10-4. 独自アラートの運用

## 事例 カタルーニャ州（スペイン）

### 熱中症警戒態勢

- 気象局が暑さに対し2段階のアラートを設定し、アラート発令時には教育機関やレクリエーション施設、高齢者施設等の活動が変更され、警報レベルが上がると労働者保護のための作業条件の調整も行われる。
- 夜間の暑さアラートを導入。

### 暑さアラートと行動制限

- 暑さを6段階で評価し、**2段階のアラートを発令**。発令基準となる気温閾値は州内の地域により異なる。

#### 厳しい暑さの注意報（レベル1～3）

当日から予報の3日目まで気温が閾値\*を超える場合に発令

#### 非常に厳しい暑さの警報（レベル4～6）

当日から予報の3日目までの気温が閾値\*を2℃以上超える場合に発令

\*閾値：夏季（6月～9月）の最高または最低気温の98パーセンタイル



★発令時には各自治体で推奨行動を発表。また、労働局は企業活動の一部を制限。屋外労働には休憩時間の設定や水飲み場へのアクセスなどの細かい条件を設定。気温や条件によっては企業活動を全て停止することもある。

### 夜間の暑さアラートの導入

- 別途、夜間の暑さアラートを2023年に沿岸地域で試験導入、2024年には州内全域に導入を拡大。

#### 厳しい暑さの夜の注意報（レベル1～3）

最低気温が夏季の最低気温の98パーセンタイルを超過した場合に発令

#### 非常に厳しい暑さの夜の警報（レベル4～6）

最低気温が夏季の最低気温の98パーセンタイルを2℃以上超えた場合に発令



★睡眠による十分な休息が取りにくくなる真夏夜、熱帯夜、超熱帯夜等に関する警告を行うことを目的としている。

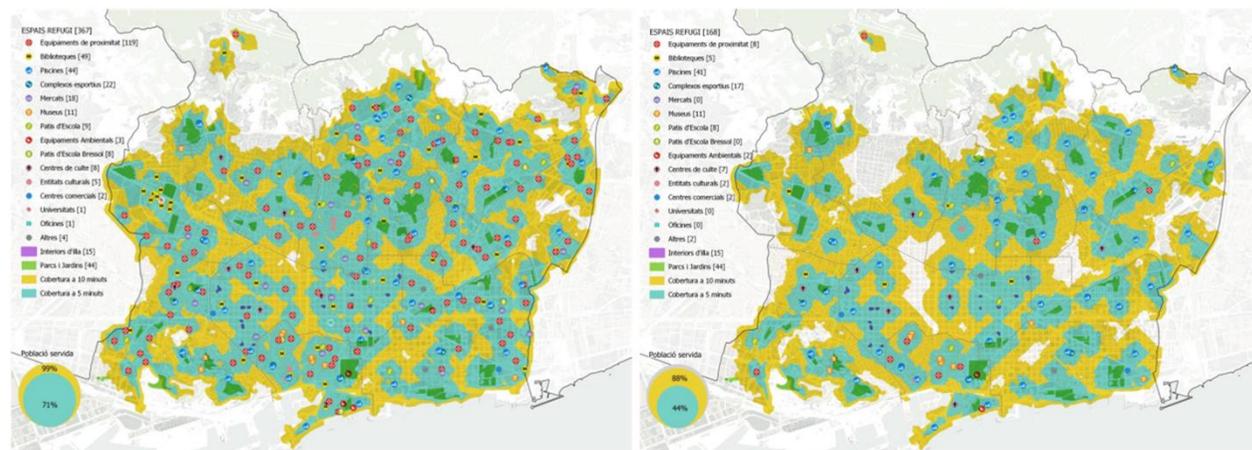
# 10-5. クーリングシェルターと涼み処

## 事例1 バルセロナ市（スペイン）

- バルセロナ市は暑さと寒さをしのぐため、2種類のクライメートシェルターを設置。
  - ①弱者の保護に主眼を置いた、社会福祉サービスが運営する**24時間開放の施設**
  - ②**施設の営業時間中開放し、短時間滞在を想定した施設**（公共・商業施設、学校等）
- シェルターの主な登録要件は、快適な温度であり、飲み水、座る場所があること、バリアフリーであること。屋内施設は、室温が夏は26℃以下、冬は21℃以上であること。屋外施設は、十分な日陰と座って休めるスペース、水飲み場があること。
- 全てのシェルターで飲料水を持ち帰り可能な容器ごと提供し、地域情報の載った地図を配布。アプリ等の電子媒体での公開の他に、高齢者に考慮した紙媒体でも配布

### 2030年までの導入目標

- 2030年までに全人口が徒歩5分圏内でシェルターにアクセスできる環境を整えることを目標に設定。現在の徒歩5分圏内のカバー率は71%、徒歩10分圏内は99%。バカンスシーズンの日曜日は45%と89%に低下。今後は、バカンスシーズンのカバー率低下への対策や、人口の少ない地域におけるマイクロシェルター（飲食店などで1,2席用意する形）の導入などを検討。



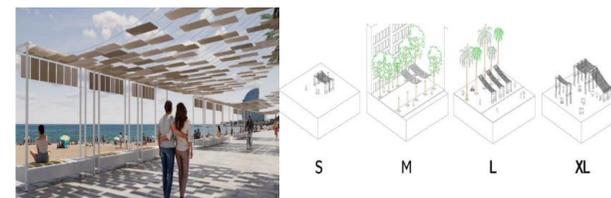
バルセロナ市ウェブサイト及びヒアリング調査より

### クライメートシェルターに関する市民調査

- 2021年から市実施の年次市民アンケート調査にクライメートシェルターに関わる設問を導入。
- クライメートシェルターの認知度は20%未満であったが、2024年には約40%まで上昇。クライメートシェルターの利用率は市の人口に対し、2021年に7.7%であり、2024年に13.2%に上昇した。

### 街中に日陰を作る取組（シャドウプラン）

- 日照時間が長いあるいは日照りが厳しく、かつ子どもや高齢者が多い地域の公共スペースで日陰を作る取組を実施。
- 基本的には樹木といった自然の利用を優先し、他の場合は組み立て・分解が簡単な撤去可能な構造物の設置を行う。



【図】日陰設置イメージ（提供：バルセロナ市）

# 10-5. クーリングシェルターと涼み処

## 事例2 ルートヴィヒスブルク郡（ドイツ）

- 市民誰もがクーリングシェルターを検索・登録できるシステム「Cool-Map」を構築。市民が登録したクーリングシェルター（屋外含む）は、簡易な事実確認ののち、問題がなければマップに掲載される。施設種類ごとに分類してアイコンで図示し、視認性を高める工夫。市民からの反応は肯定的。
- クーリングシェルターに対する郡からの要請事項（開館時間、室温等）は設けられていない。

### 市民参加型の「Cool-Map」の作成

プール、水遊び場、日陰のある遊び場・休憩場所・散歩道、飲料水を無料で補充できる場所、ショッピングモール、アイスクリーム屋 等

場所を選択すると写真が示される

KÜHLE ORTE IM LANDKREIS LUDWIGSBURG

Zur Erfassung "Kühle Orte im LKLB" >>>

Kühlen Ort in der Karte auswählen:

Trinkbrunnen / Quelle  
Trinkwasser Station Stadtwerke Ludwigsburg (SWLB) - Marktplatz



★郡の職員が確認をした結果、相応しくないと判断された場合は登録を解除されることも

# 10-6. 暑熱対策実行計画の策定

## 事例 ルートヴィヒスブルク郡（ドイツ）

- **2022年7月より熱波対策行動計画（HAP : Heat Action Plan）を策定開始。**計8回の円卓会議開催、自治体や高齢者施設への現状調査等を経て、**2024年4月に行動計画を発表。**健康影響と死亡者数の削減、well-beingの向上、医療制度崩壊の予防、弱者層（高齢者等）の保護の4つを目的とする。
- バーデン=ヴュルテンベルク州において、郡レベルでは初めてとなるHAPである。

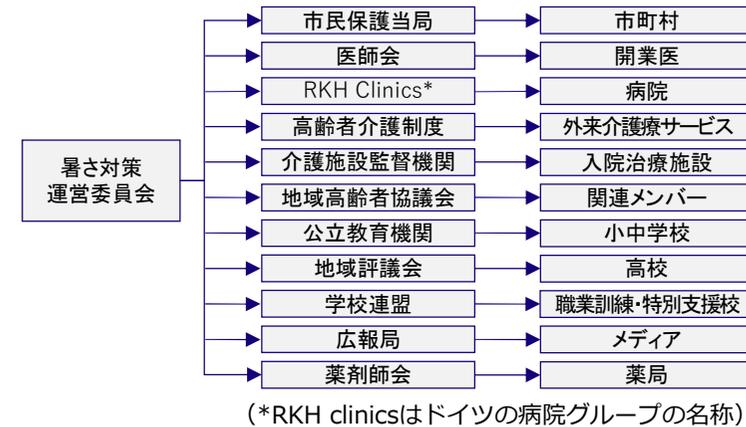
### 策定までのスケジュール

2022年	7月19日	キックオフ、第1回会議
	11月	高齢者施設調査
2023年	3月23日	第2回会議
	4月4日	コミュニティ健康会議でのHAP紹介
	3-5月	自治体調査
	5月3日	郡長へのHAP紹介
	5月15日	社会委員会でのHAP紹介
	5月24日	第3回会議
	5月25日	医療従事者へのトレーニング、HAPの紹介
	7月27日	第4回会議
	8月	アラームの試験運用・評価
	10月5日	第5回会議
	11月16日	第6回会議
2024年	1月25日	第7回会議
	4月	第8回会議、HAPの公表
	8月	高温アラーム発表
	8-11月	評価



### 「アラート・チェーン」を通じた情報提供

- アラート発表時には下図のアラート・チェーンを通じて、市民に適切な行動をとるよう通達が行われる。



### 熱波時の停電への対応

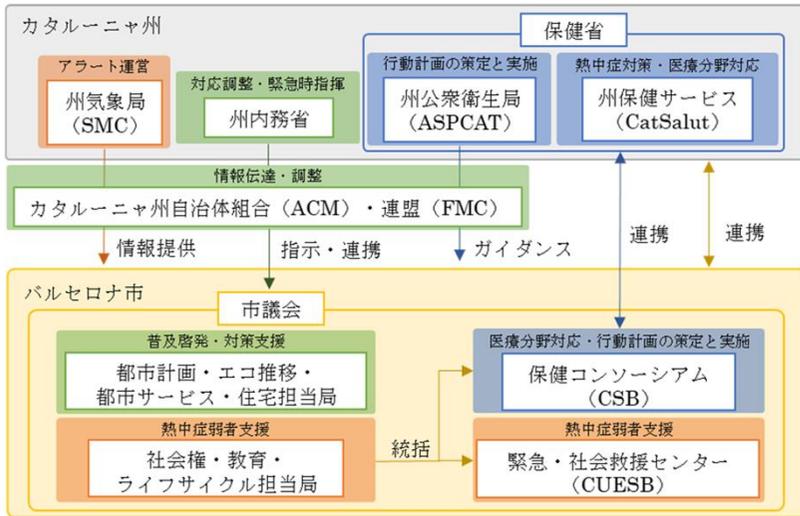
- 熱波到来と停電が同時発生した場合は、郡で所有している空調付きバス（2台）を活用して、高齢者をクーリングシェルターに移送する計画。
- バスは、過去のSARS流行時に移動可能なワクチン接種施設として導入し、現在は使用されていないもの。

# 10-7. 市民への熱中症対策

## 事例 バルセロナ市（スペイン）

- 熱中症対策に焦点を当てた計画として、カタルーニャ州が作成する熱中症に関する行動計画書をもとに2024年に**市独自の行動計画書「Plan Calor」**を策定し、様々な対策を実施
- 暑さに対し、発症後の緊急対応だけでなく、症状が出る前の**予防的措置に力を入れており、巡回や電話サービスの活用、クライメートシェルターとの連携等を実施している。**

### 熱中症策実施体制



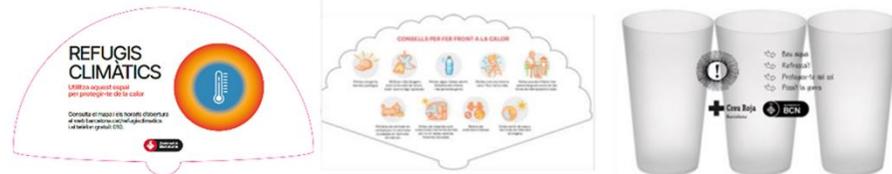
- バルセロナ市議会組織を意思決定機関として、熱中症対策を実施。都市計画・エコ遷移・都市サービス・住宅担当局が熱中症の普及啓発を含む長期的な適応策を実施し、社会権・教育・ライフサイクル担当局は保健部門を統括している。
- 高温への警戒期間は毎年6月15日から9月15日。

### バルセロナ緊急・社会救援センターでの熱中症対策

- バルセロナ緊急・社会救援センター（以下CUESB）は、搬送等の救急医療の他、火災により住宅に戻れない等の事態への対処を担う機関。
- CUESBは以下の通り、**熱中症発症後の対応の他、予防的措置も実施。**
  - 体調不良者を適切な機関（医療機関・クライメートシェルター）に搬送。
  - **アラート\*発令時、赤十字と連携して車で市内を巡回。**  
（\*アラートの発令はカタルーニャ州に準ずる。）

巡回は、市のホームレス対策部署から想定される居場所等が記載されたリストを受け取り、リストから把握可能な人を中心に実施。

その際に**水筒・コップ・帽子・うちわ等の配布の他、クライメートシェルターの位置がわかるマップの配布や説明、水分摂取を促す。**（下図）



- 高齢者や支援が必要な人への住宅訪問等を行っている部署から情報提供を受け、暑さ対策が不十分な家への機器（扇風機等）の提供を実施。
- テレアシスタンス（75歳以上等支援を受ける必要がある人に市が配布している受発信機器での電話対応サービス）を活用し、高齢者等に高温への警戒を呼びかけ。

# 参考となるサイト(ガイドライン、技術資料等)

発行年月日	発行元	タイトル・URL
2015年3月	中央労働災害防止協会	製造業向け熱中症予防対策のためのリスクアセスメントマニュアル <a href="https://www.jisha.or.jp/research/report/201503_02.html">https://www.jisha.or.jp/research/report/201503_02.html</a>
2015年3月	日本救急医学会	熱中症診療ガイドライン2015 <a href="https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10800000-Iseikyoku/heatstroke2015.pdf">https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10800000-Iseikyoku/heatstroke2015.pdf</a>
2018年3月	環境省	まちなかの暑さ対策ガイドライン 平成29年度改訂版 <a href="https://www.env.go.jp/content/900400045.pdf">https://www.env.go.jp/content/900400045.pdf</a>
2019年5月	(公社)日本スポーツ協会	スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック <a href="https://www.japan-sports.or.jp/medicine/heatstroke/tabid523.html">https://www.japan-sports.or.jp/medicine/heatstroke/tabid523.html</a>
2020年3月	環境省	= イベント主催者・施設管理者のための = 夏季のイベントにおける熱中症対策ガイドライン <a href="https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/gline/heatillness_guideline_full.pdf">https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/gline/heatillness_guideline_full.pdf</a>
2021年4月	厚生労働省	職場における熱中症予防対策マニュアル <a href="https://www.mhlw.go.jp/content/11200000/000636115.pdf">https://www.mhlw.go.jp/content/11200000/000636115.pdf</a>
2021年4月	環境省	熱中症予防対策ガイダンス <a href="https://www.env.go.jp/press/files/jp/116145.pdf">https://www.env.go.jp/press/files/jp/116145.pdf</a>
2021年4月	厚生労働省	職場における熱中症予防基本対策要綱の策定について <a href="https://www.mhlw.go.jp/content/11200000/000633853.pdf">https://www.mhlw.go.jp/content/11200000/000633853.pdf</a>
2021年4月	環境省・文部科学省	学校における熱中症対策ガイドライン作成の手引き <a href="https://www.mext.go.jp/content/210528-mxt_kyousei01-000015427_02.pdf">https://www.mext.go.jp/content/210528-mxt_kyousei01-000015427_02.pdf</a>
2021年6月	日本生気象学会	日常生活における熱中症予防 第2版(2021年) <a href="https://seikishou.jp/cms/wp-content/files/syousassi210603/20210625-093252.pdf">https://seikishou.jp/cms/wp-content/files/syousassi210603/20210625-093252.pdf</a>

# 参考となるサイト(ガイドライン、技術資料等)

発行年月日	発行元	タイトル・URL
2022年4月	環境省	熱中症環境保健マニュアル2022 <a href="https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/manual/heatillness_manual_full.pdf">https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/manual/heatillness_manual_full.pdf</a>
2022年5月	日本生気象学会	日常生活における熱中症予防指針 Ver.4 <a href="https://seikishou.jp/cms/wp-content/uploads/20220523-v4.pdf">https://seikishou.jp/cms/wp-content/uploads/20220523-v4.pdf</a>
2023年2月	日本生気象学会	日常生活における熱中症予防 第3版(2023年) <a href="https://seikishou.jp/cms/wp-content/uploads/008ab7fdbb0b958314827de9a7b8c74c.pdf">https://seikishou.jp/cms/wp-content/uploads/008ab7fdbb0b958314827de9a7b8c74c.pdf</a>
2023年3月	環境省	まちなかの暑さ対策ガイドライン 令和4年度部分改訂版 <a href="https://www.env.go.jp/content/000120266.pdf">https://www.env.go.jp/content/000120266.pdf</a>
2023年3月	環境省	地域における熱中症対策の先進的な取組事例集 <a href="https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/model_projects/casebook_full.pdf">https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/model_projects/casebook_full.pdf</a>
2024年2月	環境省	熱中症特別警戒情報等の運用に関する指針 <a href="https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/doc_shsa/20240227_doc01.pdf">https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/doc_shsa/20240227_doc01.pdf</a>
2024年2月	環境省	指定暑熱避難施設の指定・設置に関する手引き <a href="https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/doc_shsa/20240227_doc02.pdf">https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/doc_shsa/20240227_doc02.pdf</a>
2024年2月	環境省	指定暑熱避難施設の運営に関する事例 <a href="https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/doc_shsa/20240227_doc03.pdf">https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/doc_shsa/20240227_doc03.pdf</a>
2024年3月	環境省	熱中症対策普及団体の指定に関する手引き <a href="https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/doc_shsa/20240227_doc04.pdf">https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/doc_shsa/20240227_doc04.pdf</a>
2024年3月	環境省	指定暑熱避難施設に係る協定書の例 <a href="https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/doc_shsa/20240304_doc05.pdf">https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/doc_shsa/20240304_doc05.pdf</a>

# 参考となるサイト(ガイドライン、技術資料等)

発行年月日	発行元	タイトル・URL
2024年3月	環境省	クーリングシェルター・マークのダウンロード <a href="https://www.wbgt.env.go.jp/img/cooling_shelter_pict01_50x50mm_300dpi.jpg">https://www.wbgt.env.go.jp/img/cooling_shelter_pict01_50x50mm_300dpi.jpg</a>
2024年3月	環境省	クーリングシェルター・マーク【例】のダウンロード <a href="https://www.wbgt.env.go.jp/img/cooling_shelter_pict03_50x50mm_300dpi.jpg">https://www.wbgt.env.go.jp/img/cooling_shelter_pict03_50x50mm_300dpi.jpg</a>
2024年3月	環境省	ロゴマークのダウンロード <a href="https://www.wbgt.env.go.jp/img/cooling_shelter_logo_1280px_300dpi.jpg">https://www.wbgt.env.go.jp/img/cooling_shelter_logo_1280px_300dpi.jpg</a>
2024年3月	環境省	クーリングシェルター・マークマニュアル <a href="https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/doc_shsa/20240308_doc06.pdf">https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/doc_shsa/20240308_doc06.pdf</a>
2024年3月	環境省	地域における熱中症対策の先進的な取組事例集 <a href="https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/model_projects/r05_casebook_full.pdf">https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/model_projects/r05_casebook_full.pdf</a>
2024年7月	日本救急医学会	熱中症診療ガイドライン2024 <a href="http://mhlw.go.jp/content/001314082.pdf">mhlw.go.jp/content/001314082.pdf</a>
2024年9月	環境省	ごみ処理作業時等における熱中症対策事例集 <a href="https://www.env.go.jp/content/000257712.pdf">https://www.env.go.jp/content/000257712.pdf</a>